

PNS40TS

プリンストンテクノロジー株式会社

ユーザマニュアル

Network Attached Storage

PNS40TS

ユーザマニュアル (F/W Version: 1.3.0)



Copyright©2007,2008,2009 Princeton Technology, Ltd. All Rights Reserved.

2009年2月4日

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	この記号は注意(警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。
	この記号は行為を規制、指示する内容を告げるものです。

 警告	
	万が一、次のような異常が発生した時は、そのまま使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・煙が出ている、変な臭いがするなど異常な場合。 ・内部に水や金属物が入ってしまったとき。 ・落下するなど、筐体が破損したとき。 このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
	この製品を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。
	この製品を水などの液体で濡らさないでください。感電や故障の原因となります。
	電源コードをたこ足配線しないでください。 火災、機器の故障や誤動作の原因となります。
	本体電源コードを他の設置線(特に、複合機など大電力を使用する機器など)と共有するコンセントには接続しないでください。機器の故障、誤動作の原因となります。
	通風孔を塞がないでください。十分に排熱をすることができない環境に設置した場合、機器の故障が発生する可能性があります。
	温度が高すぎる所、低すぎる所、急激な温度差が発生する場所には設置しないでください。機器の故障、誤動作の原因となります。
	強い磁界を発生する物(テレビ、ラジオ、アンテナ、送電線等)の近くに設置しないでください。やむを得ない場合は、シールド工事などを行ってください。
	電源ノイズを発生する機器の近くには設置しないでください。


注意

	直射日光やストーブのような熱器具、調理器具等の近く、高温や多湿になる所に設置しないでください。変形、変質、故障、誤動作の原因となります。
	次のような場所に設置しないでください。火災、感電、怪我の原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・湿気や埃が多い場所 ・ぐらついた台の上、傾いた所など不安定な場所 ・調理台や加湿器の側など、油煙や湯気があたる場所
	電源コンセントは、AC100V、平行二極アース付以外は使用を避けてください。
	定格電源を超える配線をしないでください。
	汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
	移動する時は、衝撃を与えないようにしてください。また、電源コード、LAN ケーブル等、接続されているケーブル、機器などは全て取り外してから移動作業を行ってください。
	輸送をする必要がある場合は、専用の梱包材をご利用ください。衝撃や振動で故障する場合があります。
	振動が発生する場所には設置しないでください。機器の故障や誤動作の原因となります。
	機器の稼動中に電源コードを抜く等の行為は行わないでください。電源を落とす必要がある場合は、正規の手順でシャットダウンしてください。
	物の落下が考えられる場所には設置しないでください。
	帯電防止加工の施されていない絨毯の上には設置しないでください。

テクニカルサービス

テクニカルサービスおよびテクニカルサポートを受けるには、登録シートにある連絡先の詳細をご覧ください。

限定保証

プリンストンテクノロジー株式会社は、いかなる場合にも、直接、間接、特別、付随的、または結果的なソフトウェアまたはその文書による損害に対して、製品の価格を上回る責任を負いかねます。

プリンストンテクノロジー株式会社は、対象となる製品についての返金には応じません。

プリンストンテクノロジー株式会社は、対象となる製品、あるいは本書と付随するすべてのソフトウェアの内容または使用に関して、明示的、暗黙的、または法的な保証または表示を行わず、特定の目的に対する品質、性能、市場性、適合性について責任を負わないことを明示します。

プリンストンテクノロジー株式会社は、いかなる個人または組織に通知する義務を負うことなく、対象となる製品、ソフトウェア、または本書を訂正または更新する権利を保有します。

注意

1. データの損失を予防するために、定期的にデータのバックアップを行ってください。
2. 返品または保守のために、本製品または構成部品を返送する場合、輸送に耐えるように入念に梱包してください。梱包が不適切だったために生じた損害は一切補償されません。

目次

目次	6
第 1 章 PNS40TS の概要	9
1.1 はじめに	9
1.2 パッケージの内容	9
1.3 システムの概要	10
第 2 章 PNS40TS の導入	11
2.1 設置場所について	11
2.2 PNS40TS の設置	12
2.3 セットアップを始める前に	12
2.4 ネットワークの設定	13
第 3 章 PNS40TS の管理	14
3.1 本製品の管理ページへのアクセス	14
3.2 サーバ管理	16
3.3 クイック設定	17
3.4 システム設定	23
3.4.1 サーバ名	23
3.4.2 日付と時刻	24
3.4.3 言語設定	25
3.4.4 システム設定情報の表示	25
3.5 ネットワーク設定	26
3.5.1 TCP/IP の設定	26
3.5.2 Microsoft ネットワーク	29
3.5.3 Apple ネットワーク	31
3.5.4 Linux (NFS) サービス	31
3.5.5 Web サービス	32
3.5.6 FTP サービス	32
3.5.7 プリンタサーバ	33
3.5.8 ネットワーク設定情報の表示	33
3.6 ディスク設定	35
3.6.1 ディスクボリュームの復旧	39
3.7 ユーザ管理	44
3.7.1 ユーザ	44
3.7.2 ユーザグループ	46
3.7.3 容量制限	47

3.8	ネットワーク共有管理	48
3.9	システムツール	52
3.9.1	SNMP 設定	52
3.9.2	アラート通知	53
3.9.3	再起動/シャットダウン	53
3.9.4	ハードウェアの設定	54
3.9.5	UPS	55
3.9.6	システムのアップデート	56
3.9.7	ロゴ変更	57
3.9.8	リモートレプリケーション	58
3.9.9	アンチウイルス設定 (オプション機能)	60
3.9.10	設定のバックアップ/リストア/リセット	61
3.9.11	CD/DVD バックアップ/リストア	62
3.10	統計 & ログ	65
第 4 章	PNS40TS へのアクセス	66
4.1	Microsoft Windows NT 4.0/2000/XP から使う場合	66
4.1.1	クライアント PC の設定	66
4.1.2	Windows XP からの接続	67
4.1.3	Windows 2000 からの接続	69
4.1.4	Windows でサーバがブラウザできない場合	71
4.1.5	サーバ接続をドライブに割り当てる	72
4.2	Microsoft Windows 98SE/Me から使う場合	73
4.2.1	クライアント PC の設定	73
4.2.2	Windows 98SE/Me からの接続	74
4.3	Apple MAC OS X から使う場合	75
4.3.1	Apple Talk で接続する方法	75
4.3.2	SMB で接続する方法	78
4.4	Apple Mac OS 9 から使う場合	81
4.4.1	セレクトクを使用して接続する方法	81
4.4.2	ネットワークブラウザを使用して接続する方法	83
4.5	Linux OS を使う場合	85
4.6	Web ブラウザを使う場合	85
4.7	ファイル転送プロトコル(FTP)を使う場合	86
4.8	ネットワークプリンタの設定方法	88
第 5 章	PNS40TS の保守	91
5.1	サーバの再起動/シャットダウン	91
5.2	管理者パスワードとネットワーク設定のリセット	92

5.3	ディスクの故障または異常.....	92
5.4	停電または異常終了.....	93
5.5	定期的なメンテナンス.....	93
付録 A	LCD パネル.....	94
A-1	表示情報.....	94
A-2	ディスク情報とファームウェアのバージョンを確認.....	94
A-3	システム設定機能.....	95
付録 B	Web ファイル管理.....	97
B-1	Web ファイル管理の使用.....	97
B-2	Web ファイル管理のアイコン.....	100
付録 C	クイックインストールウィザード.....	101
C-1	インストール方法.....	101
C-2	操作画面.....	103
C-2	操作方法.....	104
C-2.1	設定.....	104
C-2.2	詳細.....	106
C-2.3	ネットワークドライブの割り当て.....	107
C-2.4	更新.....	109
C-2.5	ヘルプ.....	109
C-2.6	ホームページの表示.....	110
付録 D	AD 認証の設定.....	111
D-1	DNS 設定、A レコード追加作成方法.....	111
D-2	NAS の Windows サーバ 2003 Active Directory ドメインへの追加.....	113
D-3	AD ユーザとしてサービスにアクセス.....	117
付録 E	制限文字一覧.....	118
付録 F	Windows Vista でご使用の際のご注意.....	120
付録 G	メッセージ一覧.....	122
付録 H	トラブルシューティング.....	127
H-1	フォルダ/ファイルにアクセスできない.....	127
H-2	設定、動作に関するトラブル.....	128
H-3	PNS40TS のバックアップに関するトラブル.....	129
	PNS40TS 機能詳細.....	130

第 1 章 PNS40TS の概要

1.1 はじめに

このたびは、PNS40TS (NAS)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品には、次のような特長があります。

- VIA C3 800 MHz/256MB DDR RAM
- 3.5 インチ SATA HDD 4 台
- 最大 2TB のディスク容量
- JBOD/0/1/5/5+/単独ディスクストレージ管理をサポート
- 10/100/1000 Mbps の高速 Ethernet ポート 2 ポート
- USB ポートによる UPS 管理をサポート
- USB ポートによるプリントサーバ機能をサポート
対応機種 RICOH G717/G515/GX3000 Canon PIXUS iP4200 のみ
- CD/DVD メディアへのデータ保存

1.2 パッケージの内容

本製品には、次のものが含まれています。

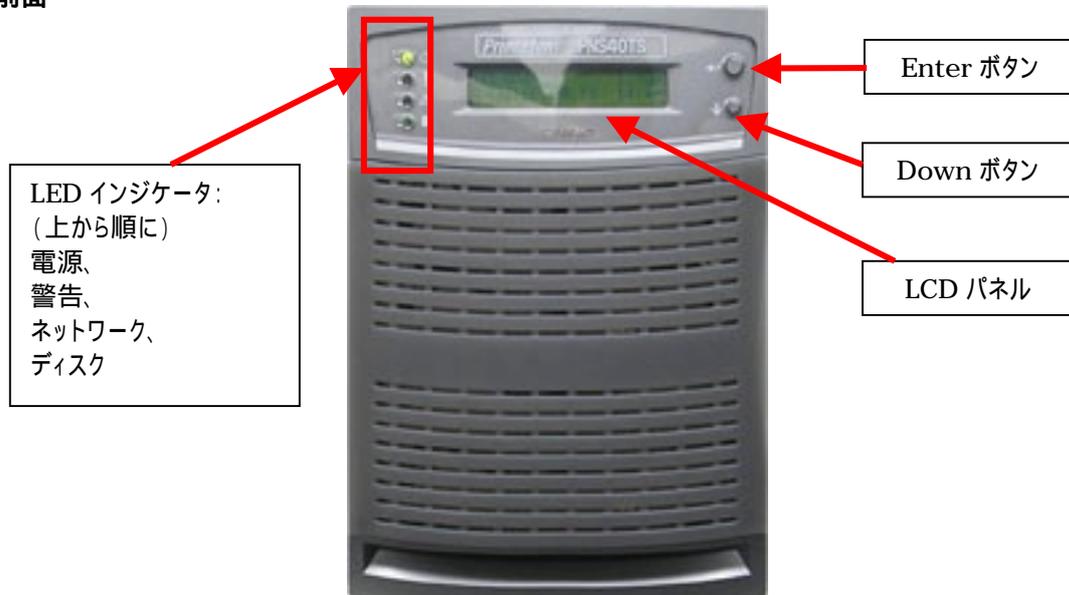
- PNS40TS 本体
- 電源ケーブル 1 本
- CAT5e Ethernet UTP ケーブル 2 本
- ガイド CD(ユーザマニュアル、クイックインストールウィザードとソフトウェアを含む) 1 枚



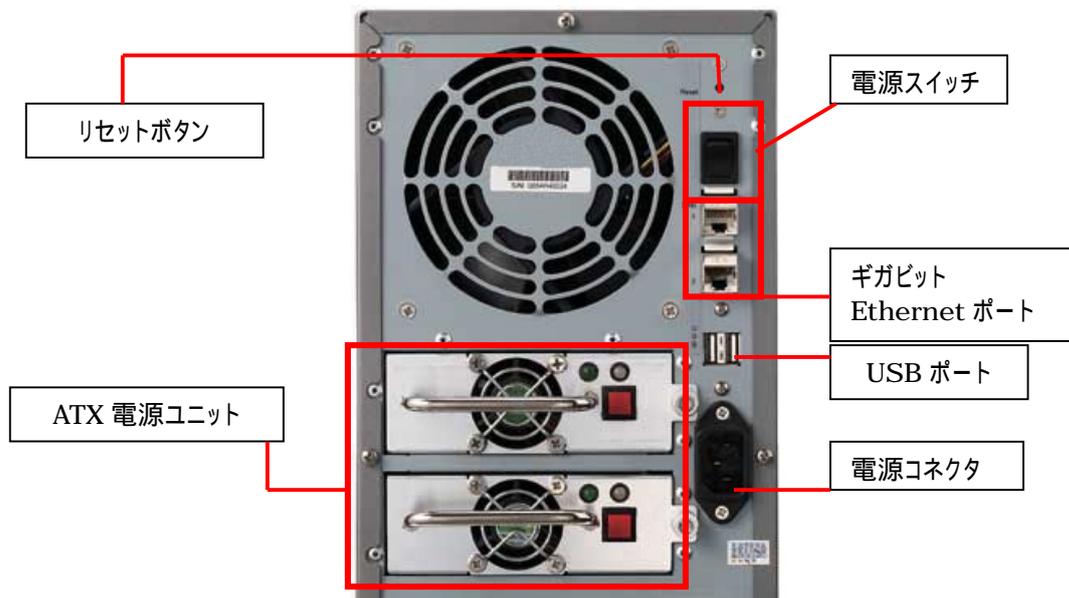
重要な注意: データの損失を防ぐため、定期的にデータのバックアップを行ってください。

1.3 システムの概要

前面



背面



第 2 章 PNS40TS の導入

2.1 設置場所について

本製品は内部に精密部品を使用しています。その為、本製品を設置する際には、下記の条件に適合する環境、場所への設置は行わないようにしてください。これらの環境、場所に設置された場合、本製品の動作が不安定となり、本製品の性能、寿命が著しく低下します。設置環境、場所が起因した障害の場合、保証対象外となりますのでご注意ください。

 警告	次のような環境、場所には設置しないでください。
	・本体電源コードを他の設置線(特に複合機等、大電力を使用する機器など)と共有するコンセントには接続しないでください。機器の故障、誤動作の原因となります。
	・電力供給が安定しない場所。
	・粉塵が多い環境。
	・30 度以上の温風が当たる場所。
	・温湿度が著しく変化する場所。
	・直射日光の当たる場所。
	・常に振動している場所。または洗濯機や乾燥機など振動を発生する機器の近く。
	・帯電防止加工の施されていない絨毯の上など、常に帯電するような場所。
	・たこ足コンセントへの接続。
	・密閉された容器、棚の中。
	・電源ノイズを発生する機器の近く。
	・安定しない台、机、棚の上、床。
	・人体や他の物が当たる場所。
	・AC100V、平行二極アース付き以外の電源コンセントへの接続。
・強い磁界を発生する物(テレビ、ラジオ、アンテナ、送電線等)の近くへの設置。 やむを得ない場合はシールド工事などを行ってください。	

注: 本製品に取り付けられているディスクユニットや電源ユニットは、専門の技術者以外は取り外しを行わないようにしてください。お客様が取り外したりすることは、一切認めておりません。何らかの事情により、お客様側で機器の取り外しを行う必要が生じた場合は、必ず事前に弊社までご連絡ください。誤ったお取扱い、またはご使用方法によって、本製品もしくは機器類を破損させた場合、保証期間内であっても、保証対象外となります。本製品は精密機器ですので、お取扱いには十分ご注意ください。

2.2 PNS40TS の設置

PNS40TS を設置するには、次の手順を実行します。

1. 本製品をネットワークに接続します。ネットワークに接続するには、付属の LAN ケーブル、または別途ご用意頂いた Cat5e ストレート LAN ケーブルを使用して、本製品背面のネットワークポートとスイッチ、またはハブに接続します。
2. UPS を使用する場合は、本製品の USB ポートに UPS を接続します。続いて、UPS の電源コンセントに本製品の電源プラグを接続します。(Network Management Card を使用する場合は、USB 接続は不要です)
3. 電源ケーブルをコンセントに接続して本体背面の電源スイッチを押すと、本製品は起動します。

2.3 セットアップを始める前に

PNS40TS の設定を始める前に、下記の設置、接続などが完了していることをご確認ください。

- PNS40TS に電源ケーブルが接続され、AC100V が正しく供給されていること。
- PNS40TS が安定した場所に設置されており、適切な温度下に置かれていること。
- TCP/IP プロトコルを利用可能、かつ、Internet Explorer 6.0 以降の Web ブラウザがインストールされている PC があること。(Windows の場合)
- PNS40TS とクライアント PC が、正常に稼働している Ethernet ネットワークで物理的に接続されていること。
- PNS40TS とクライアント PC が、適切な IP アドレスを取得していること。

【本製品の管理/運用に使用できる Web ブラウザについて】

設定に利用する PC は、Windows マシンを推奨します。

Web ブラウザは、Microsoft Internet Explorer 6.0 以上をご利用ください。



注: Netscape Navigator は使用できません。(一部表示されないページがあります。)また、文字が正常に表示されない場合、Web ブラウザの言語や文字コードを日本語に設定してください。
Macintosh で操作される場合は、Internet Explorer5.0 以降、または Safari 1.0.3/1.3.2/2.0.3 が必要です。(Internet Explorer4.5 では画面が正常に表示されません。)

2.4 ネットワークの設定

本製品は出荷時の初期設定により、DHCP(動的 IP の取得)によってネットワークを検索し、ネットワークの設定を自動的に検出します。DHCP のサービスが無いネットワーク環境では、本製品は下記の初期設定を使用します。

IP アドレス: 192.168.0.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

本製品の起動プロセスが終了すると、LCD パネルに現在の IP アドレス設定が表示されます。



DHCP プロトコルがサポートされていないネットワークの場合は、本製品を最初に使用する前に適切な LAN 設定にする必要があります (LAN 設定が不明の場合は、ネットワーク管理者に確認してください)。

本製品のネットワーク設定は次の方法で変更できます。

- LCD パネルを使用してネットワーク設定を変更します。詳細は[付録 A](#)を参照してください。
- ガイド CD に入っているクイックインストールウィザードを使用して、ネットワーク設定を変更します。詳細は[付録 C](#)を参照してください。

第 3 章 PNS40TS の管理

本製品を導入してネットワークに接続すると、クライアント PC の Web ブラウザを使ってサーバを管理できます。

本製品は、Microsoft Internet Explorer 6.0 以上をサポートしています。

設定変更が完了したら、必ず本機を再起動させてください。(画面上に再起動メッセージが現れなくても、再起動が必要です。)

3.1 本製品の管理ページへのアクセス

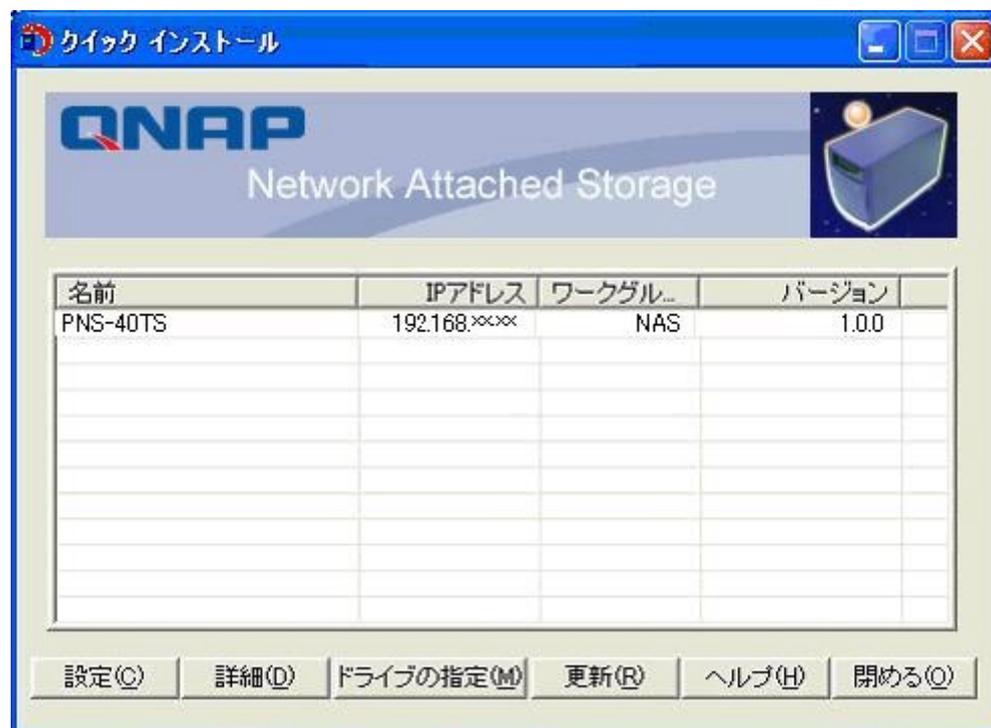
1. 次の方法で、PNS40TS の管理ページにアクセスします。

a. Web ブラウザを起動し、本製品の IP アドレスを入力する。

http://[PNS40TS の IP アドレス]

(例)http://192.168.0.20

b. クイックインストールウィザードを実行して、リストの項目をダブルクリックします(付録 C 参照)。



2. 本製品のホームページで[サーバ管理]をクリックします。



3. ユーザ名とパスワードを入力します。



デフォルトのユーザ名とパスワードは次のとおりです。

ユーザ名 : administrator

パスワード : admin

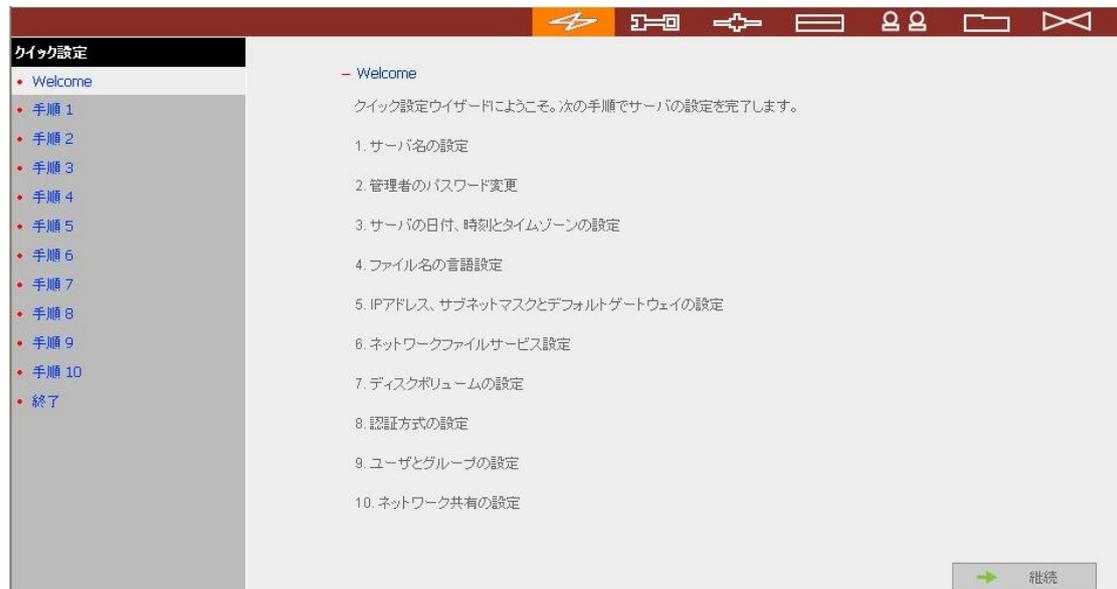
本製品に初めてログインした場合は、[クイック設定]ページが表示されます。詳細は、「[3.3 クイック設定](#)」を参照してください。

3.2 サーバ管理

サーバ管理は、次の 8 つの項目に分かれています。

クイック設定		
システム設定	サーバ名	
	日付と時刻	
	言語設定	
	システム設定情報の表示	
ネットワーク設定	TCP/IP	
	Microsoft ネットワーク	
	Apple ネットワーク	
	Linux(NFS) サービス	
	Web サービス	
	FTP サービス	
	プリンタサーバ	
	設定を全て表示	
ディスク設定	ディスクボリュームの作成	
	ディスクボリュームの削除	
	ディスクボリュームの検査	
	ディスクボリュームのフォーマット	
	ディスクボリュームの情報の表示	
	ディスクボリュームを復旧する	
ユーザ管理	ユーザ	作成
		マルチユーザの作成
		パスワードの変更
		専用ネットワーク共有の作成
		グループの設定
		容量制限の設定
		削除
	グループ	作成
		専用ネットワーク共有の作成
		ユーザの設定
		削除
	容量制限	
ネットワーク共有	作成	
	プロパティ	
	アクセス設定	
	削除	
システムツール	SNMP設定	
	アラート通知	
	再起動/シャットダウン	
	ハードウェア設定	
	UPS	
	アップデート	
	ロゴ変更	
	リモートレプリケーション	
	アンチウイルス設定	
	バックアップ/リストア/リセット設定	
	USB CD/DVDバックアップ/リストアを使用	
統計&ログ	ユーザ情報	
	イベントログ	
	DHCPログ	

3.3 クイック設定

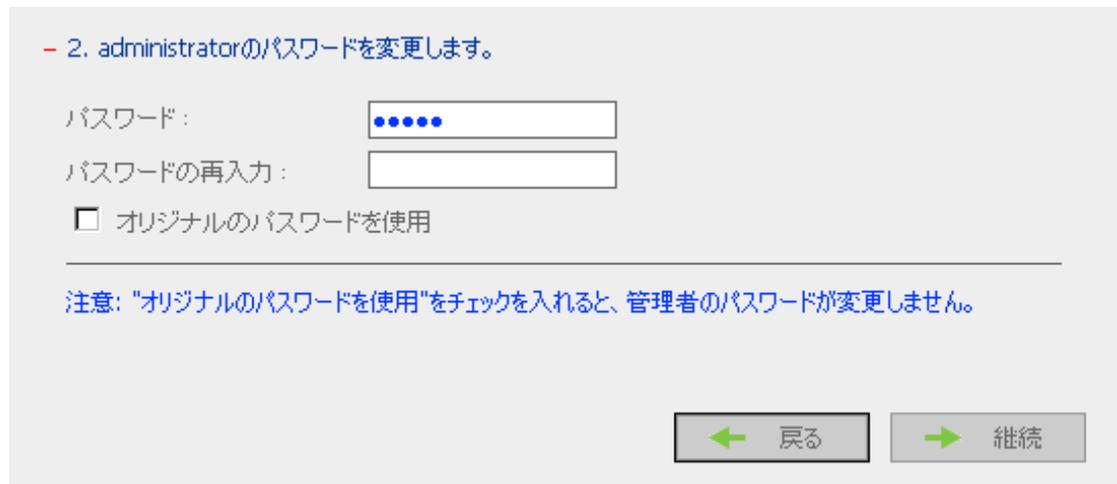


[クイック設定] ページでは、画面に表示される手順に従って入力、選択するだけで、基本的な設定が完了します。

1. 本製品のサーバ名を入力します。



2. 管理者のパスワードを変更するか、[オリジナルのパスワードを使用]を選択します。



3. 日付と時刻を入力し、サーバのタイムゾーンを選択します。

- 3. サーバの日付、時刻とタイムゾーンの設定

タイムゾーン: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

現在の日付と時刻: 2006 / 4 / 4 AM 10 : 35 : 57

日付と時刻の変更:

日付: 1月 . . . (月/日/年)

時刻: . : . : . AM (時/分/秒)

← 戻る → 継続

4. サーバでファイル名に使用する言語を選択します。

- 4. ファイル名の言語設定

言語: 日本語

- 中国語-簡体字
- 中国語-繁体字
- キリル語
- ギリシア語
- アイスランド語
- 日本語
- 韓国語
- ラテン語2
- 英語
- ラテン語1

← 戻る → 継続



注: 日本語のみのサポートとなります。

5. IP アドレスを設定します。IP アドレスを手動設定でする場合、サーバの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。不明な場合は、ネットワーク管理者のお尋ねください。

- 5. サーバのIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイの設定

TCP/IP設定はDHCPによって自動的に取得

ほかの設定

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 30

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

接続方式 フェイルオーバー ロードバランシング

注意: デフォルト ゲートウェイが必要ない場合には、"0.0.0.0"に設定します。

← 戻る → 継続

6. サーバで利用するネットワークファイルサービスを選択します。

6. ネットワークの設定

Microsoftネットワークを有効にする
 Appleネットワークを有効にする
 Linux(NFS)サービスを有効にする
 Webサービスを有効にする
 FTPサービスを有効にする

7. サーバのディスクボリュームを設定します。

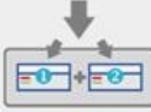
7. ディスクボリュームの設定

新しいディスクボリュームリストで設定する構成をクリックしてください。現在のディスクボリューム構成リストにはサーバの現在のディスクボリューム設定です。

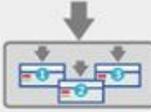
新しいディスクボリューム設定


単独ディスクボリューム
 単独ディスクボリュームの作成


RAID1ディスクボリューム
 RAID 1ディスクボリュームの作成


RAID0ディスクボリューム
 RAID 0ディスクボリュームの作成


リニアディスクボリューム
 リニアディスクボリュームの作成


RAID 5ディスクボリューム
 RAID 5ディスクボリュームの作成

現在のディスクボリューム設定

ボリューム	容量	空き領域	状態
単独ディスク: ドライブ 1	238190.00 MB	234312.00 MB	正常
単独ディスク: ドライブ 2	238190.00 MB	234312.00 MB	正常
単独ディスク: ドライブ 3	238190.00 MB	234312.00 MB	正常
単独ディスク: ドライブ 4	238190.00 MB	234312.00 MB	正常

出荷時は RAID5 で構成されています。単独ディスク、RAID0、リニアディスクを設定した場合、HDD が故障した場合、全てのデータが消失しますのでご注意ください。

8. ユーザ認証の方法を設定します。

8. AD認証の設定

Microsoftネットワークを有効にする

スタンドアロンサーバー

NTドメインメンバー

ADドメインメンバー

サーバーについての説明

ワークグループ名

ADサーバー名

ドメイン名

ドメインユーザー名

パスワード

Windows Server で稼動しているドメインコントローラへ接続し、そこに登録されているユーザ情報を利用して、PNS40TS へログインできるようにします。ドメイン認証を有効にしない場合、PNS40TS に登録したユーザ名とパスワードをログインに使用します。

9. サーバのユーザとユーザグループを管理します。

- 9 ユーザの設定

ユーザの新規作成は、右のフィールドにユーザ名を入力して、追加をクリックします。ユーザを削除する場合は、左のリストにユーザを指定し、削除をクリックします。

administrator

← 追加

削除 →

ユーザ名

パスワード

パスワードの再入力

注意: セキュリティのため、6文字以上入力してください。

← 戻る

→ 継続

ユーザ名とパスワードを入力し、[追加]をクリックします。ここでユーザを追加せず、[ユーザ管理]にて設定することも可能です。

- 9.1 グループの設定

グループの新規設定はグループ名を右のフィールドに入力して追加をクリックします。グループを削除する場合は左のリストに削除したいユーザを指定して削除をクリックします。

administrators
everyone

← 追加

削除 →

グループ名

administrator

グループに追加したいユーザを選択してください

← 戻る

→ 継続

10. サーバのネットワーク共有を管理します。

- 10. ネットワーク共有の設定

ネットワーク共有の新規作成は、ネットワーク共有名を入力して追加をクリックします。ネットワーク共有を削除したい場合は、左のリストにネットワーク共有を選択して、削除をクリックします。

<input type="text" value="public"/>	<input type="button" value="追加"/>	ネットワーク共有名 <input type="text"/>
	<input type="button" value="削除"/>	ディスクボリューム RAID 5: ドライブ1234
		コメント <input type="text"/>
		<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="継続"/>

フォルダのアクセス権や、ユーザやグループごとにアクセス権を設定する場合は、[ユーザ管理]画面にて設定を行います。

11. 終了

- 終了

おめでとうございます! 設定がすべて終了しました。

システムを使用する場合は完了をクリックします。設定を変更する場合は、戻るをクリックします。

<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="終了"/>
-----------------------------------	-----------------------------------

クイック設定にかかる時間は、システムの設定によりますが、数分から数十分です。

ここまでの設定が済みましたら、必ず PNS40TS を再起動してください。

3.4 システム設定

基本的なシステム設定には、サーバ名、日付、時刻、言語、およびシステム設定表示が含まれます。

3.4.1 サーバ名

本製品のサーバ名を入力します。サーバ名は半角英数字 最大 14 文字まで入力できます。ハイフン(-)は使用可能ですが、空白文字やピリオド(.)を含む名前、あるいは数字だけからなる名前は使用できません。

— サーバ名を入力してください。

サーバ名:

↑

任意の名称を入力できます。

3.4.2 日付と時刻

場所に応じて、日付、時刻、タイムゾーン(時間帯)を設定します。設定値が正しくない場合は、次の問題が生じることがあります。

- ✓ Web ブラウザでファイルへのアクセスやファイルの保存をしたときに、操作時刻が正しく表示されません。
- ✓ システムイベントログ時刻が実際の操作時刻と一致しません。
- ✓ リモートレプリケーションのスケジュール設定が正常に動作しません。

- 日付、時刻及びタイムゾーンを調整します

タイムゾーン: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

現在の日付と時刻: 2006 / 4 / 4 PM 04 : 48 : 37

日付と時刻を手動で変更します

日付 1月 , (月日,年)

時刻 : : AM (時:分:秒)

NTPサーバクライアントの設定

特定のNTPサーバを利用する

NTPサーバのIPアドレス テスト (ステータス: -)

間隔 1 分

NTPサーバを有効にする

NTPサーバ1 テスト (ステータス: -)

NTPサーバ2 テスト (ステータス: -)

NTPサーバ3 テスト (ステータス: -)

適用

- NTP サーバ

指定された NTP サーバを有効にするか、使用することによって、システムの日付と時刻を自動的に更新できます。アクセスタイミングは、分・時・日で設定可能です。初期設定では、1 分間隔で更新します。なお、ドメインでの設定はサポート対象外となります。

NTP サーバの IP アドレスが指定されていない場合は、システムは内部時計の日付と時刻を設定します。



注: 設定変更後は、本製品を再起動してください。

3.4.3 言語設定

本製品はここで指定した言語を使ってファイルとディレクトリの作成と表示を行います。次のような問題を防ぐために正しい言語を選択します。

- 特殊文字のファイルやディレクトリを作成できません。
- 特殊文字のファイルやディレクトリ名を表示できません。
- 日本語のみのサポートとなります。



注: 設定変更後は、本製品を再起動してください。

— ファイル名の言語設定

言語設定:

日本語
中国語-簡体字
中国語-繁体字
キリル語
英語
ギリシア語
アイスランド語
日本語
韓国語
ラテン語2
ラテン語1

適用

3.4.4 システム設定情報の表示

サーバ名など、現在のシステム設定はすべてこのページに表示されます。

— システム設定情報の表示

サーバ名	
サーバ名	PNS-40TS
日付と時刻	
日付	4月 4, 2006
時刻	4:50:23 PM
タイムゾーン	(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
言語	
コードページ	日本語 (932)
システム情報	
バージョン	1.0.0 Build 1214

OK

3.5 ネットワーク設定

TCP/IP設定

接続方式 フェイルオーバー ロードバランシング スタンドアロン

ネットワークスピード auto-negotiation

フェイルオーバー

IPアドレスをDHCPによる自動取得

手動設定の使用

指定のIPアドレス 192 . 168 . 0 . 1

ネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ 0 . 0 . 0 . 0

プライマリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

セカンダリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

DHCPサーバを有効にする

開始IPアドレス 192 . 168 . 0 . 100

終了IPアドレス 192 . 168 . 0 . 200

リース期間 1 日 0 時

プライマリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

セカンダリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

適用

3.5.1 TCP/IP の設定

- **DHCP サーバから IP アドレス設定を自動的に取得する**

DHCP をサポートしているネットワークでは、本製品は DHCP プロトコルを使用して自動的に IP アドレスと関連情報を取得します。起動時またはリース期間終了時に再取得します。(リース期間内であっても、3 時間間隔で更新します。)

- **IP アドレスを手動で指定する**

ネットワーク接続で IP アドレスを手動で指定するには、次の情報を入力します。

- **指定の IP アドレス**

IP アドレスは、ネットワーク上の個々の構成要素を識別するために使用される 32 ビットの数字です。IP アドレスは、ドットで区切った 4 つの 8 ビットグループに分けられます。たとえば、192.168.0.1 のようになります。

- **サブネットマスク**
サブネットマスクは、同じローカルネットワーク内でコンピュータを定義します。これは 32 ビットの数字で、255.xxx.xxx.xxx のようになります。
- **デフォルトゲートウェイ**
一般的に、ゲートウェイは LAN と WAN などの 2 つのネットワークを接続する乗り換え点です。ゲートウェイが存在しない場合は、「0,0,0,0」と設定してください。

- **プライマリ DNS サーバ**
外部ネットワークに NAS の DNS サービスを提供するプライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

- **セカンダリ DNS サーバ**
外部ネットワークに NAS の DNS サービスを提供するセカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

また、次の設定ができます。

- **DHCP サーバを有効にする**
ネットワークに DHCP サーバがない場合は、このオプションを有効にして、必要なクライアントに IP アドレス設定を提供できます。
1 セグメントのみ設定可能です。NAS の IP と同じセグメントで DHCP サーバ機能を使用する場合には、必ず、NAS の IP を配布範囲外に設定してください。
- **開始 IP アドレス**
DHCP サービスに動的に割り当てる IP アドレス範囲の最初のアドレスです。
- **最終 IP アドレス**
DHCP サービスに動的に割り当てる IP アドレス範囲の最後のアドレスです。
- **リース期間**
動的な IP アドレスのリース期間を設定します。
- **プライマリ DNS サーバ**
システムがコンピュータに IP アドレスを割り当てると、プライマリ DNS サーバアドレスも指定されます。
- **セカンダリ DNS サーバ**
システムがコンピュータに IP アドレスを割り当てると、セカンダリ DNS サーバアドレスも指定されます。

- **ネットワークインターフェースの設定**

- **フェイルオーバー**

本製品の 2 つの Gigabit LAN ポートを、ポートトランク機能を備えたネットワーク製品につなげることによって冗長化することができます。

この設定を有効にした場合、ポート 1 が主(プライマリ)、ポート 2 が副(セカンダリ)として機能し、ポート1に通信障害が起きた際にはポート 2 が通信を持続します。また、ポート1が障害から回復すると、通信はポート 1 で行われます。

1 系統の LAN のみを使用する場合、必ずポート 1 に接続してください。

- **ロードバランシング**

本製品の 2 つの Gigabit LAN ポートを、ポートトランク機能を備えたネットワーク製品につなげるによって冗長化することができます。この設定を有効にした場合、ポート 1 とポート 2 は同時に通信が実行され、個々のポートに通信負荷は分散されます。サーバからのトラフィックフローが解析され、宛先アドレスに基づいてパケットが分散されます。ロードバランシング処理が実行されるのは、レイヤ 3 のルーティングプロトコル(IP)のみです。

フェイルオーバー、ロードバランシングをご使用される場合は、ポートトランキング機能に対応したスイッチングハブをご使用いただき、ポートトランキング機能を有効にした 2 ポートに接続してください。スイッチングハブがポートトランキング機能に対応していない場合、本来のパフォーマンスを発揮することができません。

- **スタンドアロン**

この設定を有効にした場合、各 LAN ポートに固有の IP アドレスが割り当てられます。必ず、2 系統の LAN を接続してください。フェイルオーバーまたはロードバランシングを使用することはできません。また、ポート 1 は DHCP が設定されます。

マルチ IP をご使用される場合は、2 つのイーサネットポートの IP 設定は、異なるサブネットにする必要があります。同一のサブネットで使用した場合、ループ障害を引き起こす場合があります。

- **ネットワーク速度**

10M は Half Duplex、100/1000M は Full Duplex 固定になります。接続するスイッチングハブによっては、認識しない場合があります。ネットワーク速度を自動的に設定できる [auto-negotiation] を使用することをお勧めします。

3.5.2 Microsoft ネットワーク

- Microsoft ネットワークのファイルサービスを有効にする

Microsoft Windows を使用している場合、ネットワーク共有フォルダのファイルにアクセスするにはこのサービスを有効にします。

- スタンドアロンサーバ

ユーザ認証にローカルユーザを使用します。

- NT ドメインメンバ

ユーザ認証に Microsoft NT ドメイン (PDC 認証) を使用します。

- AD ドメインメンバ

ユーザ認証に Microsoft AD ドメイン (アクティブディレクトリ認証) を使用します。

- **サーバの説明:**サーバの管理者名、部門、場所などで本製品をユーザに説明してサーバを識別できるようにします。日本語、英数字 48 バイトまで入力可能です。本製品を Microsoft Windows オペレーティングシステムで使用するユーザは、Microsoft ネットワークサービスを有効にする必要があります。

- **ワークグループ名:**本製品が所属するワークグループを指定します。ワークグループは、ネットワークを共有している Microsoft Windows ネットワーク上にあるコンピュータグループのユニットです。半角英数 15 バイトまで入力可能です。記号は使用できません。

- **ドメイン名:**ドメインサーバに設定されたドメイン名。NT ドメインまたは AD ドメインを選択する

場合はドメイン名を入力します。半角英数 127 バイトまで設定可能です。記号は使用できません。

- **ドメインユーザ名:**ドメインサーバに登録されたユーザ名を入力します。半角英数 127 バイトまで設定可能です。記号は使用できません。なお、ユーザは Admin 権限のみサポートします。
- **パスワード:**ドメインサーバに登録されたユーザ名に設定されたパスワードを設定します。半角英数 127 バイトまで設定可能です。記号は使用できません。



注:NT ドメインメンバー、AD ドメインメンバーの自動更新は行いません。サーバにてメンバー追加が発生した場合、手動にて情報更新と本体の再起動が必要です。ドメイン選択の場合、ユーザ情報の認証のみとなります。

• WINS サーバ

ローカルネットワークに WINS サーバが設置されている場合には、IP アドレスを指定します。本製品は自動的に WINS サービスに名前と IP アドレスを登録します。WINS サーバのサポートを有効にしない場合またはネットワークに WINS サーバがない場合は、WINS サーバ IP アドレスのフィールドに 0.0.0.0 を入力します。

WINSサーバを有効にする

指定のWINSサーバの使用

WINS IPアドレス

ドメインマスタ

• ドメインマスタを有効にする

本製品をドメインマスタとして機能させることができます。

ドメインサーバ(DNS)を利用しない場合、ドメインの参照先となるドメインマスタ(ドメインマスタブラウザ)に本製品が自動設定されます。ドメインマスタとなった場合、本体のパフォーマンスが低下し、アクセス遅延等が発生します。複数のセグメントを越えてアクセスする場合、WINS サーバへの登録、クライアント PC の LMHOST の入力を推奨します。登録されない場合、表示できないことがあります。

3.5.3 Apple ネットワーク

本製品を Apple の MAC オペレーティングシステムが動作しているネットワーク環境で使用するには、AppleTalk ネットワークサポートを有効にします。

AppleTalk ネットワークが、拡張ネットワークを使用していて複数ゾーンを指定されている場合は、本製品にゾーン名を指定します。半角英数 15 バイトまで入力可能です。ネットワークゾーンを指定しない場合は、アスタリスク(*)を入力してデフォルト設定を使用します。



注: 初期設定を変更した場合、サポート対象外となります。

- Appleネットワーク

Appleネットワークを有効にする

ゾーン名

3.5.4 Linux (NFS) サービス

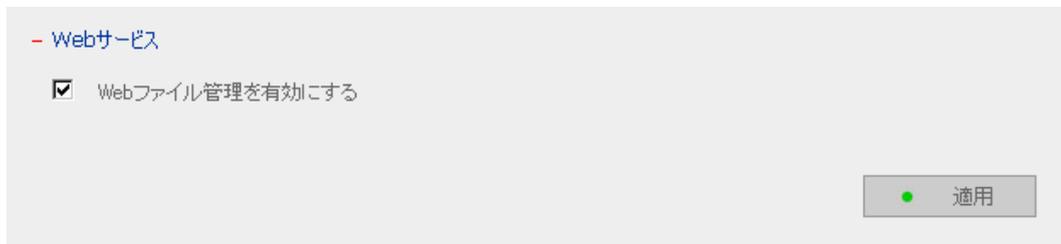
本製品を、Linux オペレーティングシステムが動作しているネットワーク環境で使用するには、NFS サービスを有効にします。本製品は NFS バージョン 2.0 および 3.0 をサポートしています。UID には対応していません。ルートとしてシステムにログインし、mount コマンドを使用してネットワークに接続します。その後は別の識別情報でログインして以前に行った NFS 設定を使用して本製品にアクセスできます。

- Linux(NFS)サービス

Linux(NFS)サービスを有効にする

3.5.5 Web サービス

Web ブラウザを使って本製品のファイルにアクセスするには、Web ファイル管理を有効にします。本製品がインターネットに接続されていて有効な IP アドレスが使用されている場合は、Web ブラウザを使ってどこからでもサーバのファイルにアクセスできます。

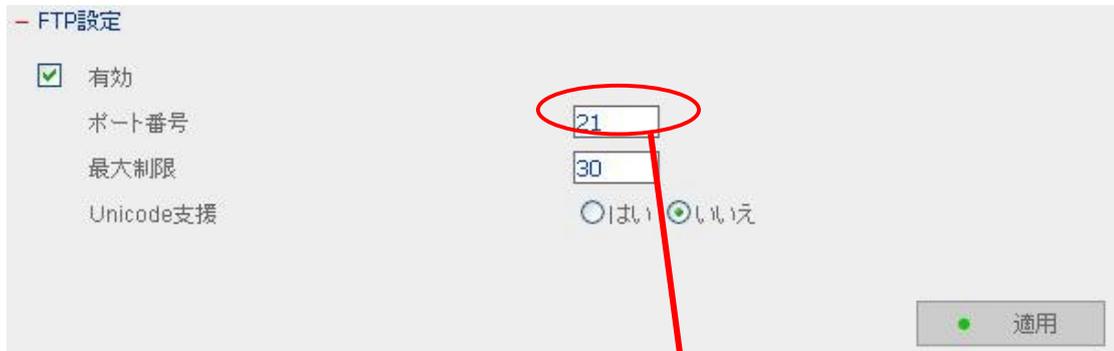


3.5.6 FTP サービス

ファイル転送プロトコル(FTP)を使用して本製品からのファイルのダウンロードを行うには、FTP サービスを有効にします。

FTP 接続専用ソフトをご利用の際には、ここで指定した[ポート番号]を接続ポートに指定ください。

同時接続は、3 セッションまでを推奨します。



ポート番号を任意の番号に変更可能ですが、特別な理由のない限り変更しないでください。

3.5.7 プリンタサーバ

この機能を有効にすることで、ネットワーク経由での印刷が可能になります。
(詳しくは、「[4.7 ネットワークプリンタの設定方法](#)」を参照してください。)



注: 対応機種

RICOH G515/G717/G7570/GX3000
Canon PIXUS iP4200 です。

- ネットワークプリンタサーバ

ネットワークプリンタサーバを有効にする

ネットワークプリンタ名

コメント

ネットワークプリンタ名、コメントは任意の名前に設定できます。クライアント PC からは、ここで設定した名前でプリンタ登録します。

3.5.8 ネットワーク設定情報の表示

- ネットワーク

現在のネットワーク接続の設定および状態を表示できます。

- 設定を全て表示

ネットワーク	ネットワーク設定	その他
接続方法		
接続方法		DHCP
IPアドレス		192.168.1.100
サブネットマスク		255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ		192.168.1.1
MACアドレス		00:00:00:00:00:00
接続状態		接続
接続方式		ロードバランシング
DHCPサーバ設定		
有効にする		NO
割り当てIPアドレス		192.168.1.100 - 192.168.1.100
リース期間		1日0時

- ネットワーク設定

現在のネットワークサービスの設定を表示できます。

- 設定を全て表示

ネットワーク	ネットワーク設定	その他
Microsoftネットワーク		
有効にする		YES
サーバータイプ		スタンドアロンサーバー
ワークグループ名		NAS
WINSサーバを有効にする		NO
ドメインマスタを有効にする		NO
Appleネットワーク		
有効にする		YES
ゾーン名		*
Linux(NFS)サービス		
有効にする		YES
Webファイル管理		
有効にする		YES
FTP		
有効にする		YES
ポート番号		21
最大制限		30
Unicode支援		NO

- 閉じる

- その他

プリンタサービスの設定を表示できます。

- 設定を全て表示

ネットワーク	ネットワーク設定	その他
プリンタサービス		
有効にする		YES
プリンタ名		G717
コメント		Printer port on NAS

- 閉じる

3.6 ディスク設定

本製品には 4 台のディスクを内蔵しています。ディスクボリュームを次のように設定できます。

- **単独ディスクボリューム**

スタンドアロンでディスクを使用できます。ディスクが破損すると、すべてのデータが失われます。

- **RAID 5 パリティ付きストライピングボリューム**

パリティ付きストライピングディスクでは、データを複数のディスクへ分散して保存し、分散化したパリティディスクを持たせることで冗長性を確保しています。ディスクが 1 台故障した場合、故障したディスク交換をすると、自動的に RAID の再構築が行われ、必要なデータが復元されます。パリティ付きストライピングディスクは、個人または企業で重要なデータを保護する場合に適しています。RAID 5 を構成するには、少なくとも 3 台以上のディスクボリュームを実装します。

RAID5+ で使用する場合は、ホットスペアディスクを指定してください。ホットスペア機能は、HDD の故障に備えて、あらかじめ予備の HDD を通電状態で待機させておきます。HDD に故障が発生した場合、スペアディスクが、故障が発生した HDD と入れ替わります。その後交換した HDD がスペアディスクとして待機状態になります。

- **RAID 1 ミラーリングディスクボリューム**

ミラーリングディスクでは、1 台目のディスクの内容を、ミラーリングの対になっている 2 台目のディスクに自動的にバックアップすることによってデータの安全性を増します。これによってディスクのどちらかが破損した場合でもデータが残されます。仕様上 2 台目のディスクは 1 台目のディスクの自動バックアップとして機能するため、記憶容量は 1 台のディスクの容量と同じです。ミラーリングディスクボリュームは、個人または企業で重要なデータを保存する場合に適しています。

- **RAID 0 ストライピングディスクボリューム**

ストライピングディスクでは、複数のディスクを結合して 1 台の大容量ディスクとして使用します。ディスクへのアクセスは最も速くなりますが、ストライピングアレイに故障が発生した場合、データは保護されません。ディスク容量は、ストライピングアレイ中のディスクの最小容量 x ディスクの台数になります。ストライピングディスクはディスク容量の最大化やディスクへのアクセスの高速化のために使用されるのが普通で、重要なデータの保存には使われません。

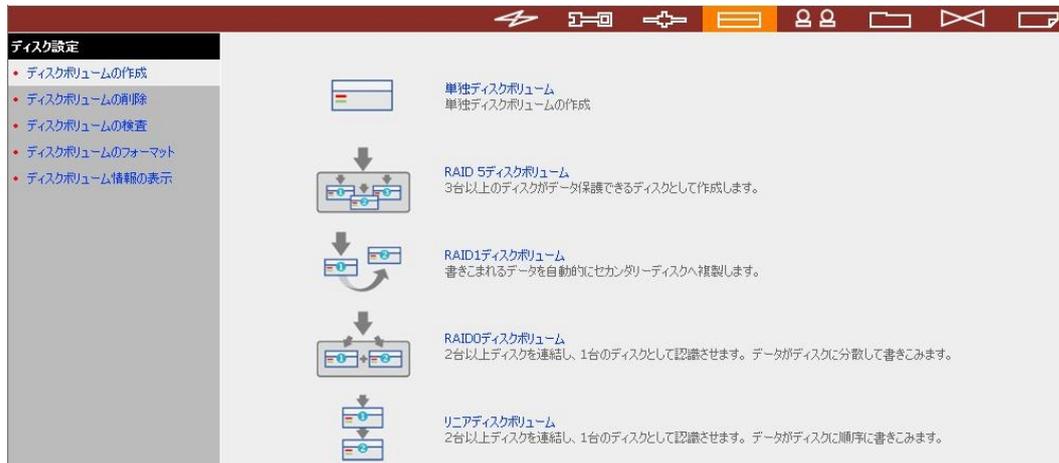
- **リニアディスクボリューム**

複数のディスクを結合して 1 台の大容量ディスクとして使用できます。ファイルは複数の物理ディスクに連続して保存されますが、ディスク故障時のファイル保護機能はありません。リニアディスク全体の容量は全ディスク容量の合計です。リニアディスクは大量のデータを保存する場合に使用されるのが普通ですが、重要なデータのファイル保護には適していません。

本製品は工場出荷時には RAID 5 ディスクに設定されています。これ以外のディスク設定を使用する場合は、クイック設定に最初にアクセスするときに設定を変更できます。

また、次の方法でディスクボリュームを管理できます。

- **ディスクボリュームの作成**



- **ディスクボリュームの削除**

完全にデータを消去します。データ、RAID の復元はできません。RAID 再構築時は、必ず削除を実行してください。

– ディスクボリュームの削除

削除するディスクボリュームを指定し、OKをクリックしてください。

警告: 指定したディスクボリュームのデータとネットワーク共有はすべて失われてしまいます! ユーザの接続は解除されます!

注意: 共有表示をクリックすると、ボリュームの共有とユーザがすべて表示します。

ボリューム	容量	空き領域	状態
<input checked="" type="radio"/> RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 4	714570.56 MB	703253.14 MB	正常

OK

キャンセル

ネットワーク共有表示

- ディスクボリュームの検査

検査実行中、ファイルへのアクセスはできません。

- ディスクボリュームの検査

検査するボリュームを選択し、OKをクリックして下さい。エラーが発見された場合は、[エラーを自動的に修復]をチェックを入れると自動的に修復できます。

警告: ユーザの接続は強制的に解除されます!

注意: 共有表示をクリックすると、ディスクボリュームの共有とユーザがすべて表示します。

ボリューム	容量	空き領域	状態
 RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 4	714570.56 MB	703253.14 MB	正常

エラーを修復します



OK



キャンセル

ネットワーク共有表示

- ディスクボリューム操作レポート

このページには、ディスクボリューム操作の現在の状態および情報が表示されます。フォーマット、RAID の作成、検査時は、5 秒間隔で情報が更新されます。

- ディスクボリュームのレポート

タイプ	ディスクボリュームの検査
ソース	RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 4
対象	--
状態	確認中...
結果	--
コメント	完了するまで時間がかかります。
<p>注意: 自動的に5秒ごと更新します。ディスクボリューム情報の表示ページで確認できます。</p>	



閉じる

- ディスクボリュームのフォーマット

RAID 構成を維持したまま、データの削除のみを行います。この操作実行後、データの復元はできません。

- ディスクボリュームのフォーマット

フォーマットするディスクボリュームを指定し、OKをクリックします。

警告: 指定したディスクボリュームのデータとネットワーク共有はすべて失われてしまいます! ユーザの接続は解除されます!

注意: 共有表示をクリックすると、ディスクボリュームの共有とユーザがすべて表示します。

ボリューム	容量	空き領域	状態
 RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 4	714570.56 MB	703253.14 MB	正常



OK



キャンセル

ネットワーク共有表示

- ディスクボリューム情報の表示

- 物理ディスク

ディスク	モデル	容量	状態
ドライブ 1	ATA ST3250824AS 3.AA	238475.18MB	正常
ドライブ 2	ATA ST3250824AS 3.AA	238475.18MB	正常
ドライブ 3	ATA ST3250824AS 3.AA	238475.18MB	正常
ドライブ 4	ATA ST3250824AS 3.AA	238475.18MB	正常

- 設定したディスクボリューム

ボリューム	容量	空き領域	状態
RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 4	714570.56 MB	703253.14 MB	正常

 更新
  閉じる

- ディスクボリュームを復旧する。

「3.6.1 ディスクボリュームの復旧」をご参照ください。

3.6.1 ディスクボリュームの復旧

「ディスクボリュームを復旧する」の機能で RAID5 および RAID5+ (ホットスベア) の RAID ディスクボリュームを復旧させることができます。



注: 本機能はソフトウェア RAID の RAID ディスクボリュームが論理的に破損した場合に復旧させるものです。HDD に物理的な破損や電氣的な故障がある場合は復旧させることができません。また、RAID ディスクボリューム情報を消失しまっている場合も復旧させることができません。

ディスクボリューム復旧手順

1. 「ディスクボリューム情報の表示」の画面で RAID ディスクボリュームの状態が「起動していません」と表示されていることを確認します。

物理ディスク			
ディスク	モデル	容量	状態
ドライブ 1	ATA WDC WD1600JS-22M 02.0	152627.84MB	正常
ドライブ 2	ATA WDC WD1600JS-22M 02.0	152627.84MB	正常
ドライブ 3	ATA WDC WD1600JS-22M 02.0	152627.84MB	正常
ドライブ 4	ATA WDC WD1600JS-22M 02.0	152627.84MB	正常

設定したディスクボリューム			
ボリューム	容量	空き領域	状態
RAID 5ディスクボリューム: ドライブ 1 2 3 4	--	--	起動していません

注: ディスクボリュームに障害が発生した時は、[ディスクボリュームを復旧] をクリックして復旧して下さい。



注: 本機能は RAID ディスクボリュームが「起動していません」という状態になっているときのみご使用ください。「正常」や「格下げモード」の状態では本機能を使用しますと誤動作の原因となります。

2. 「ディスクボリュームを復旧する」の画面に入り、[OK]をクリックします。



3. 復旧の障害となる HDD が存在した場合、次のような画面が表示されます。該当する HDD を一旦外し、[戻る]をクリックして「ディスクボリュームを復旧する」の画面に戻ります。



4. 再度[OK]をクリックします。



5. RAID ディスクボリュームの復旧が完了すると、次の画面が表示されます。



6. 格下げモードで動作し始めます。



7. 外していた HDD を再装着します。システムが HDD を認識するとリビルドが開始されます。リビルドのプロセスが 100% になれば完了です。この時、再装着した HDD に物理的な破損や電気的な故障がある場合、リビルドを完了することができません。この場合は HDD を交換して再装着してください。



リビルド中は「再同期中」と表示されます。

8. すべての復旧が完了した後、システムを再起動することを推奨いたします。

! 注:リビルド中は絶対にHDDを取り外さないようお願いします。HDDの故障やデータ破損の原因になります。

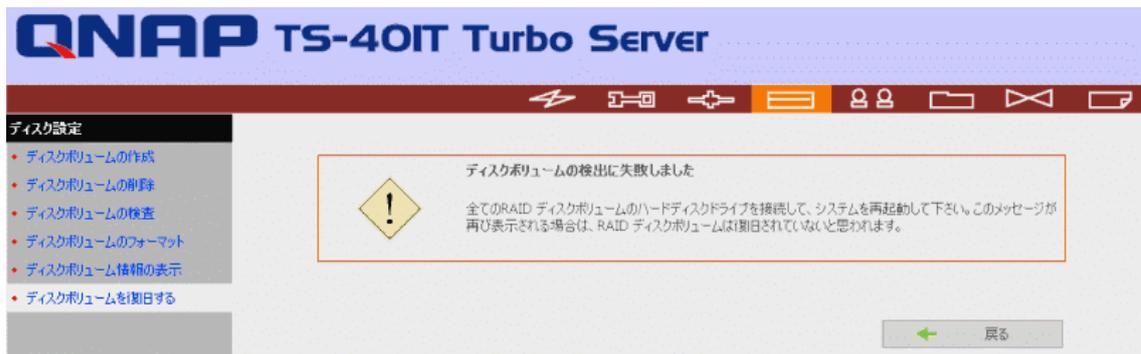
警告画面

1. 「ディスクボリューム情報の表示」の画面で、状態が「起動していません」となっていない場合は次のような画面が表示されます。



2. 復旧に必要な台数の HDD を検出できない場合、次の画面が表示されます。

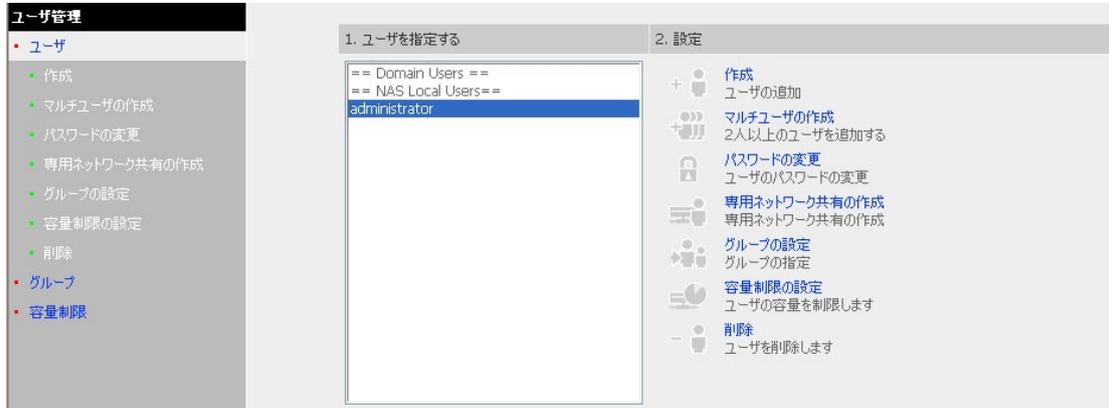
復旧に最低限必要な台数 (RAID5 で 3 台、RAID5+ で 2 台) を物理的には装着しているにもかかわらず、次の画面が表示される場合は、RAID ディスクボリューム情報を消失してしまっていることが考えられます。この場合、一旦 RAID ディスクボリュームを削除して、再度作成してください。



注: RAID ディスクボリュームを削除すると、中のデータを読み出すことはできなくなります。あらかじめご了承ください。

3.7 ユーザ管理

本製品のファイルは、複数のユーザで共有できます。管理を簡単に行い、ユーザのアクセス権の制御を強化するには、ユーザとユーザグループ、およびそのアクセス権を秩序立ったものにする必要があります。



3.7.1 ユーザ

システムにはデフォルトで administrator のユーザがあらかじめ登録されています。

Administrator

administrator はデフォルトで administrators グループのメンバであり、システムを管理できます。ユーザ administrator は削除できません。

Guest

ログインに登録されていないユーザ名が使用された場合、本製品はそのユーザを guest として認識し、限定的なアクセスを許可します。guest は、どのグループにも所属しません。guest は削除できず、そのパスワードは作成できません。

anonymous

FTP サービスによってサーバに接続するときに、この名前を使用してゲストとしてログインできます。このユーザは削除できず、そのパスワードは変更できません。

必要に応じて新しいユーザを作成できます。新しいユーザの作成には、次の情報が必要です。

最大 511 ユーザまで登録可能です。推奨同時接続数は 15 ユーザです。

• ユーザ名

ユーザ名は 32 文字以内で設定可能です。大文字と小文字は区別されず、ひらがな、漢字などの 2 バイト文字も使用できますが、以下の文字は使用できません。また、機種依存文字の使用はサポート対象外となります。基本的には半角英数文字でのご利用をお勧めします。

" / \ [] : ; | = , + * ? < > ` '

• パスワード

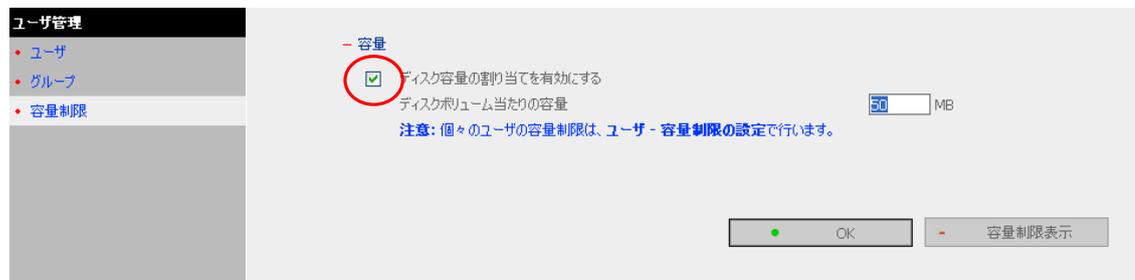
パスワードは半角英数 6 ~ 16 文字でなければなりません。大文字と小文字の区別はできません。記号、機種依存文字の使用はサポート対象外となります。簡単に解読できるようなパスワードは使用しないでください。

また、ユーザのために次の設定を実行できます。

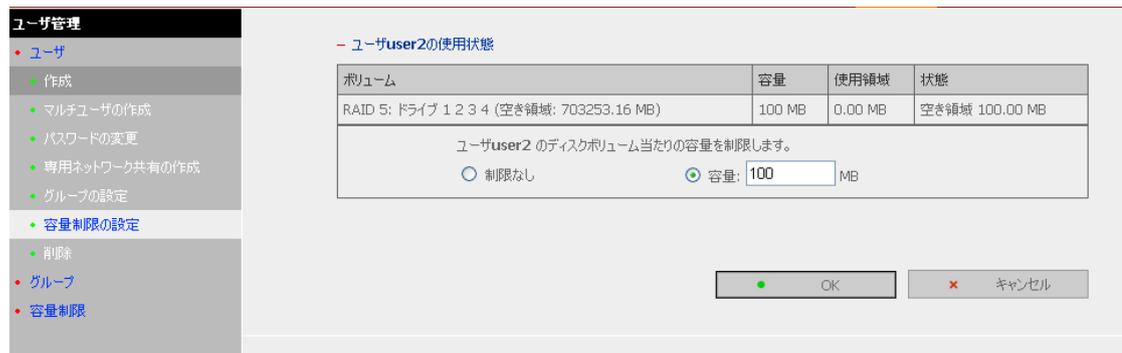
作成	ユーザを作成 (追加) します。
パスワードの変更	登録済みのパスワードを変更します。
専用ネットワーク共有の作成	ユーザ専用の共有フォルダを作成します。
グループの設定	ユーザが所属するグループを設定します。
容量制限の設定	ユーザ毎の容量制限を設定します。
削除	ユーザを削除します。

容量制限の設定について

ユーザ毎に容量制限を行う場合は、あらかじめ「容量制限」の項目で、「ディスク容量の割り当てを有効にする」にチェックを入れておいてください。(「3.7.3 容量制限」参照)



「ディスク容量の割り当てを有効にする」にチェックを入れます。この段階では guest を含む全てのユーザが同一の容量制限となります。



ユーザ毎に容量制限を設定していきます。

3.7.2 ユーザグループ

ユーザグループは、ファイルやフォルダに同じアクセス権を持つユーザの集まりです。本製品では、デフォルトで次のユーザグループがあらかじめ登録されています。

administrators

administrators グループのすべてのメンバには、システム管理を行う権限があります。グループ administrators は削除できません。

everyone

登録されているすべてのユーザは everyone グループに属します。グループ everyone は削除できません。



次のオプションでユーザグループを管理できます。

- i. 作成
- ii. 専用ネットワーク共有の作成
- iii. ユーザの設定
- iv. 削除

ユーザグループ名は日本語、英数字 32 バイトまで設定可能です。大文字と小文字は区別されません。記号、機種依存文字など、以下の文字は使用できません。

" / \ [] : ; | = , + * ? < > ` '

詳細については、製品付属の制限文字一覧をご確認ください。

最大登録ユーザグループ数は 30 ユーザグループです。

適切なセキュリティ管理のためには、ユーザとユーザグループを管理することが非常に重要です。各ユーザまたはユーザグループに応じて共有アクセスパラメータの設定もできます。

3.7.3 容量制限

ディスクボリュームを効率よく割り当てるために、各ユーザが使用できる容量を制限できます。容量制限が設定された場合、ユーザは、容量制限を超えてディスクスペースを使用することはできません。デフォルトでは、ユーザに対して制限はありません。次の 2 点を変更できます。

- ディスク容量の割り当てを有効にする
- ディスクボリューム当たりの容量

- 容量

ディスク容量の割り当てを有効にする
ディスクボリューム当たりの容量 MB

注意: ユーザのディスク容量の割り当ては**容量制限**で変更できます

OK 容量制限表示

ここで容量制限を設定した段階では、guest を含めた全てのユーザが同一の容量制限となります。

「容量制限表示」画面

OK 容量制限表示

- RAID 5: ドライブ 1 2 3 4 (空き領域: 703253.16 MB)

ユーザ	容量	使用領域	状態
administrator	--	0.02 MB	制限なし
guest	50 MB	0.00 MB	空き領域 50.00 MB
user1	50 MB	0.00 MB	空き領域 50.00 MB
user2	50 MB	0.00 MB	空き領域 50.00 MB

「3.7.1 ユーザ」の項をご参照いただき、ユーザ毎に容量制限を設定してください。

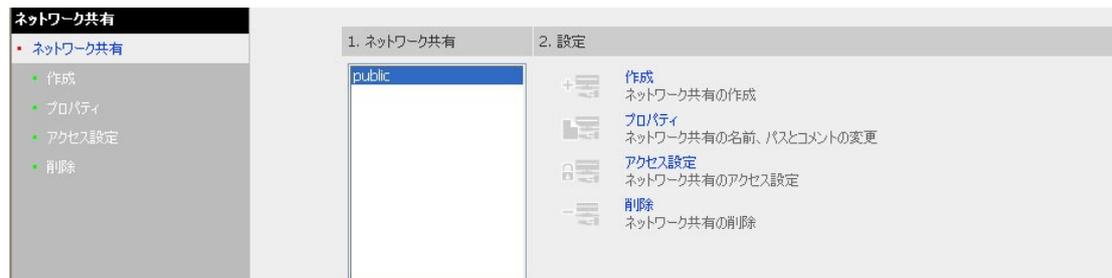
OK 容量制限表示

- RAID 5: ドライブ 1 2 3 4 (空き領域: 703253.16 MB)

ユーザ	容量	使用領域	状態
administrator	--	0.02 MB	制限なし
guest	50 MB	0.00 MB	空き領域 50.00 MB
user1	100 MB	0.00 MB	空き領域 100.00 MB
user2	--	0.00 MB	制限なし

3.8 ネットワーク共有管理

ネットワークストレージの主な目的は、ファイルの共有です。標準的な操作環境では、各種ファイルに異なるネットワーク共有フォルダを作成することや、ユーザやユーザグループに異なるファイルアクセス権を与えることができます。出荷時の初期設定では、[public]共有フォルダが作成されています。[public]共有フォルダには、すべてのユーザとゲストがアクセスできます。



ネットワーク共有管理には、4つのオプションがあります。

- i. ネットワーク共有の作成
- ii. ネットワーク共有の名前、パス、コメントの変更
- iii. ネットワーク共有のアクセス権の設定
- iv. ネットワーク共有の削除

- 作成

ネットワーク共有を作成するには、次の情報を入力します。

- ネットワーク共有名

共有名は 32 文字を超えることはできず、次の文字は使用できません。

". + = / \ : | * ? < > ; [] % ()

- ディスクボリューム

この領域は、ディスクボリュームの状態を表示します。

- パス

すべてのデータはディスクボリューム上の指定されたパスの下に保存されます。[自動的にパスを指定する]を選択し、ネットワーク共有ファイルを保存するディスクボリュームの新しいパスを自動的に作成できます。または、共有フォルダの特定のパスを指定することもできます。パスは 256 文字を超えることはできず、以下の文字は使用できません。

" \ : ; | * ? < > ` ' ()

- コメント

共有フォルダの簡単な説明を入力します。コメントは、64 文字を超えることはできません。

- 作成

ネットワーク共有名

ディスクボリューム RAID 5: ドライブ1234

パス 自動的にパスを指定する
 手動でパスを登録する

コメント

皆にフルアクセス権を割り当てる
 ゲストに読み取りアクセス権を割り当てる
 ネットワーク共有のアクセス権を設定する

参照...



注: フォルダ作成は 5 階層までを推奨します。5 階層以上のフォルダ作成を行った場合、フルパス制限やパフォーマンスが低下する場合があります。

- **アクセス制御**

ネットワーク共有が作成されると、ユーザまたはユーザグループにアクセス権を指定できます。

- **アクセス拒否**

このオプションが選択された場合、ネットワーク共有へのアクセスは拒否されます。

- **読み込みのみ**

読み込みのみが指定された場合、ユーザはネットワーク共有のファイルの読み取りのみができます。

- **フルアクセス**

フルアクセスのユーザは、ネットワーク共有上のファイルおよびフォルダの読み取り、書き込み、作成、または削除ができます。

- アクセス権

ネットワーク共有publicにアクセスできるユーザ/グループ	ネットワーク共有publicにアクセスできないユーザ/グループ
===グループ=== everyone(フルアクセス)	===グループ=== administrators ===ユーザ=== administrator
← 追加	
削除 →	
権限	
フルアクセス ▼	

ゲストのアクセス権: アクセス拒否 読み込みのみ フルアクセス

- 閉じる



注: everyone グループをアクセス拒否に設定すると、administrator を含めた全てのユーザがアクセスできなくなります。

- プロパティおよび削除

既存のネットワーク共有のプロパティを編集するには、共有を選択して[プロパティ]をクリックします。選択した共有の内容を編集できます。

プロパティ

ネットワーク共有名

ディスクボリューム

パス

コメント

参照...

注意: 共有のボリュームがパスを変更しても、既存のボリュームがパスのデータは削除しません。

また、既存のネットワーク共有の削除も選択できます。[OK]をクリックして削除を確認するかまたは[キャンセル]をクリックして削除を中止します。

ネットワーク共有

- ネットワーク共有
 - 作成
 - プロパティ
 - アクセス設定
 - 削除

削除 public.

注意: ネットワーク共有にアクセスしているユーザの接続が強制的に解除されます。

OK キャンセル

3.9 システムツール

システムツールを使って、本製品の保守と管理を最適化できます。

3.9.1 SNMP 設定

SNMP(シンプルネットワーク管理プロトコル)を使用してサーバのネットワーク構成要素を管理するには、SNMP サービスを有効にして必要な設定をすべて完了させます。[SNMP トラップ設定を有効にする]が有効になっている場合、エラーが生じると指定したトラップホストにメッセージが送信されます。

SNMP エージェントに含まれる MIB は、MIB-II (RFC1213) および、HOST RESOURCES MIB(RFC2790)に準拠します。



3.9.2 アラート通知

管理者の E-メールアドレスと SMTP サーバの IP アドレスを入力します。警告や異常が発生した場合には管理者に自動的に電子メールが送信されます。

- SMTP ポート番号は 25 となります。変更することはできません。
- 送信メッセージの内容を編集することはできません。

- アラート通知

レベル: 高: ドラブルやエラーが発生した時にE-メールを送る
 通常: 重大なエラーが発生した時だけE-メールを送る
 低: E-メールは通知はしない

E-メール(SMTP)サーバIPアドレス: . . .

SMTP認証を起動します

ユーザー名:

パスワード:

E-メールアドレス 1:

E-メールアドレス 2:

テストE-メールを送る

SMTP 認証を必要とするメールサーバで利用する場合は、[SMTP 認証を起動します]のチェックボックスにチェックを入れ、認証に必要なユーザ名とパスワードを入れてください。

3.9.3 再起動 / シャットダウン

本製品の再起動またはシャットダウンを選択します。

- 再起動/シャットダウン

再起動する場合、再起動ボタンをクリックしてください。
 終了する場合、シャットダウンボタンをクリックしてください。

3.9.4 ハードウェアの設定

本製品のハードウェア機能を有効または無効にできます。

ハードウェア設定

- LCD パネル設定を有効にする
- パスワードリセットスイッチを有効にする
- ハードディスクのスタンバイモードを有効にする(10分間 以内にアクセスしなかった場合)
- ブザーを有効にする

電源タイプ

適用

- **LCD パネル設定を有効にする**
ユーザが LCD パネルを使って TCP/IP 設定を行えるようにします。
本機能を OFF にした場合、サポート対象外となります。
- **パスワードリセットスイッチを有効にする**
このオプションを有効にすることによって、製品本体のリセットボタンを数秒間押すと管理者パスワードとネットワーク設定がデフォルトにリセットされます。
- **ハードディスクのスタンバイモードを有効にする**
サーバにアクセスがない場合に、ハードディスクをスタンバイモードへ切り替える時間(分単位)を設定します。
ハードディスクスタンバイモードを有効にしてのご利用はサポート外となります。
- **ブザーを有効にする**
ブザーを有効にすると、システムエラーが生じた場合に警報音が鳴ります。
本機能を OFF にした場合、サポート対象外となります。
- **電源タイプ**
電源のタイプを選択します。Single(電源 1 個)と Redundant(電源 2 個)のいずれかを選択できます。
本製品は標準で電源を 2 個搭載しておりますので、必ず Redundant を選択してください。

3.9.5 UPS

ご使用の UPS(無停電電源装置)が USB インターフェースを搭載している場合は、UPS サポートを有効にして停電による異常なシステムシャットダウンからシステムを保護できます。外部電力障害の場合は、接続された UPS ユニットの電源状態を確認し、システムは自動的にシャットダウンします。

<対応 SNMP マネジメント>

APC 社製 Network Management Card EX(AP9617), EM(AP9619)

<動作対応確認済み UPS>

SNMP マネジメント	Smart-UPS 750(AP9617 装着) / Smart-UPS 700(AP9617 装着) Smart-UPS 1500(AP9617 装着)
USB マネジメント	Smart-UPS 750、Smart-UPS 1500

- **UPS サポートを有効にする**

UPS サポートを有効にするには、このオプションを選択します。システムが AC 電源の異常を検出した後、自動的にシステムの電源を切るためのシャットダウンタイムを設定できます。一般的に UPS はシステムに 5 ~ 10 分電源を供給できますが、この時間は UPS の最大負荷と UPS に接続されている負荷数によって異なります。

- **UPS モデル**

UPS モデルを一覧から選択します。使用している UPS モデルが一覧にない場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。

- **UPS の IP アドレス**

UPS モデルに APC UPS(SNMP 付)を選択した場合は、その UPS の IP アドレスを入力します。



注: UPS サポートが有効になっていない場合、テストボタンは機能しません。

3.9.6 システムのアップデート

本製品のファームウェアを弊社 Web サイト(<http://www.princeton.co.jp>)からダウンロードします。

入手したアップデートファイルのバージョンが正しいことを確認してください。

ファームウェアを更新する前に、本製品のすべての既存データをバックアップすることをお勧めします。現在の設定は、システムのアップグレード後も変更されません。



注: アップデート方法の詳細については、弊社 Web サイトをご参照ください。

- アップデート

ご注意: システムが正常に動作している場合にはファームウェアのアップデートは必要ありません。

現在のファームウェアバージョン: 1.0.0 Build 1214

ファームウェアのアップデートを開始する前に、製品名およびファームウェアバージョンをご確認ください。ファームウェアのアップデートは下記の手順に従って進めてください。

手順1: QNAP ウェブサイトからファームウェアと同じバージョンのリリースノートをダウンロードしてください。

<http://www.qnap.com.tw/> リリースノートを注意してお読みください。更にファームウェアをアップデートする必要があるかどうかご確認ください。

手順2: ファームウェアのアップデート前には、データの紛失を避けるためにサーバー上の全データのバックアップをとってください。

手順3: ファームウェアのアップデートには [参照...] ボタンをクリックした後、[更新] ボタンをクリックしてください。

ご注意: アップデートには数十秒から数分かかることがあります。アップデートの完了が通告されたら終了です。

QNAP Network Attached Storage

TS-40IT Turbo Server



日本語

パスワード変更

サーバ管理

Web ファイル管理



Version 1.0.0 build 1214

高信頼性、高容量のネットワーク・アタッチド・ストレージ

- 各種ファイルアクセスプロトコルをマルチサポート
- RAIDによるデータ保護
- ウェブ・インターフェースによる容易な管理

3.9.7 ロゴ変更

ホームページ左下にある画像を変更することができます。

ロゴを変更するには、**[表示]**のプルダウンメニューからイメージを選択し、**[適用]**ボタンをクリックします。変更した画像を表示するには、ウェブブラウザを更新または再起動してください。

ロゴ変更

[表示]メニューからイメージを指定してください。**[適用]**ボタンをクリックし、変更します。

別のイメージファイルをアップロードできます。**[参照...]**ボタンをクリックし、イメージファイルを指定してください。**[アップロード]**ボタンをクリックしてアップロードします。

アップロードしたファイルを**[置換]**メニューに置換したい場所を指定ください。**[適用]**ボタンをクリックし置換します。

アップロード: **[参照...]** **[アップロード]**

置換: **[置換なし]** **[置換]**

表示: **[イメージ 1]**

 イメージ 1	 イメージ 2	 アップロードしたイメージ
 イメージ 3	 イメージ 4	 使用中のイメージ

注意:最高のイメージになるために、アップロードしたファイルのサイズが100X100ピクセルで推奨されます。

[適用]

- **アップロード**

[参照]ボタンをクリックして任意の画像を選択し、**[アップロード]**ボタンをクリックします。

使用できる画像は、20KB 以下のサイズです。また、TIFF イメージは使用できません。

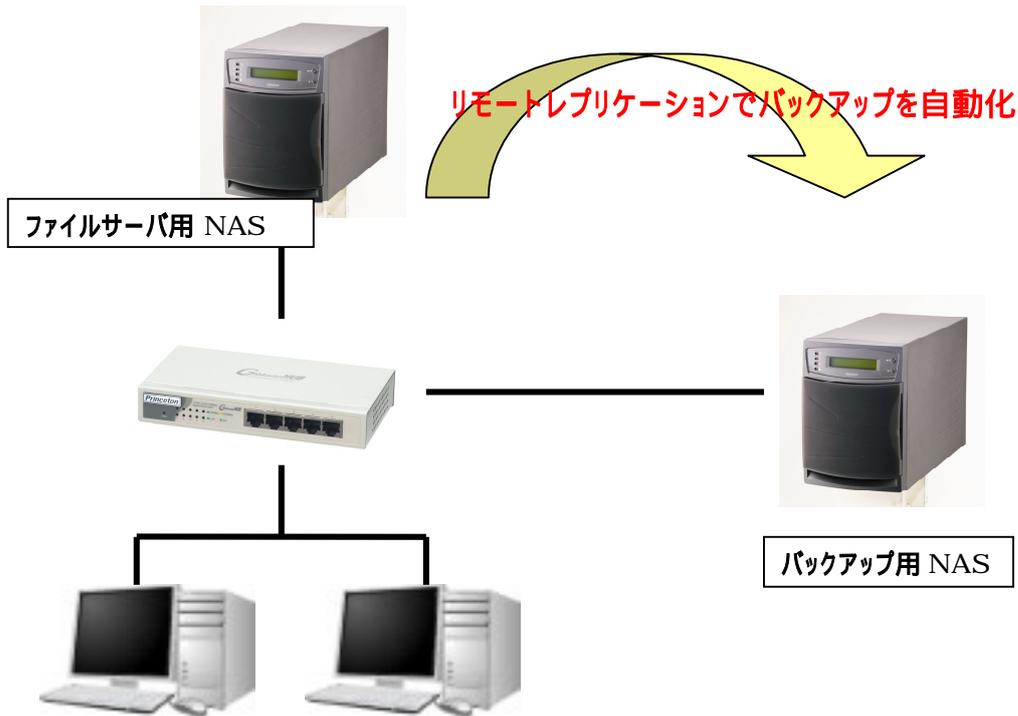
画像を正しく表示するには、ファイルサイズは 100 x 100 ピクセルを推奨します。

- **置換**

アップロードしたイメージを保存します。**[置換]**のプルダウンメニューから、保存したいイメージ番号を選択し、**[置換]**ボタンをクリックします。

3.9.8 リモートレプリケーション

リモートレプリケーション機能とは、NAS 製品間で、自動的にデータのバックアップを行う機能です。ネットワークで接続されている NAS 製品間で利用できますので、ローカルネットワークだけではなく、インターネット経由で遠隔地にある NAS 製品を指定することも可能です。(外部から利用可能な固定 IP で設定されている必要があります。)



リモートレプリケーションの設定方法

リモートレプリケーションの設定は、バックアップ元で行います。

- **新規作成**

1. [新規]をクリックし、次のページに進みます。



2. バックアップ対象やスケジュールを設定します。

新しいリモートレプリケーションを追加

タスク名

リモートバックアップソース

リモートホスト名 / IPアドレス

リモート先のパス (ネットワーク共有 / ディレクトリ) /

ユーザ名

パスワード

リモートホストのテスト (状態:--)

ローカルバックアップソース

ソースパス(ネットワーク共有 / ディレクトリ) /

レプリケーションをすぐに実行

レプリケーションスケジュール 時 : 分

毎日

週単位

月単位 日

ファイル圧縮を有効にする

リモートレプリケーションを実行する際に、webファイル管理サービスを停止する

新しいファイルだけレプリケーションする

リモート先の余分なファイルを削除する

バックアップ先の設定

バックアップ元の設定

< 各項目の説明 >

タスク名	このバックアップ作業に名前をつけます。
リモートバックアップソース	
リモートホスト IP アドレス	バックアップ先の NAS の IP アドレスを入力。
リモート先のパス	バックアップ先のネットワーク共有フォルダを入力。第 1 階層のフォルダまで指定可能です。
ユーザ名	「リモート先のパス」で指定したネットワーク共有フォルダにアクセスできるユーザ名を入力。
パスワード	「リモート先のパス」で指定したネットワーク共有フォルダにアクセスできるユーザのパスワードを入力。
リモートホストのテスト	上記の設定で、バックアップ先の NAS に接続できるかを確認する。接続できる場合、状態が「正常」と表示される。 2 回目以降の編集時とテスト後は、パスワードの再入力が必要です。
ローカルバックアップソース	
ソースパス	バックアップ元のネットワーク共有フォルダを指定。第 1 階層のフォルダまで指定可能です。
レプリケーションスケジュール	
レプリケーションをすぐに実行	設定完了後、すぐにバックアップ動作が行われます。
毎日/週単位/月単位	指定した日時になると、バックアップ動作が行われます。
動作オプション	
ファイル圧縮を有効にする	レプリケーション動作時、全てのデータを圧縮して転送します。圧縮ファイルは、転送先にて自動的に解凍されます。
リモートレプリケーションを実行する際に、Web ファイル管理サービスを停止する	レプリケーション動作中に、すべての共有フォルダにアクセスできないようにします。 http によるアクセスは可能
新しいファイルだけレプリケーションする	フォルダ内にあるデータのうち、更新されたものだけをバックアップします。(転送元にあるデータの作成日時、更新日時が、転送先にあるデータより古い場合でも、データは上書きされます。)
リモート先の余分なファイルを削除する	バックアップ先と指定したフォルダに、バックアップ元にはないデータが保存されている場合、それらのデータを削除します。

3. [OK]をクリックします。

 **注:**リモートレプリケーションを使用するには、以下の点を確認してください。

1. Microsoft ネットワークが有効であること。
2. バックアップ先に、指定したネットワーク共有とディレクトリが作成されていること。
3. ユーザ名とパスワードが、目的のフォルダへログインするのに有効であること。

• 編集

1. 編集するタスクを選択します。
2. [編集]をクリックします。



3. 設定を編集します。
4. [OK]をクリックして保存します。

• 削除

1. 削除するタスクを選択します。
2. [削除]をクリックします。



3.9.9 アンチウイルス設定 (オプション機能)

トレンドマイクロ アンチウイルスによって、システムをウイルスの感染から保護します。

現在オプションの販売は行っておりません(2007年4月現在)

3.9.10 設定のバックアップ/リストア/リセット

- 設定をバックアップするには該当するオプションを選択して[バックアップ]をクリックします。
- 設定バックアップファイルを復旧させるには、[参照]をクリックしてファイルを選択してから[リストア]をクリックします。
- 設定を工場出荷時のデフォルトにリセットするには、該当するオプションを選択して[リセット]をクリックします。

- バックアップ/リストア/リセット設定

- ・ 設定をリストアするには、バックアップしたいファイルを選択した後、「リストア」ボタンを押してください。
- ・ バックアップ設定を行うには、オプションを選択し、「バックアップ」ボタンを押してください。
- ・ 設定情報を工場出荷値に戻すには、オプションボタンを選択して「リセット」ボタンを押してください。

ユーザ・グループ設定
 ディスク設定
 共有フォルダ設定
 ハードウェア設定
 システム設定
 ネットワーク設定
 すべての設定



注: 「ディスク設定」がリセットされると、HDD は RAID 0(ストライピング)で再構築されます。また、バックアップ時に「ディスク設定」を含むと、リストア時に強制的にディスクボリュームが再構築されます。

3.9.11 CD/DVD バックアップ/リストア

USB 接続の CD/DVD ドライブを使用して、ディスクボリューム上のデータをバックアップ/リストアします。

<動作対応確認済み機種>

Princeton	PDV-PB16DU
Plextor	PX-750UF
IODATA	DVR-UM16G

- USB CD/DVD バックアップ/リストアを使用します

デバイス: [ATAPI][DVD DD 2X16X4X16][]

メディア タイプ: CD-R

最大書き込みスピード: 40.0x

状態: 準備

再検出 ディスクを取り出す

データを書き込む

ボリューム レーベル: backup

ソースパス(ネットワーク共有 / ディレクトリ): public /test

書き込みスピード: 40x

メディアへデータを書き込む 書き込み中止 ディスクのデータを消去する。

状態: アイドリング... 更新する。

メディアのデータをNASへコピーする。

メディア レーベル:

保存先パス(ネットワーク共有/ディレクトリ): public /

存在ファイルを上書きする

存在ファイルをスキップする

コピー開始 コピー停止

状態: アイドリング... 更新する。

- CD/DVD ドライブ情報

- デバイス

接続している CD/DVD ドライブの情報を表示します。

- メディアタイプ

CD/DVD ドライブに挿入しているメディアの情報を表示します。

- 最大書き込みスピード

CD/DVD ドライブとメディアが対応している最大書き込み速度を表示します。

- 状態

CD/DVD ドライブの状態を表示します。

- **再検出**
CD/DVD ドライブおよびメディアの情報を再度読み込みます。

- **ディスクを取り出す**
メディアを CD/DVD ドライブから排出します。

- **データを書き込む**
 - **ボリュームレーベル**
メディアのボリュームレーベルを入力します。32 文字以上を入力することはできません。
 - **ソースパス(ネットワーク共有/ディレクトリ)**
バックアップするデータのパスを指定します。
 - **書き込みスピード**
書き込み速度を選択できます。未選択の場合、ドライブとメディアが対応している最高速度で書き込みを行います。
 - **メディアヘータを書き込む**
書き込み可能な CD/DVD メディアへの書き込みを開始します。
書き込むデータ容量は、メディア 1 枚に収まるサイズにしてください。複数枚への分割書き込みには対応していません。
 - **書き込み中止**
メディアへのデータ書き込みを中止します。
 - **メディアのデータを消去する**
リライタブル CD/DVD メディアの消去を開始します。
 - **状態**
書き込み作業の進捗を表示します。[更新]ボタンで表示情報を更新します。



注: - フォルダ/ファイル単位のバックアップになります。
- バックアップ済みメディアへの追記はできません。
- 1 ファイル 4GB 以上のサイズのファイルは、バックアップできません。
- 複数メディアへの分割バックアップはできません。
- 2 層メディアは非対応です。

- **メディアのデータを NAS へコピーする**
 - **メディアレーベル**
ボリュームレーベルを表示します。
 - **保存先パス(ネットワーク共有/ディレクトリ)**
コピー先のパスを指定します。
 - **存在ファイルを上書きする**
コピー先に同名ファイルが存在する場合、データを上書きします。

- **存在ファイルスキップする**
コピー先に同名ファイルが存在する場合、そのデータをコピーしません。
- **コピー開始**
メディアのデータを NAS へコピーします。
- **コピー停止**
メディアのデータを NAS へコピーする作業を中止します。
- **状態**
コピー作業の進捗を表示します。[更新]ボタンで表示情報を更新します。

3.10 統計 & ログ

本製品にオンライン中のユーザのイベントログを、システム監視のために表示できます。

- ユーザ情報

このページでは、現在システムにログオンしているすべてのユーザを表示します。

- イベントログ

本製品は、警告、エラー、情報メッセージを含む最近のイベントログを保存できます。システムに異常が発生した場合、イベントログを読み出してシステム問題の分析に役立てることができます。

- DHCP ログ

DHCP サーバ機能が有効になっている場合は、DHCP ログをすべての指定された動的なアドレス、クライアント MAC アドレス、その他の情報の監視に使えます。

タイプ	内容	日付	時間
情報	/dev/hde1: 28/51328 files (0.0% non-contiguous), 1637/51274 blocks. [e2fsck]	01/18/2006	13:15:59
情報	/dev/hde1 check forced. [e2fsck]	01/18/2006	13:15:59
情報	/dev/hdg1: 23/51328 files (0.0% non-contiguous), 1630/51274 blocks. [e2fsck]	01/18/2006	13:15:57
情報	/dev/hdg1 check forced. [e2fsck]	01/18/2006	13:15:57
情報	System started.	01/18/2006	13:15:55
情報	One of the network connections is not detected.	01/18/2006	13:15:54
情報	System was shut down on Wed Jan 18 13:14:11 GMT 2006.	01/18/2006	13:14:11

第 4 章 PNS40TS へのアクセス

本製品の初期設定を完了し、ユーザを登録を行い、アクセス権を設定したら、クライアント PC から PNS40TS に作成した共有フォルダを利用できるようになります。ここでは OS ごとに、クライアント PC の設定と本製品の利用方法を説明します。

4.1 Microsoft Windows NT 4.0/2000/XP から使う場合

4.1.1 クライアント PC の設定

次の仕様のクライアント PC をサポートしています。

Windows NT4.0/2000/XP	
ネットワークアダプタ	Ethernet(TCP/IP)対応のネットワークアダプタ
プロトコル	OS に標準搭載の TCP/IP

クライアント PC のネットワーク設定をご確認ください。

本製品を利用する PC と本製品が同一のネットワーク環境で接続されており、かつ IP アドレスが異ならなければなりません。同じ DHCP サーバから IP アドレスを配布されている場合は、問題ありません。なお、192.168.0.0 や 172.16.0.255 は特別な用途があり使用できませんのでご注意ください。

本製品をファイルサーバとして使用するクライアント PC では、次のプロトコルが必要です。

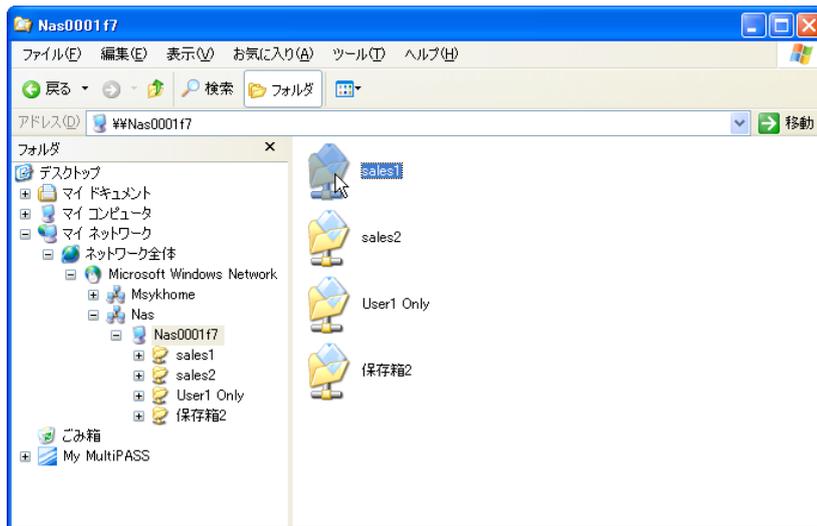
Windows NT4.0/2000/XP	TCP/IP にバインドした Microsoft ネットワーククライアント
-----------------------	---------------------------------------

プロトコルが使用できるほか、[優先的にログオンするネットワーク]で、Microsoft ネットワーククライアントを選択しておきます。

Windows NT 系 (Windows NT4.0/2000/XP) の場合は、ユーザ名とコンピュータ名を同一にする必要はありません。Windows ログイン時のユーザ名とパスワードを、PNS40TS に登録した情報と同一にしておくと、PNS40TS を参照した際に、アクセス権のあるフォルダがパスワードを聞かれることなく参照できます。

4.1.2 Windows XP からの接続

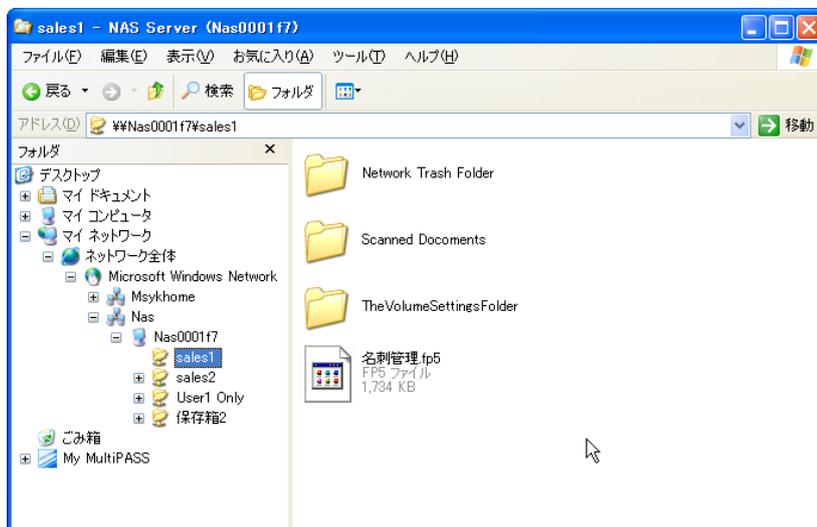
PNS40TS が適切に機能していれば、マイネットワークの中に、PNS40TS の共有フォルダが表示されます。ここでは例として、ワークグループ”NAS”に所属するマシン名”Nas0001f7”内の共有フォルダ”sales1”にアクセスします。



1. エクスプローラを開きます。エクスプローラは、[Windows キー]+ [E]で呼び出せます。
または、スタートメニューから「マイコンピュータ」を開き、左側にある「マイネットワーク」のリンクを開きます。
2. ツールバーの「フォルダ」ボタンをクリックして、左側にフォルダー一覧を表示します。
または、「表示」メニューの「エクスプローラーバー」から「フォルダ」の項目を選択します。
3. マイネットワーク ネットワーク全体 Microsoft Windows Network とたどると、ワークグループ”NAS”が表示されます。
4. ここでは、”NAS”というワークグループに PNS40TS を設定しているため、そのワークグループをさらにたどると、PNS40TS のマシン名”NAS0001f7”が表示されます。
その下位に表示される項目が、PNS40TS で公開されている共有フォルダの一覧です。
5. アクセスしたい PNS40TS の共有フォルダを開こうとすると、PNS40TS に設定したアカウントとパスワードの入力を要求されます。



6. PNS40TS で設定したこの共有フォルダに対してアクセス権のあるユーザ名とパスワードを入力します。
「パスワードを記憶する」にチェックをつけると、次回のログイン時にも、同じダイアログボックスが表示されますが、ユーザ名とパスワードは以前にログインしたときのものが自動的に設定されます。
7. Sales1 という共有フォルダに接続できました。図は、sales1 のフォルダ内容の表示です。



8. Sales1 のアイコンをデスクトップにドラッグ & ドロップすると、ショートカットを作成できます。

• Windows XP: マイネットワークの活用のヒント

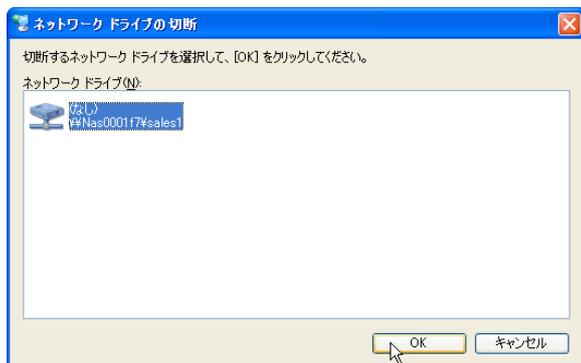
過去にアクセスした共有フォルダのショートカットに相当するものが、「マイネットワーク」直下の階層に作成されます。従って、「マイネットワーク」を開けば、過去にアクセスした共有フォルダのアイコンができていますので、その場ですぐにログインができます。

「マイネットワーク」をよく使用するのであれば、スタートメニューに「マイネットワーク」の項目を作っておくと便利です。

1. コントロールパネルを呼び出し、「デスクトップの表示とテーマ」を選択します。
2. 「タスクバーと[スタート]メニュー」を選択します。
3. ウィンドウが表示されたら、「[スタート]メニュー」のタブを選択
4. 「カスタマイズ」ボタンをクリックします。
5. 「詳細設定」のタブを選択
6. 「[スタート]メニュー項目」のリスト内の「マイネットワーク」にチェックを入れます。

なお、「マイネットワーク」を開いても何も表示されない場合には、「ワークグループのコンピュータを表示する」のネットワークタスクを実行してみてください。ウィンドウにリンクテキストが表示されます。

- Windows XP:サーバからのログオフ



接続しているサーバからログオフしたい場合には、エクスプローラの「ツール」メニューから「ネットワークドライブの切断」を選択してください。

現在ログインしているサーバ一覧が表示されるので、ドライブ名を選択して OK ボタンをクリックすると、ログオフできます。

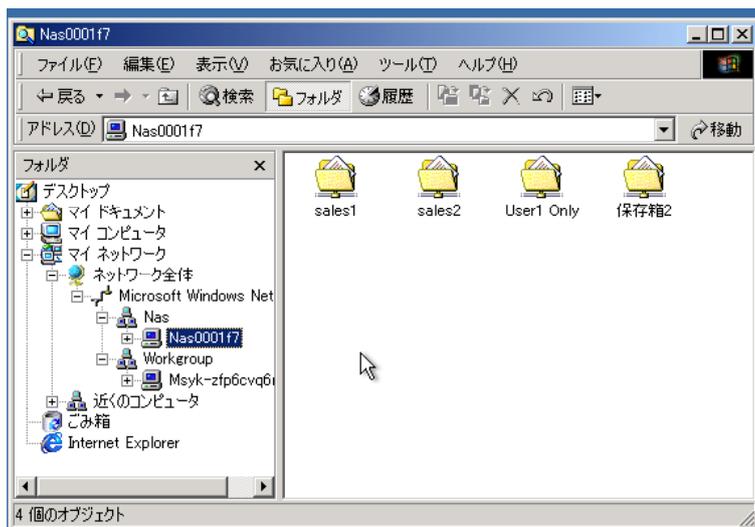


注: 機種依存文字や禁止文字を使用した場合は、データが破損し、正常に保存できない場合があります。
ファイル保存の制約として、フルパスは 256byte までとなります。

4.1.3 Windows 2000 からの接続

基本的には、Windows XP と同様です。

エクスプローラで、フォルダ表示をし、「マイネットワーク」から、「ネットワーク全体」「Microsoft Windows Network」とたどることで、ワークグループの一覧を表示します。ワークグループの中にある PNS40TS の名前を選択すると、公開されている共有フォルダが表示されます。

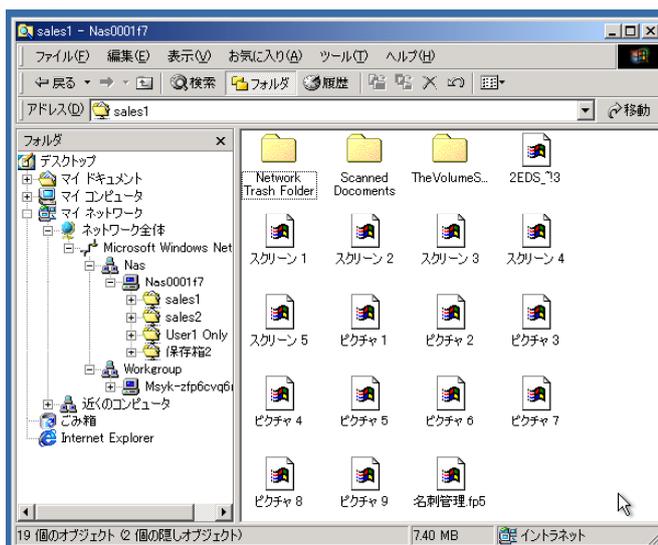


共有フォルダを開くと、ユーザ名とパスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。PNS40TS で設定したこの共有フォルダに対してアクセス権のあるユーザ名とパスワードを入力します。



ログインすると、フォルダの内容が表示されます。

また、ログインすると「マイネットワーク」に項目が追加されること、さらには共有ボリュームのショートカットをデスクトップに作成できることなど、Windows XP と共通ですので、「4.1.2 WindowsXP からの接続」を参照してください。



サーバからのログオフも Windows XP と同様で、エクスプローラの「ツール」メニューから「ネットワークドライブの切断」を選択してください。

現在ログインしているサーバが一覧されるので、ドライブ名を選択して OK ボタンをクリックすると、ログオフできます。



注: 機種依存文字や禁止文字を使用した場合は、データが破損し、正常に保存できない場合があります。
ファイル保存の制約として、フルパスは 256byte までとなります。

4.1.4 Windows でサーバがブラウズできない場合

Windows でブラウズ、つまり公開されているサーバの一覧が表示されない場合には、直接、アドレスにサーバ名を入力します。

エクスプローラに「アドレス」欄が表示されていない場合には、「表示」メニューの「ツールバー」から「アドレスバー」を選択します。

アドレスに「\\サーバ名\公開ボリューム名」を入力して、Enter キーを押します。

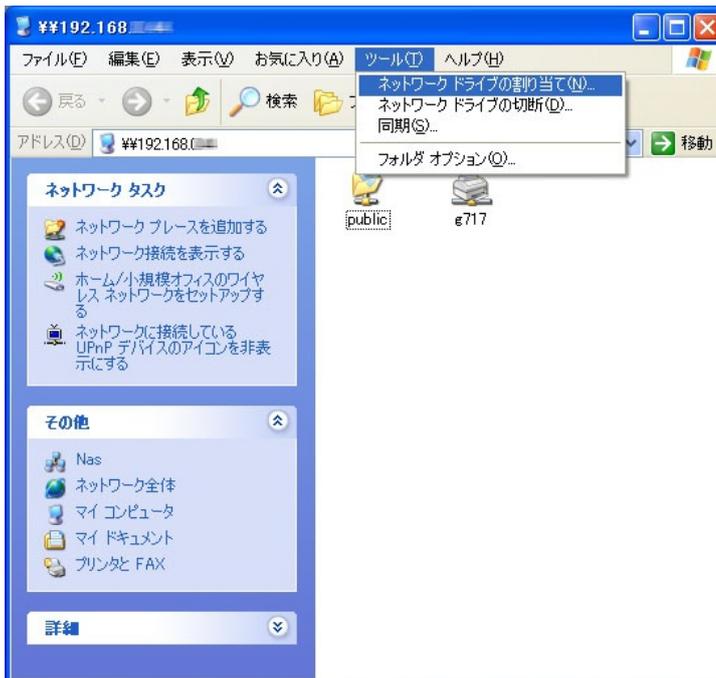
「サーバ名」は、例えば「NAS0001F7」などですが、ここでの名前は、PNS40TS の前面のパネルに表示されている名称でかまいません。また、サーバ名の代わりに、IP アドレスも入力できます。(Windows XP/2000 の場合)。公開ボリューム名は省略することができます。

なお、ネットワーク上でのへだたりがある先の PNS40TS の場合は、必ずこうした方法での接続が必要です。そのとき、サーバ名は、ドメイン名や IP アドレスを直接入力します。

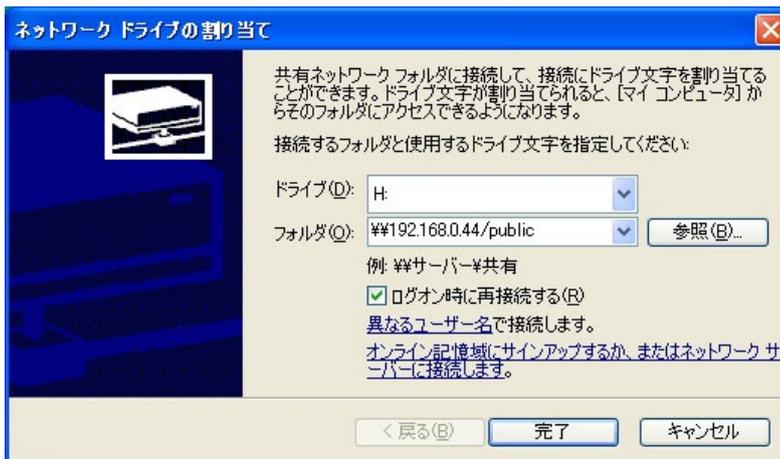
4.1.5 サーバ接続をドライブに割り当てる

本製品に接続すると、すべての有効なネットワーク共有の一覧が表示されます。

適切なネットワーク共有フォルダを選択し、右クリック [ネットワークドライブの割り当て] を選択します。または、[ツール]-[ネットワークドライブの割り当て] を選択します。



次回起動した時に、共有フォルダを使用できるようにする場合は、[ログオン時に再接続する] にチェックを入れ、[完了] をクリックして、このフォルダをネットワークドライブとして位置づけます。



4.2 Microsoft Windows 98SE/Me から使う場合

4.2.1 クライアント PC の設定

次の仕様のクライアント PC をサポートしています。

Winsows98SE/Me	
ネットワークアダプタ	Ethernet (TCP/IP) 対応のネットワークアダプタ
プロトコル	OS に標準搭載の TCP/IP

クライアント PC のネットワーク設定をご確認ください。

本製品を利用する PC と本製品が同一のネットワーク環境で接続されており、かつ IP アドレスが異ならなければなりません。同じ DHCP サーバから IP アドレスを配布されている場合は、問題ありません。なお、192.168.0.0 や 172.16.0.255 は特別な用途があり使用できませんので、ご注意ください。

本製品をファイルサーバとして使用するクライアント PC では、次のプロトコルが必要です。

Windows 98SE/Me	TCP/IP の Microsoft ネットワーククライアント
-----------------	---------------------------------

プロトコルが使用できるほか、[優先的にログオンするネットワーク]で、Microsoft ネットワーククライアントを選択しておきます。

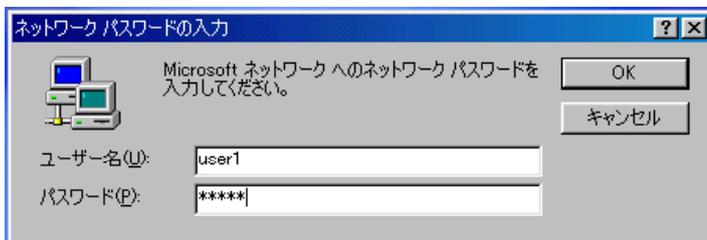
Windows 9x 系 (Windows 98SE/Me) の場合、ユーザ名とコンピュータ名を同一にする必要があります。Windows 起動時に表示される「ネットワークパスワードの入力」画面で、ユーザ名とパスワードを、PNS40TS に登録した情報と同一にしておくと、PNS40TS を参照した際に、アクセス権のあるフォルダがパスワードを聞かれることなく参照できます。

コンピュータ名は「ネットワークコンピュータ」アイコン上で右クリック プロパティ 識別情報で確認できます。

現在、ネットワークパスワードを使用していない場合は、「ネットワークコンピュータ」アイコン上で右クリック プロパティ ネットワークの設定 優先的にログオンするネットワーク Microsoft ネットワーククライアントに変更します。また、ユーザとパスワードはスタート 設定 コントロールパネルの中の「ユーザ」及び「パスワード」の項目で、それぞれ変更可能です。

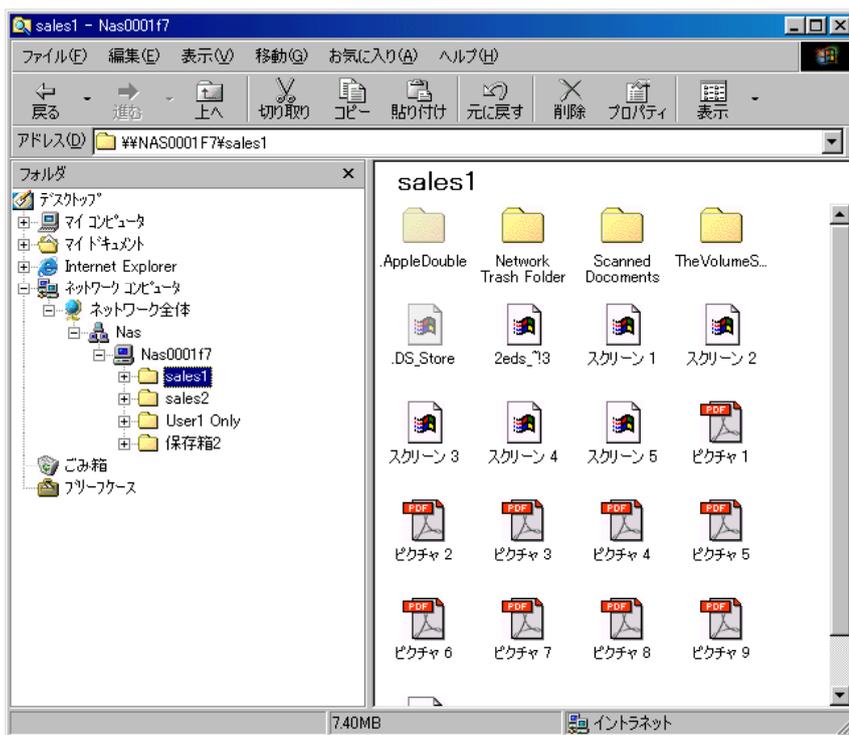
4.2.2 Windows 98SE/Me からの接続

まず、Windows ログイン時に、PNS40TS に登録したユーザ名、パスワードでログインします。間違えても、ここではエラーになりません。これは、後でサーバにログインする時に、ここで入力したユーザ名とパスワードを使って接続を試みるという意味合いの問い合わせダイアログボックスです。



エクスプローラで、フォルダ表示をし、「ネットワークコンピュータ」から PNS40TS へたどります。

Windows 98SE/Me の場合、Windows 2000/XP よりもブラウズできない確率が高いと言えます。その場合は、「[4.1.4 Windows でサーバがブラウズできない場合](#)」を参照してください。



なお、異なるユーザ名でログインしたい場合は、Windows からログオフして、ログイン時に新たなアカウントでログインする必要があります。ログオフするには、スタートメニューから [xxxxx(ユーザ名)のログオフ] を選択します。



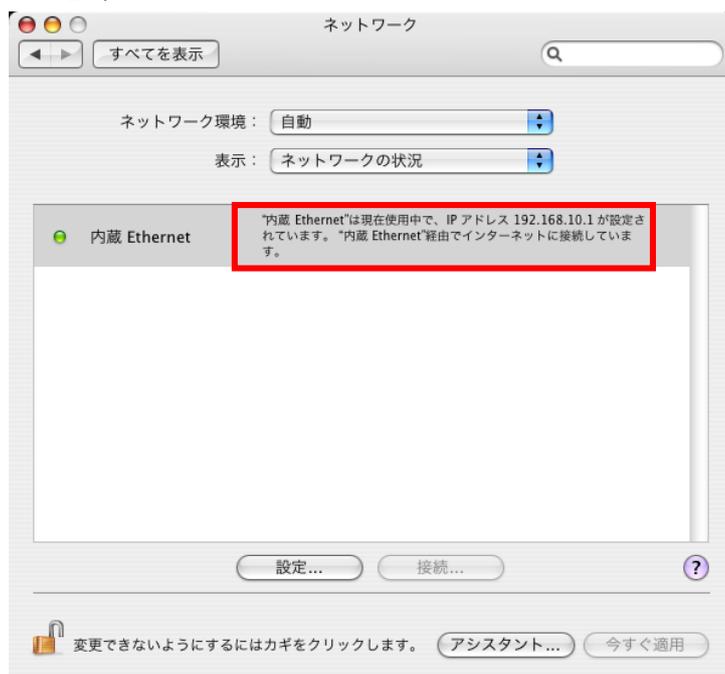
注: 機種依存文字や禁止文字を使用した場合は、データが破損し、正常に保存できない場合があります。
ファイル保存の制約として、フルパスは 256byte までとなります。

4.3 Apple MAC OS X から使う場合

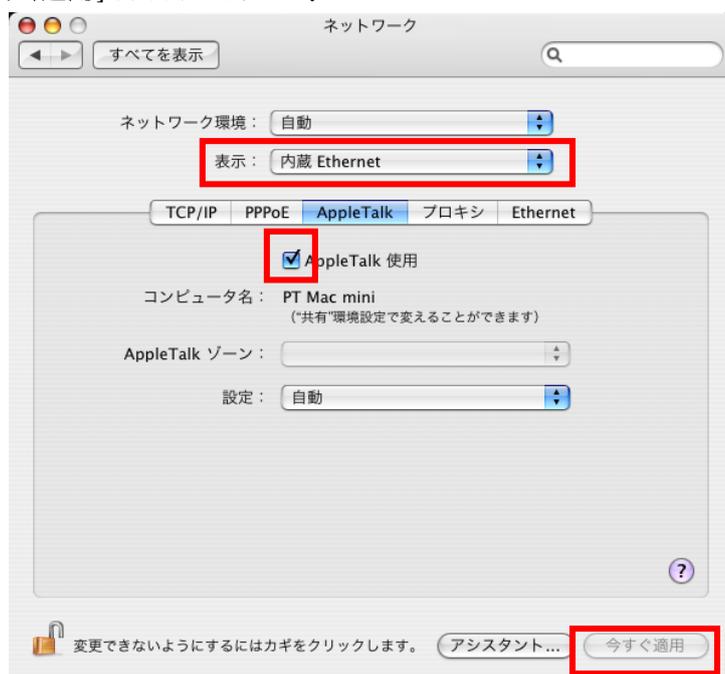
Apple MacOS X からは、次の方法で本製品にアクセスします。

4.3.1 Apple Talk で接続する方法

1. [システム環境設定]よりを選択し、[ネットワーク]を実行します。現在ネットワークに接続している事を確認してください。



2. 「表示」プルダウンメニューから、[内蔵 Ethernet]を選択し、[Apple Talk]のチェックを有効にし、[今すぐ適用]をクリックしてください。

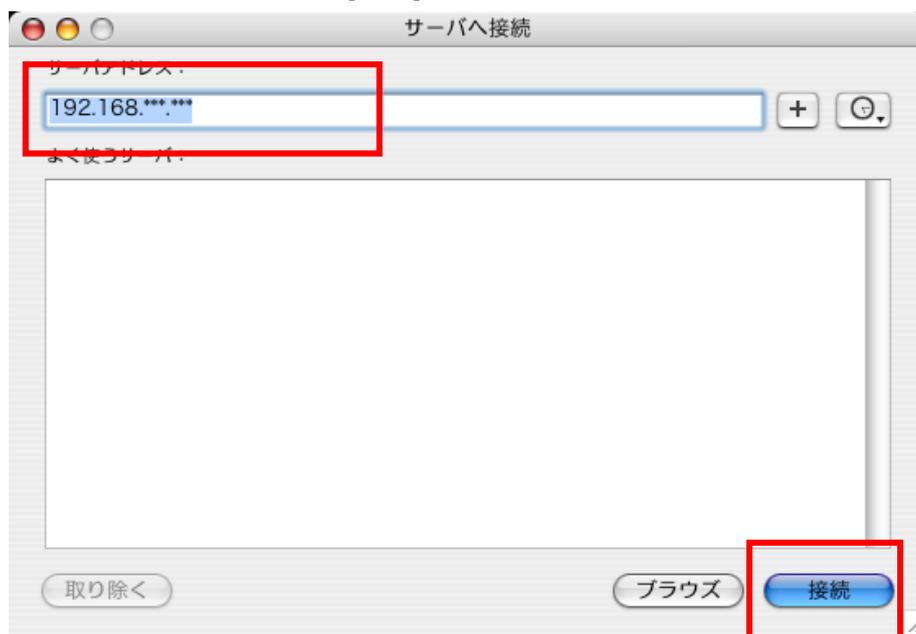


3. [移動]メニューより、[サーバへ接続]をクリックしてください。



4. [サーバへ接続]メニューが表示されます。

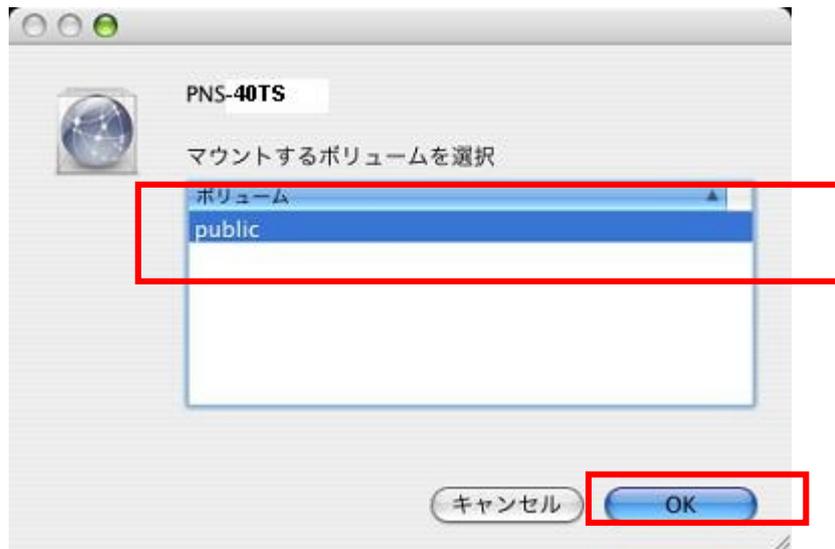
PNS40TS の IP アドレスを入力し、[接続]をクリックしてください。



5. 接続先の PNS40TS が見つかりとログインメニューが表示されます。
[名前]と[パスワード]を入力し、[接続]をクリックしてください。



6. PNS40TS へ正常につながると、現在利用可能なボリューム(共有フォルダ)が表示されます。ご利用になるボリューム(共有フォルダ)を選択して[OK]をクリックしてください。



7. 選択したボリューム内が表示されます。

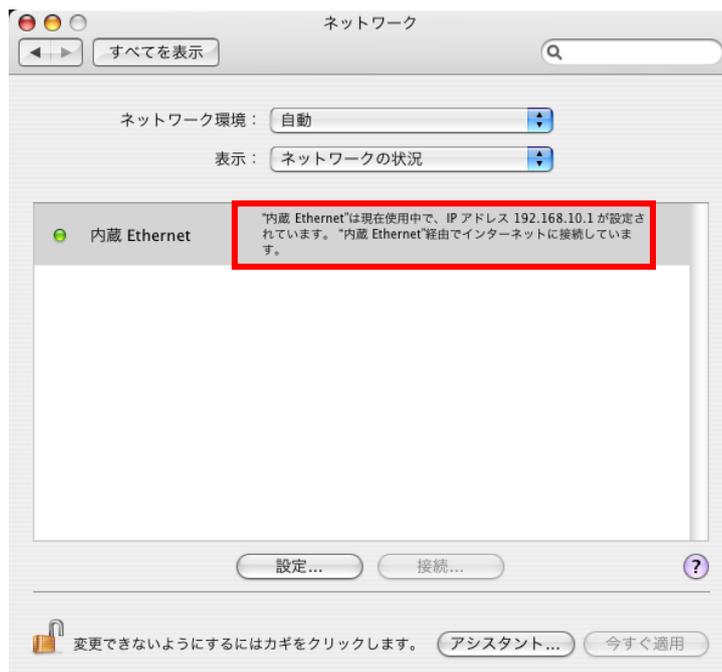


8. 接続が完了すると、デスクトップ上に接続されたボリュームがアイコンとなって現れます。このアイコンから、ボリュームを開くことができます。

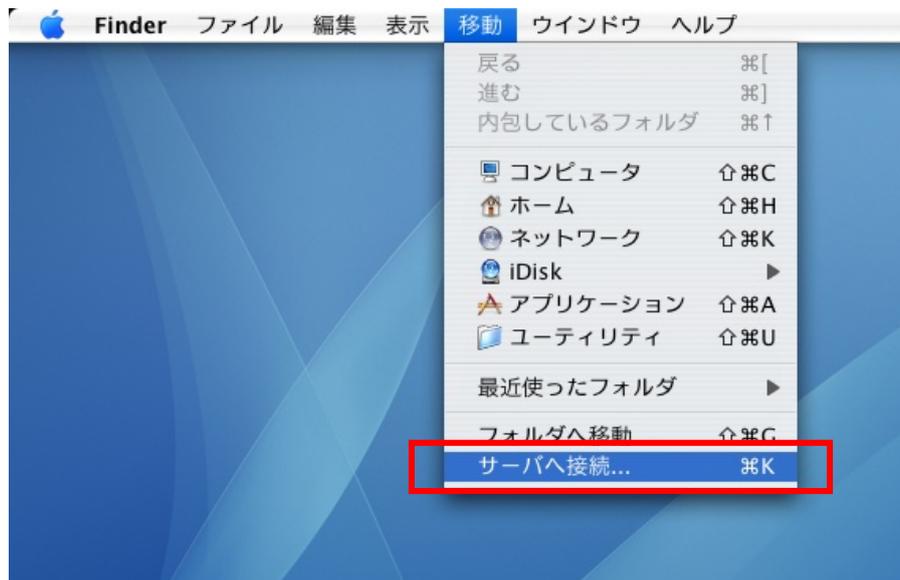


4.3.2 SMB で接続する方法

1. [システム環境設定]よりを選択し、[ネットワーク]を実行します。現在ネットワークに接続している事を確認してください。



2. [移動]メニューより、[サーバへ接続]をクリックしてください。



3. [サーバへ接続]メニューが表示されます。

「smb://」に続き PNS40TS のアドレスを入力し、[接続]をクリックしてください。



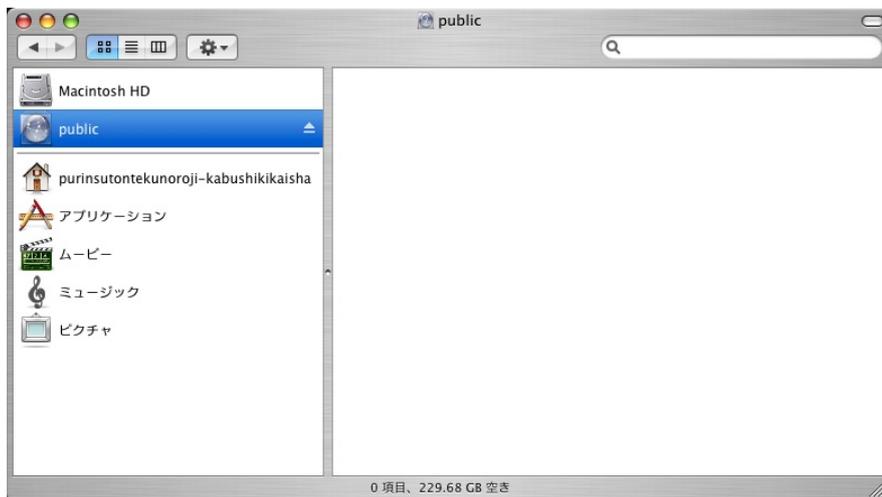
4. PNS40TS へ正常に繋がると、現在利用可能な共有ボリューム(共有フォルダ)が表示されます。ご利用になる共有ボリューム(共有フォルダ)を選択して[OK]をクリックしてください



5. ファイルシステムの認証を受ける為に、ワークグループまたはドメイン、名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。



6. 選択したボリューム内が表示されます。



7. 接続が完了すると、デスクトップ上に接続されたボリュームがアイコンとなって現れます。このアイコンから、ボリュームを開くことができます。



MacOS X でボリュームをアンマウントする方法

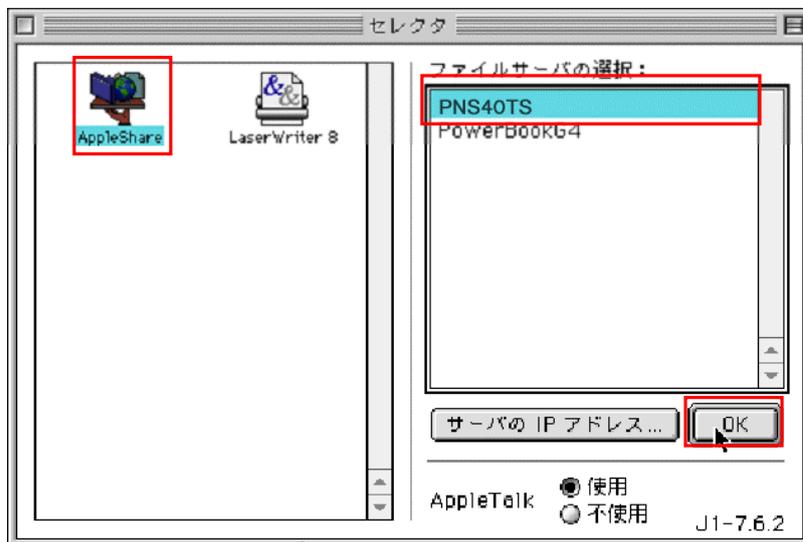
マウントの解除(アンマウント)を行う場合は、デスクトップのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。ゴミ箱に入れても、PNS40TS に保存したデータは消失されません。

4.4 Apple Mac OS 9 から使う場合

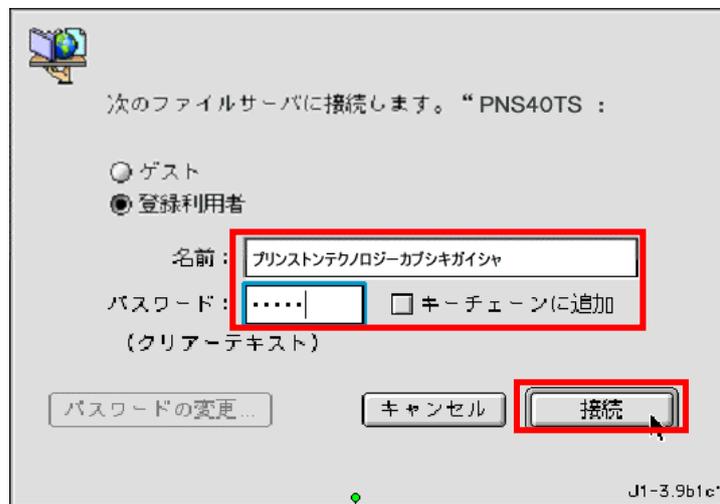
Apple MacOS 9 からは、次の方法で本製品にアクセスします。

4.4.1 セレクタを使用して接続する方法

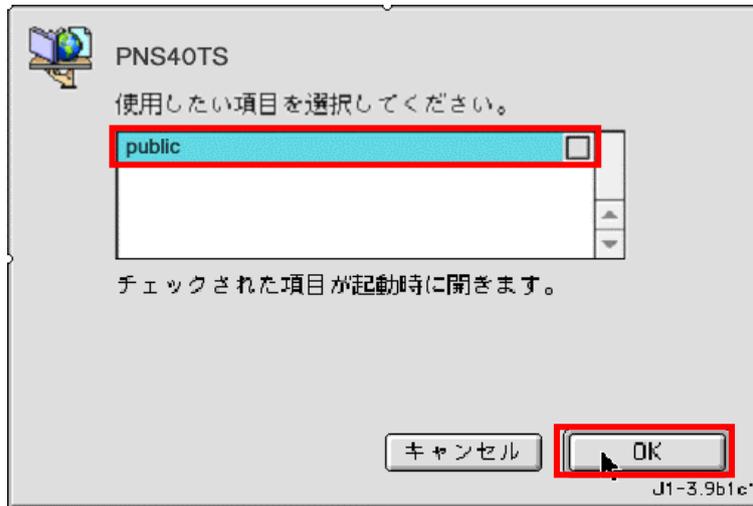
1. 左上のアップルメニューよりセレクタを選びます。
2. 「セレクタ」を選択した場合はセレクタのウィンドウが表示されますので左側の AppleShare のアイコンを選択します。選択すると右側に接続可能なサーバ名が表示されますので PNS40TS のサーバ名を選択し、OK ボタンをクリックします。(下図の例では、サーバ名を「PNS40TS」に設定しております)



3. 接続先の PNS40TS が見つかったとログインメニューが表示されます。
[名前]と[パスワード]を入力し、[接続]をクリックしてください。



4. PNS40TS へ正常に繋がると、現在利用可能な共有フォルダが表示されます。ご利用になる共有フォルダを選択して[OK]をクリックしてください。Shift キーや Command キーを押しながら選択して、複数の項目を選択し、同時にマウントしてもかまいません。



5. 接続が完了すると、デスクトップ上に接続されたボリューム(共有フォルダ)がアイコンとなって現れます。このアイコンから、ボリュームを開くことができます。

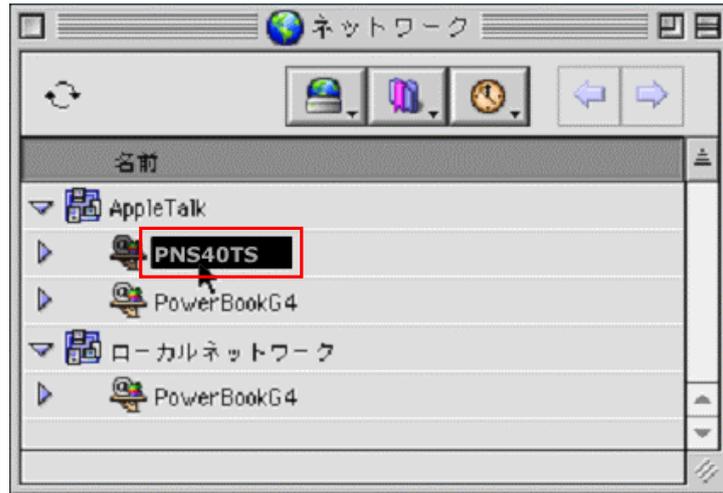


MacOS 9 でボリュームをアンマウントする方法

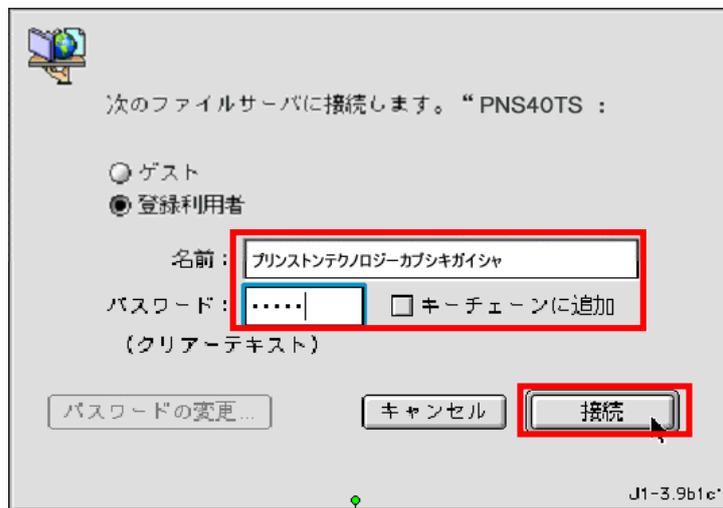
マウントの解除(アンマウント)を行う場合は、デスクトップのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。ゴミ箱に入れても、PNS40TS に保存したデータは消失されません。

4.4.2 ネットワークブラウザを使用して接続する方法

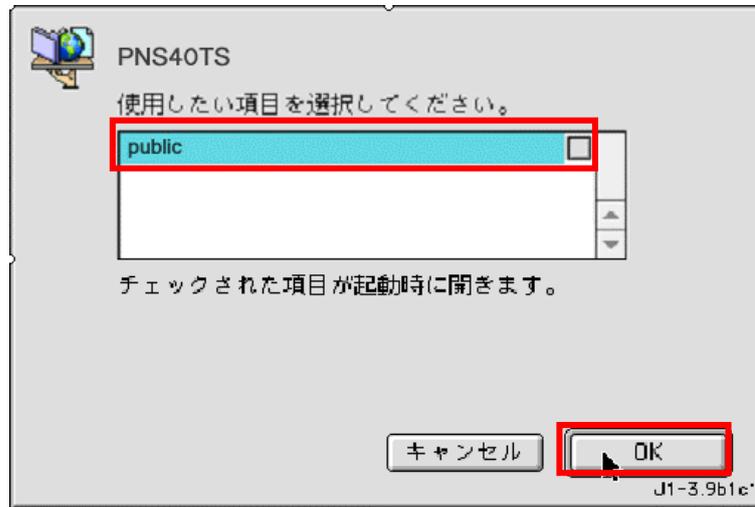
1. 左上のアップルメニューよりネットワークブラウザを選びます。
2. 「ネットワークブラウザ」を選択した場合はネットワークブラウザのウインドが表示されますのでリストの中にあります AppleTalk のカテゴリより PNS40TS のサーバ名を選択して頂き、OK ボタンをクリックしていただきます。(下図の例では、サーバ名を「PNS40TS」に設定しております)



3. 接続先の PNS40TS が見つかりログインメニューが表示されます。
[名前]と[パスワード]を入力し、[接続]をクリックしてください。



4. PNS40TS への接続が正常に確立されると、現在利用可能な共有フォルダが表示されます。ご利用になる共有フォルダを選択して[OK]をクリックしてください。Shift キーや Command キーを押しながら選択して、複数の項目を選択し、同時にマウントしてもかまいません。



5. 接続が完了すると、デスクトップ上に接続されたボリューム(共有フォルダ)がアイコンとなって現れます。このアイコンから、ボリュームを開くことができます。



MacOS 9 でボリュームをアンマウントする方法

マウントの解除(アンマウント)を行う場合は、デスクトップのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。ゴミ箱に入れても、PNS40TS に保存したデータは消失されません。



- 注:**
- シャーロック機能はご利用いただけません。
 - MacOS9 を使用している場合、2GB 以上のデータ保存、読み取りを行うことはできません。
 - Windows との混在環境では、SMB による接続を推奨いたします。
 - 機種依存文字や禁止文字を使用した場合、データが破損し、正常に保存できないことがあります。
 - Mac OS の仕様により、扱えるフォルダ名、ファイル名の文字数に制限があります。なお、ファイルの種類により、上記文字未満になる場合があります。
 - Mac OS X: 255 バイト
 - Mac OS 9: 31 バイト

4.5 Linux OS を使う場合

本製品は、Microsoft と MAC OS のほかに、Linux ベースのシステムを、NFS サービスを通してサポートしています。



注: この機能を使う場合、NFS の設定をしてください。

Linux で、次のコマンドを実行します。

```
mount -t nfs <本製品の IP address> :/<ネットワーク共有名> <マウントディレクトリ>
```

たとえば、本製品の IP アドレスが 192.168.0.1 で、ネットワーク共有フォルダ「public」を/mnt/pub ディレクトリの下にリンクする場合は、次のコマンドを使います。

```
mount -t nfs 192.168.0.1:/public /mnt/pub
```



注: 上記のコマンドを実行するには、「root」ユーザとしてログオンする必要があります。

4.6 Web ブラウザを使う場合

本製品では、OS のサポート以外に、標準的な Web ブラウザを使って自分のデータにアクセスできる便利な Web ファイル管理インターフェースも利用できます。本製品をインターネットに接続して、パブリック IP アドレスを使用すると、どこからでもサーバのファイルにアクセスできます。詳細は、[付録 B](#) を参照してください。

4.7 ファイル転送プロトコル(FTP)を使う場合

本製品は複数の OS で使用できるだけでなく、FTP を使った接続もサポートしています。正しいユーザ名とパスワードを入力してサーバに接続するか、ゲストとしてパブリック共有フォルダにアクセスします。

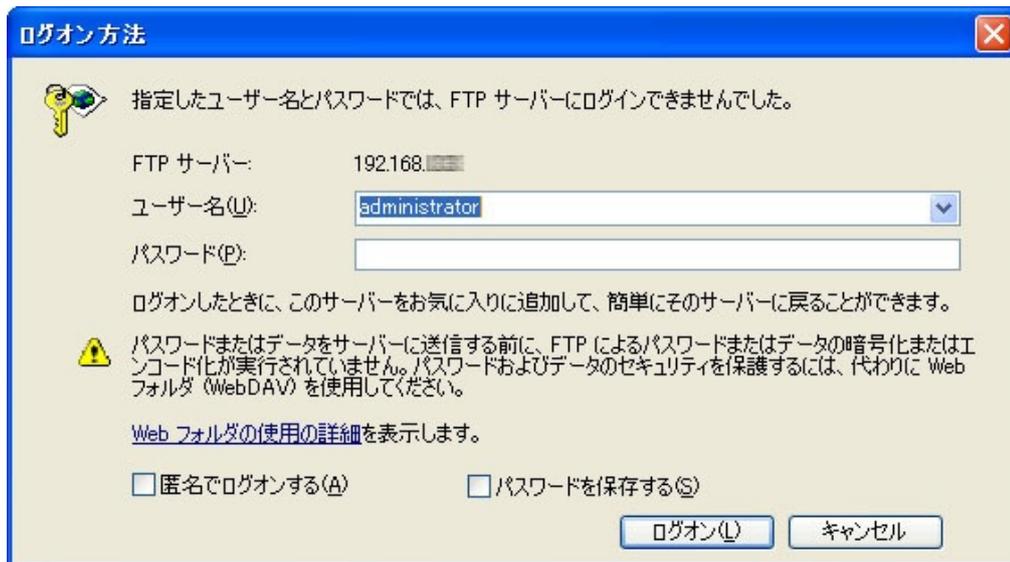
1. 本製品のホームページから、[Web ファイル管理]を選択します。



2. FTP をクリックします。



3. ユーザ名とパスワードを入力します。



4. 共有フォルダが表示されます。ファイルのドラッグアンドドロップでフォルダを管理できます。また、ファイル名の変更やファイルの削除もできます。



! 注: 通常の FTP ソフトウェアを使用して、本製品に接続できます。
 ゲストユーザに公開されているネットワーク共有フォルダ public にアクセスする場合は、ユーザ名として anonymous を入力できます。

4.8 ネットワークプリンタの設定方法

ネットワークを通して、PNS40TS に接続したプリンタをご利用になれます。

双方向での通信はサポートしておりませんので、プリンタステータス等の双方向通信が必要となる機能はご利用になれません。

<動作対応確認済みプリンタ>

RICOH	G515/G717/G7570 /GX3000 (USB 接続)
CANON	PIXUS iP4200 (USB 接続)

<対応 OS>

Windows2000 Professional / WindowsXP Home, Professional

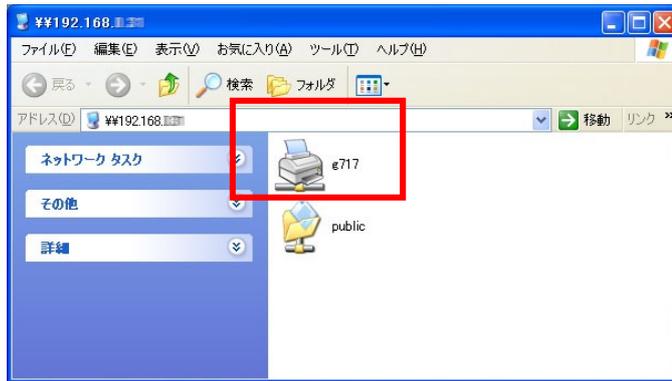
RICOH G717 を例に、設定方法を説明します。

1. プリンタ添付のドライバソフトをクライアント PC へインストールしてください。
ドライバソフトのインストール方法については、プリンタの添付マニュアルをご参照ください。
まず、直接クライアント PC へプリンタを USB 接続し、正常にプリンタがご利用できることをご確認ください。
2. プリンタの電源を入れ、PNS40TS の背面 USB ポートへプリンタの USB ケーブルを接続してください。
3. [サーバ管理] から、[ネットワーク設定]-[プリントサーバ] を表示します。
4. [ネットワークプリンタサーバを有効にする] にチェックを入れ、任意のネットワークプリンタ名を入力します。
ネットワークプリンタ名: クライアント PC には、ここで入力したネットワークプリンタ名が表示されます。半角英数 14 バイトまで入力可能です。
5. [適用] ボタンをクリックします。

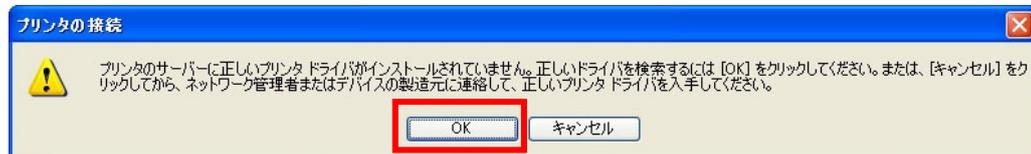


6. クライアント PC のスタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)] を選択し、PNS40TS の IP アドレスを入力します。

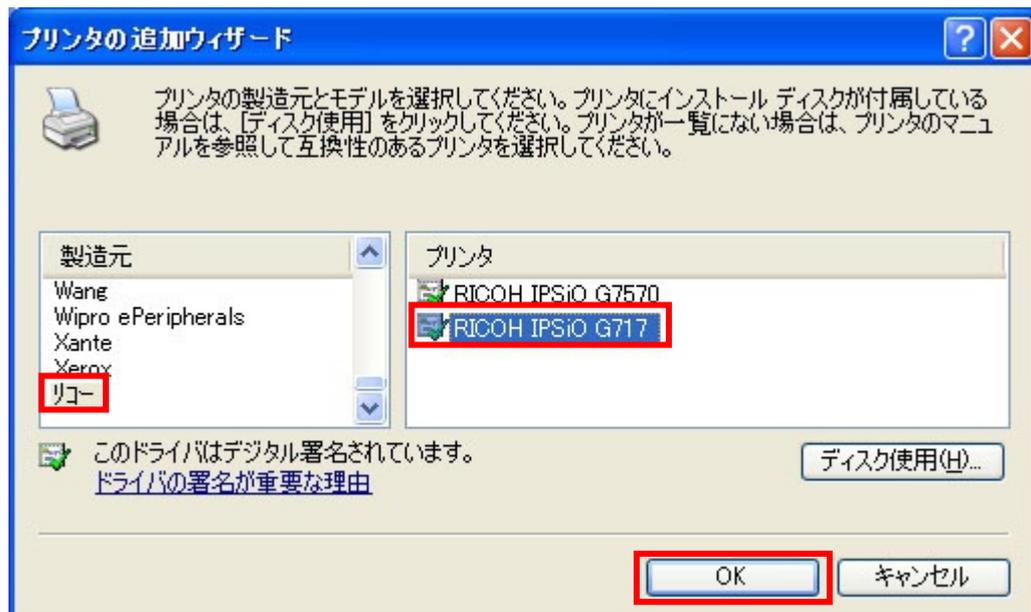
7. ネットワークプリンタのアイコンが表示されるので、右クリック [接続] を選択します。



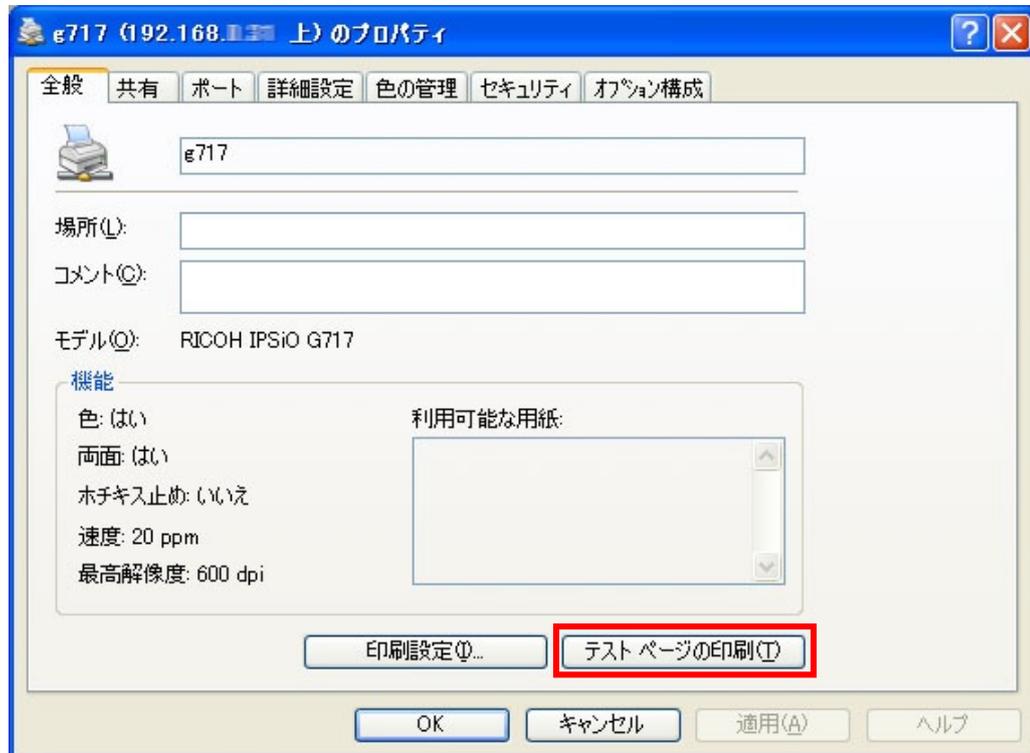
8. プリントドライバを要求されます。 [OK] をクリックしてください。



9. プリンタの追加ウィザードが表示されます。接続したプリンタを選択し、 [OK] をクリックしてください。



10. ドライバのインストールが完了すると、クライアント PC の[プリンタと FAX]に G717 が追加されます。
G717 のプロパティを開いて[テストページの印刷(T)]を実行してください。



11. テストページが正しく印刷されたら、プリンタの設定は完了です。
印刷が正しくできなかった場合は、ドライバインストールから再度設定をします。

ご注意:

- プリントサーバ機能は、RAID1 または RAID5 構成時のみ、利用可能です。
RAIDO、JBOD でのご利用は、サポート対象外となります。
バッファされるスプール領域は、HDD1 を使用します。その為、HDD1 が故障した場合はプリンタサーバ機能を利用できません。
- プリンタの接続は 1 台のみ設定可能です。
プリント対象となるファイルサイズが 200MB のスプール領域を超えた場合、サポート対象外となります。
- クライアント PC によるプリンタへの推奨接続は 5 台までです。
プリントトラフィックが集中したり、画像データのようにデータサイズが大きい場合、NAS へのアクセスが不安定になる場合があります。
- 通信方法
LAN Manager のみ使用。LPR ソフトでのプリンタサーバ機能はご利用いただけません。
- ポートの設定
ポート設定におけるプロトコルは LPR のみ設定が可能。Raw 設定はサポート対象外となります。

第 5 章 PNS40TS の保守

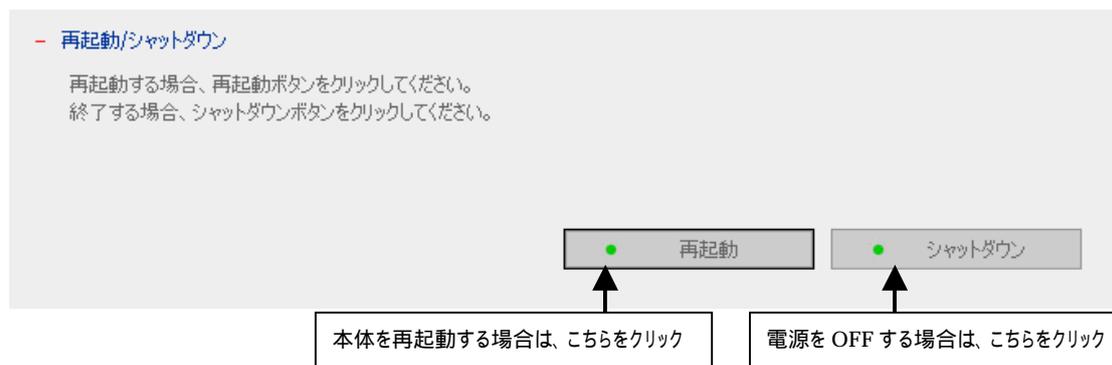
本製品は、サーバとして長時間稼働しています。ここでは、システム保守の概要を説明します。

5.1 サーバの再起動 / シャットダウン

次の手順に従って、本製品の再起動またはシャットダウンを行います。

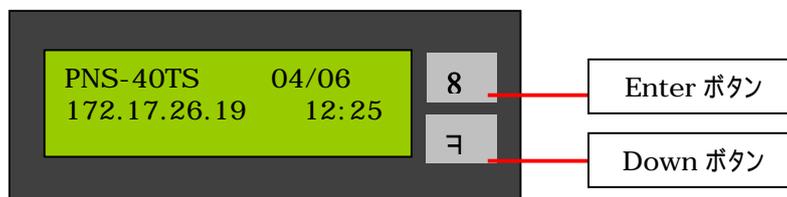
<管理画面から操作する場合>

1. PNS40TS に接続している全てのクライアント PC ユーザに、作業中のファイルを保存して、本製品との接続を切るように要請します。
2. [システムツール]-[再起動 / シャットダウン]ページを表示し、[再起動]または[シャットダウン]を選択します。



<フロントパネルから操作する場合>

1. Enter ボタンを 2 秒以上押します。
2. Down ボタンを、1 回押して[Power Down]、または、2 回押して[Reboot System]を表示します。
3. Enter ボタンを押して、シャットダウンまたは再起動を実行します。



注: 本体背面に電源スイッチがありますが、このスイッチを長く押した場合、強制的にシャットダウンします。内部データの破損や、本体機器が故障する場合があります。シャットダウンをする際は、管理画面から操作してください。

5.2 管理者パスワードとネットワーク設定のリセット

次の手順に従って、本製品の管理者パスワードとネットワーク設定をリセットします。

1. 本製品のリセットボタンを数秒間押します。ピープ音が鳴ります。
2. デフォルトのユーザ名とパスワードで本製品にログインします。

ユーザ名 : administrator

パスワード: admin

5.3 ディスクの故障または異常

ディスクに故障または異常が生じた場合は、次の手順に従ってください。

1. データへのアクセスが可能な場合は、速やかにデータのバックアップを行ってください。
2. 異常な症状やエラーメッセージを記録してください。
3. 本製品の使用を中止し、すぐにカスタマーサポートへ連絡してください。その際には、記録したエラーエラー内容や直前に行った操作をご説明ください。イベントログやディスク情報の表示など、どのようなメッセージが表示されているのかを詳しくお伝えください。



注: ディスクの故障によるデータの損失を防ぐ為に、必ず重要なデータはバックアップをとるようにしてください。また、本製品の修理は、専門の技術者が行う必要があります。自分で修理をしようとししないでください。お客様が修理を行った場合、保証の対象外となります。

5.4 停電または異常終了

停電が発生した場合や、本製品が異常終了し、正しい手順で終了しなかった場合、再起動後、本製品が正常に動作しないなどの現象が発生することがあります。

1. 管理画面からログインし、設定情報が失われていないことを確認してください。システム設定が失われている場合、再設定してください。
2. 本製品の動作に異常がみられる、またはエラーが発生している場合は、カスタマーサポートにご連絡ください。

製品に障害が発生した場合の被害を最小限に抑えるためにも、次のことを行ってください。

1. 「[5.1 再起動/シャットダウン](#)」の説明に従って、シャットダウン/再起動を実行してください。
2. 停電が予期される場合、すべての重要なデータをバックアップし、適切な手順で本製品の電源を切ってください。
3. 定期的にデータや設定情報をバックアップしてください。

ディスクのトラブルについては、ログにエラーが記録されるので、動作が不安定な時は確認してください。



注: 故障の原因が停電の場合、保証対象外となります。

5.5 定期的なメンテナンス

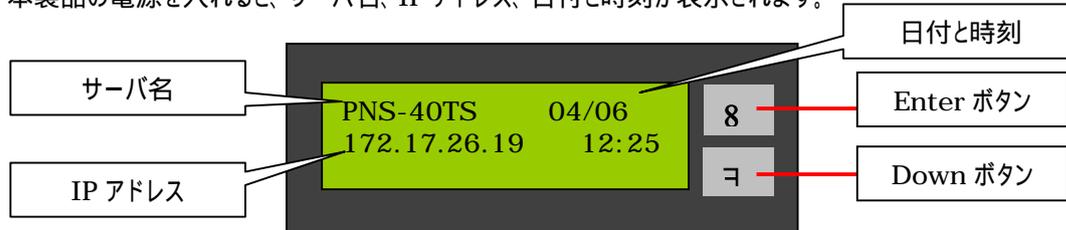
本製品は連続稼動を前提とした製品設計がなされています。そのため頻繁に電源をオン/オフする必要がありません。ただし、メンテナンスのために 1 週間 ~ 10 日に一度再起動することを推奨します。

1 週間 ~ 10 日に 1 度	・本製品の回りを清掃する。 ・ファンに詰まった埃を取り除く。
1 ヶ月に 1 度	・[ディスク設定]-[ディスクボリュームの検査]を実行する。

付録 A LCD パネル

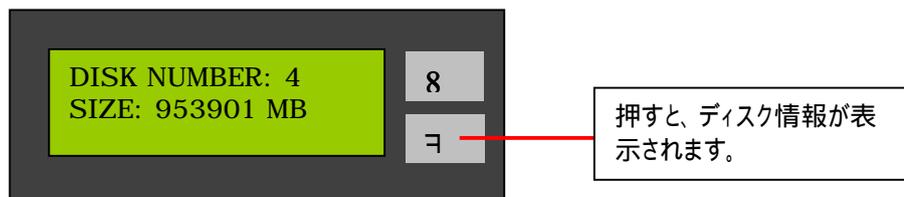
A-1 表示情報

本製品の電源を入れると、サーバ名、IP アドレス、日付と時刻が表示されます。

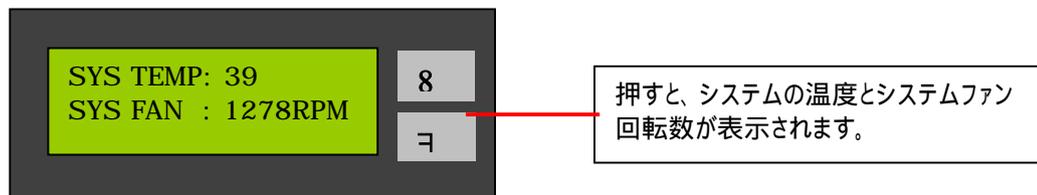


A-2 ディスク情報とファームウェアのバージョンを確認

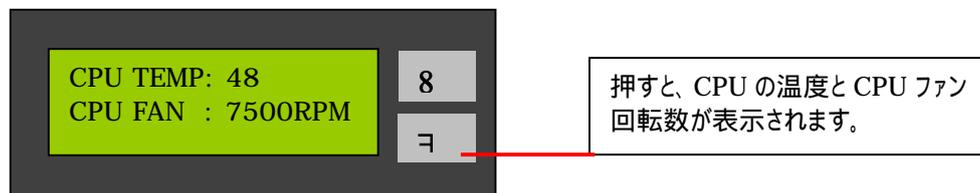
Down ボタンを押すと、ディスク番号やディスクサイズなどのディスク情報が表示されます。



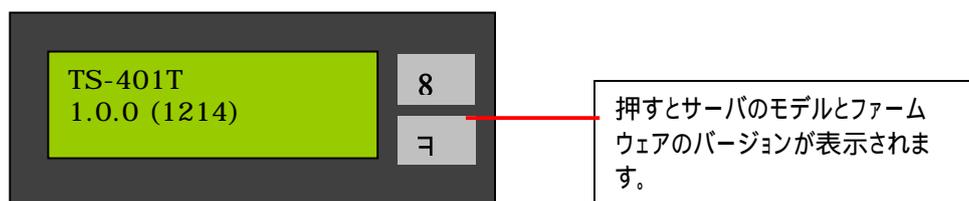
Down ボタンをもう一度押すと、システムの温度とシステムファンの回転数が表示されます。



Down ボタンをもう一度押すと、CPU の温度と CPU ファンの回転数が表示されます。

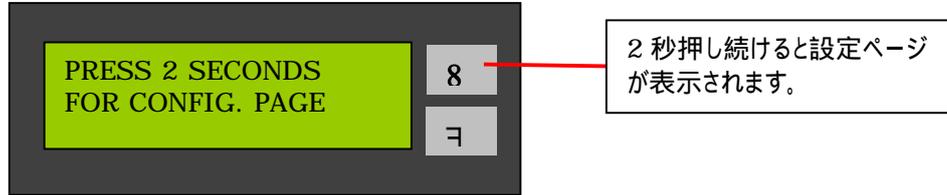


Down ボタンをもう一度押すと、サーバのモデルとファームウェアのバージョンが表示されます。



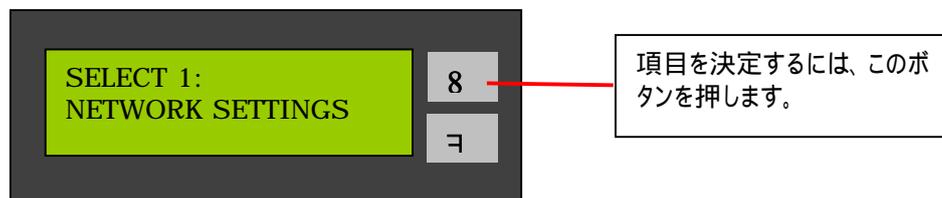
A-3 システム設定機能

Enter ボタンを 2 秒押し続けると、設定ページが表示されます。



2 秒押し続けると設定ページが表示されます。

Down ボタンを押して、NETWORK SETTINGS、POWER DOWN、REBOOT SYSTEM、EXIT の中から項目を選択します。



項目を決定するには、このボタンを押します。

- NETWORK SETTINGS - ネットワーク設定

NETWORK SETTINGS のページを表示し、Down ボタンを押して、次のオプションのいずれかを選択します。*は有効に設定されている項目に表示されます。

- DHCP
DHCP を選択すると IP アドレスを DHCP サーバより自動的に取得します。
- STATIC IP
固定の IP アドレスを設定します。
Enter ボタンを押して STATIC IP を選択してから IP アドレスを設定します。
 - SET STATIC IP
Down ボタンを押して 0 ~ 255 の数字を入力し、Enter ボタンを押して IP アドレスの次の数字を設定します。
 - SET NETMASK
上記の手順に従ってネットマスクアドレスを設定します。
 - SET GATEWAY
上記の手順に従ってゲートウェイアドレスを設定します。
 - SELECT STATIC IP
Down ボタンを押して [YES] または [NO] を選択します。[YES] を選択すると、システムの再起動を要求されます。
- EXIT
一つ前のメニューに戻ります。

LCD パネル初期表示アドレス

IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.254 (x 部分は現在のセグメント情報が表示されます。)

LCD パネルから静的 IP アドレスを設定した場合、一度設定すると DHCP 設定に変更を行った場合でも、LCD パネルの静的 IP アドレス項目には、初回設定時の IP 設定が表示されるようになっています。この表示は本体をリセットすることで初期表示アドレスに戻ります。

例外的に、WEB ブラウザの管理画面や LCD パネルから、デフォルトゲートウェイに「0.0.0.0」を設定した場合は、LCD パネルには初期表示アドレスである「xxx.xxx.xxx.254」と表示されるようになっています。

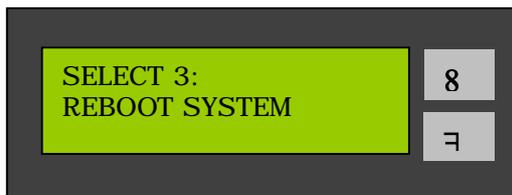
- POWER DOWN - 電源を切る

Down ボタンを押して[POWER DOWN]を選択し、Enter ボタンを押して本製品のシャットダウンを実行します。



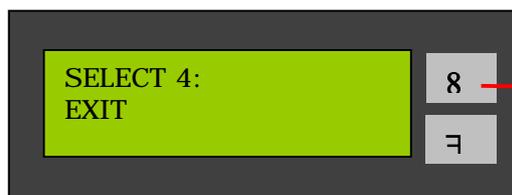
- REBOOT SYSTEM - システムの再起動

Down ボタンを押して[REBOOT SYSTEM]を選択し、Enter ボタンを押してシステムの再起動を実行します。



- EXIT - 設定ページを閉じる

Enter ボタンを押して[EXIT]を選択し、再度 Enter ボタンを押して設定ページを閉じます。



このボタンを押して
EXIT を選択します。

付録 B Web ファイル管理

B-1 Web ファイル管理の使用

1. Web ブラウザを起動して本製品のホームページを開きます。
2. [Web ファイル管理]を選択して、ログイン名とパスワードを入力します。
ログイン名に「guest」と入力し、パスワードは入力せずに匿名のゲストとして、本製品のネットワーク共有にアクセスすることもできます。



注: Webファイル管理を使用する前に、ネットワーク共有が作成されていることを確認します。



3. 現在表示されているページから、管理する既存のネットワーク共有を選択します。



4. 本製品のネットワーク共有フォルダを編集できます。Web ファイル管理を使用して、ネットワーク共有のファイルやフォルダのアップロード、名前の変更、または削除ができます。



• オンラインファイルの表示

Web ページに表示されているファイルのアイコンをクリックすると、そのファイルの情報が表示されます。ブラウザがファイル形式をサポートしていない場合は、ダウンロードウィンドウが自動的に表示されます。ファイルをダウンロードして、使用しているコンピュータ上で開くことができます。

• フォルダの作成

- i. 新規フォルダを作成するネットワーク共有またはフォルダを選択します。

ii. ツールバーの  (フォルダの作成) をクリックします。

- iii. 新規フォルダの名前を入力して [OK] をクリックします。

• ファイル名またはフォルダ名の変更

- i. 名前を変更するファイルまたはフォルダを選択します。

ii. ツールバーの  (名前の変更) をクリックします。

- iii. ファイルまたはフォルダの新しい名前を入力して [OK] をクリックします。

• ファイルまたはフォルダの削除

- i. 削除するファイルまたはフォルダを選択します。

ii. ツールバーの  (削除) をクリックします。

- iii. ファイルまたはフォルダの削除を実行します。

ファイルおよびフォルダをすべて削除するには、 (すべて選択) をクリックしてから、 (削除) をクリックします。



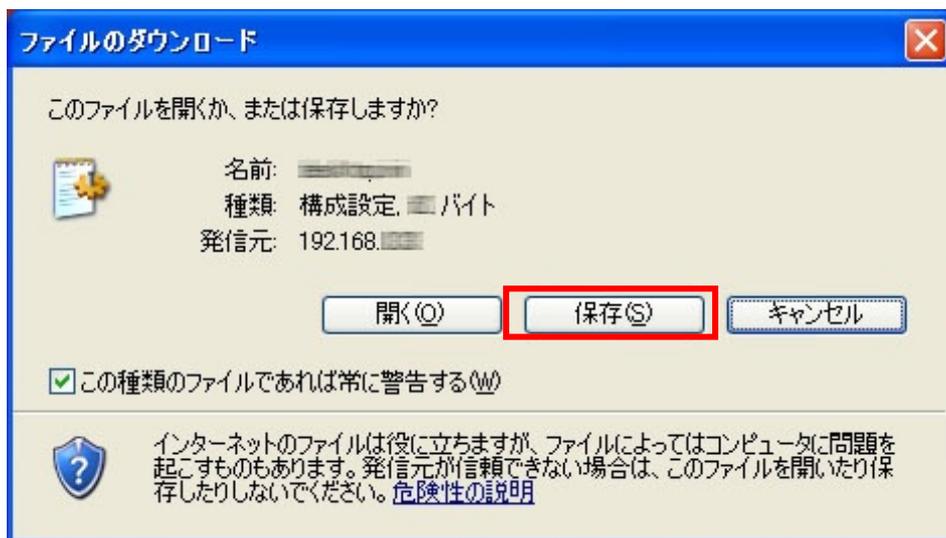
注: フルパスで237バイトまでサポートしています。

- **ファイルのアップロード**

- ファイルを上アップロードする宛先のフォルダを開きます。
- [参照]をクリックしてアップロードするファイルを選択します。
- [アップロード]をクリックします。

- **ファイルのダウンロード**

- ダウンロードするファイルを選択し、をクリックします。
- ファイルダウンロードメニューから、「保存」を選択して指定する場所へファイルを保存してください。



 アイコンを右クリックし、直接ダウンロードすることも可能です。

B-2 Web ファイル管理のアイコン

アイコン	説明
	一つ上のフォルダに戻る
	現在のページの更新
	ネットワーク共有リストホームページへ戻る
	フォルダの作成
	ファイル名またはフォルダ名の変更
	ファイルまたはフォルダの削除
	すべて選択
	選択の取り消し
	ログアウト
	フルアクセスネットワーク共有フォルダ
	読み取り専用ネットワーク共有フォルダ
	異常のあるネットワーク共有フォルダ

付録 C クイックインストールウィザード

クイックインストールウィザードを使用して、ローカルネットワーク内で使用できる弊社製品を検索し、サーバ名、IP アドレス、ワークグループなどを表示できます。また、ディスク名、日付、時刻なども、クイックインストールウィザードで設定できます。(クイックインストールウィザードは Windows 専用です。他の OS ではご利用いただけません。)



注: 検索対象となる NAS 製品は PNS-xx シリーズ及び NAS-xxxx シリーズが対象となります。

C-1 インストール方法

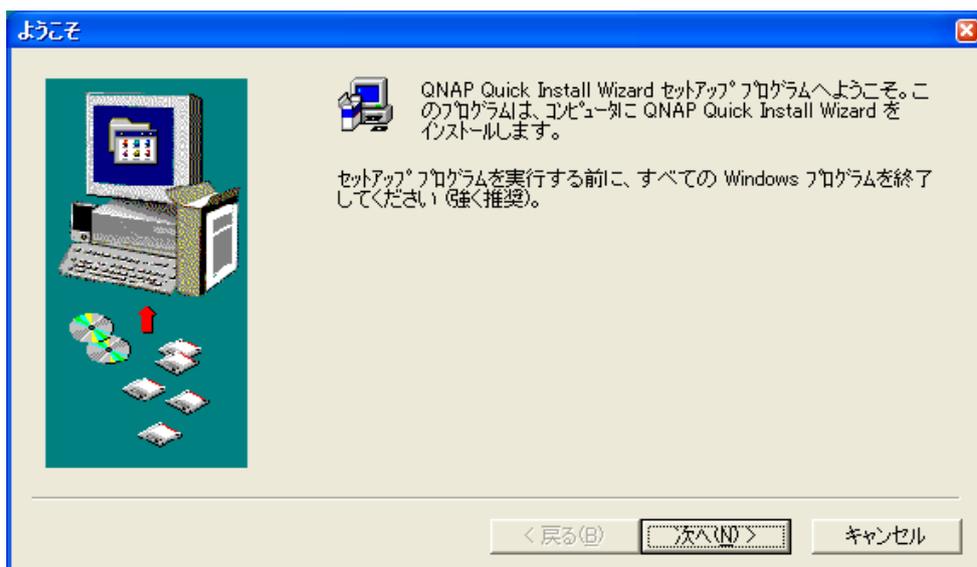
1. PC に本製品付属のガイド CD-ROM を挿入します。マイコンピュータから、CD ドライブを開きます。
[PNS40TS]-[Wizard]フォルダを開きます。



2. Setup.exe をダブルクリックします。



3. クイックインストールウィザードのインストール画面が表示されます。手順に従って、インストールを完了させます。



4. インストール完了後、デスクトップに Quick Install Wizard アイコン  が作成されます。このアイコンをダブルクリックして、クイックインストールウィザードを起動します。

C-2 操作画面

クイック インストール

本製品の IP アドレス

本製品が所属する Windows ワークグループ

本製品の名前

名前	IPアドレス	ワークグル...	バージョン
PNS-40TS	192.168.××××	NAS	1.00

システムのバージョン

プログラムを終了する。

設定(S) 詳細(D) ドライブの指定(M) 更新(R) ヘルプ(H) 閉める(Q)

本製品のサーバ名、時刻、ネットワーク設定を設定する。

選択された本製品の詳細を表示する。

サーバにネットワークドライブをマッピングする。

ネットワーク内の検索結果を更新する。

クイックインストールウィザードのヘルプを表示する。



注: セグメントが変更すると、クイックインストールウィザード上に表示されません。必ず設定した IP をメモなどにとっておいてください。

C-2 操作方法

C-2.1 設定

1. クイックインストールウィザードに表示されている本製品を選択し、[設定]をクリックします。



2. 管理者パスワードを入力します。



デフォルトの管理者名 : administrator
管理者パスワード : admin

3. ログインすると、次の画面が表示されます。設定値を入力し、[OK]をクリックします。

システムの設定

システム

名前 PNS-40TS

日付(月/日/年) 04 / 06 / 20

時間(時:分:秒) 11 : 31 : 33

TCP/IP

IPアドレスを自動的に取得

IPアドレスを指定する

IP アドレス 192 168 0 1

サブネットマスク 255 255 255 0

ゲートウェイ 0 0 0 0

確認(O) キャンセル(O)

本製品の名前を入力します。この名前が LCD に表示されます。英数字 14 文字以内で設定可能です。

DHCP サーバがある場合、システムは自動的に IP アドレスを取得します。

接続に固定 IP アドレスを使用するには、サーバの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。

さらに詳細なシステム設定を行う場合は、Web ブラウザを使って本製品の管理ページにログインします。



注: ネットワーク設定変更後、本製品を再起動しなければならない場合があります。

C-2.2 詳細

- クイックインストールウィザードで使用できる本製品を選択し、[詳細]をクリックします。

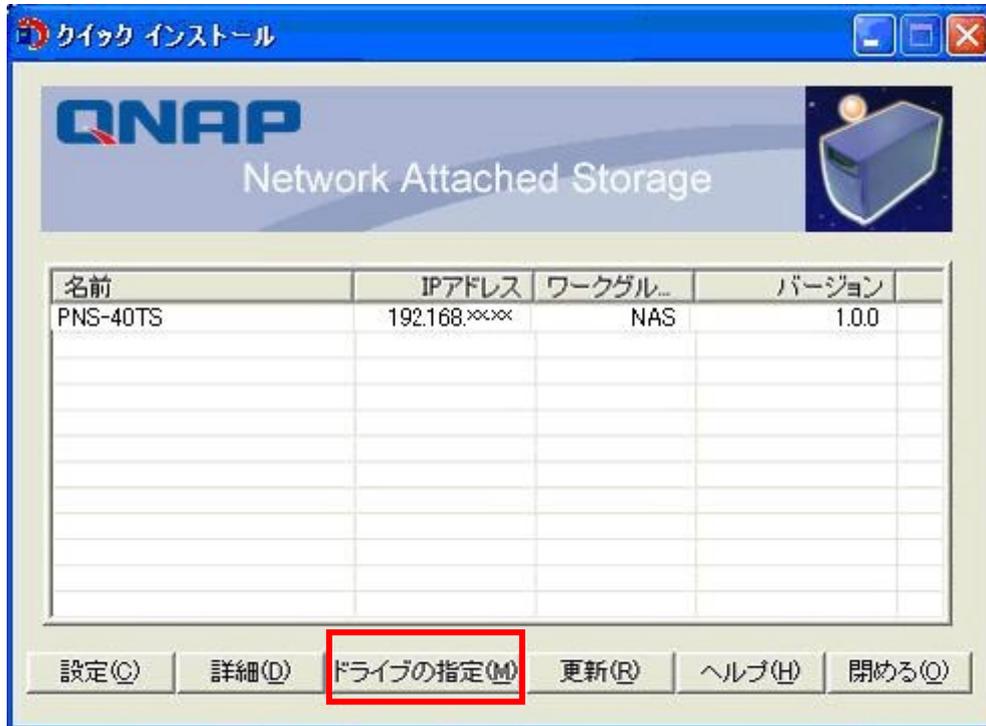


- 詳細内容を確認後、[閉じる] でメニューを閉じてください。

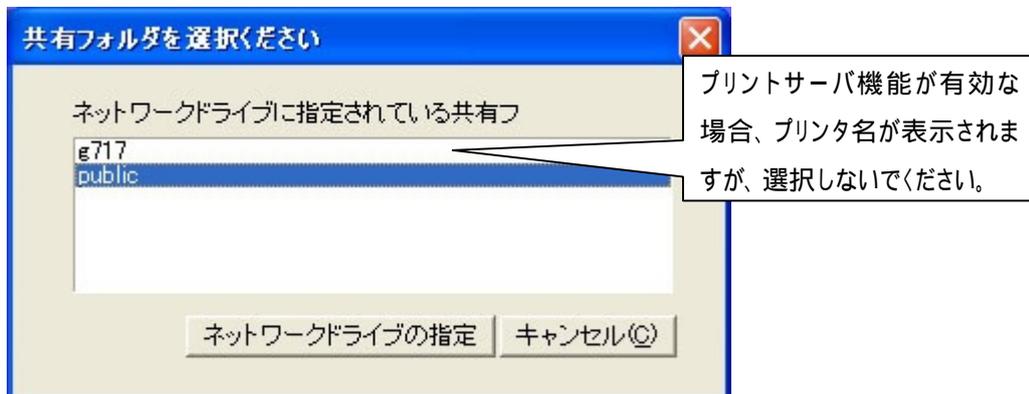


C-2.3 ネットワークドライブの割り当て

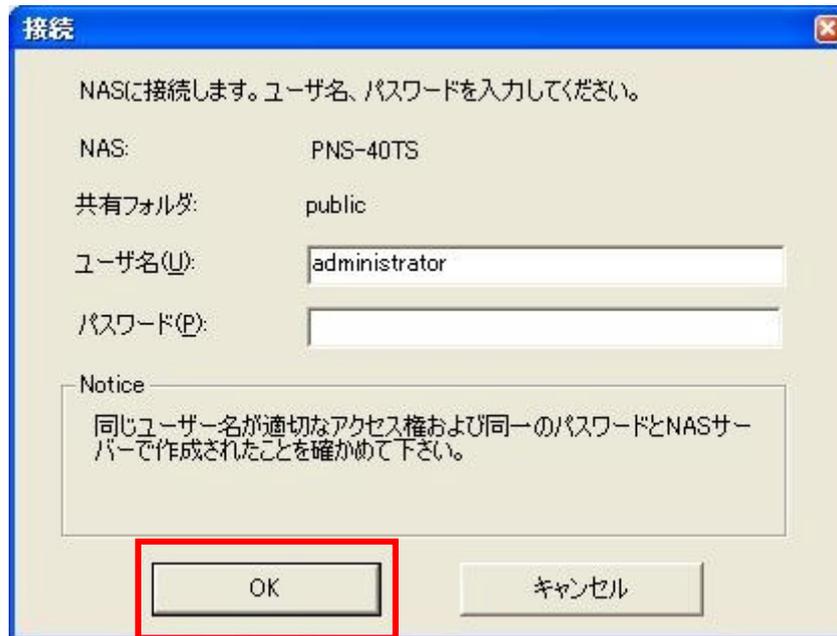
1. 本製品を選択して、[ドライブの指定]をクリックします。



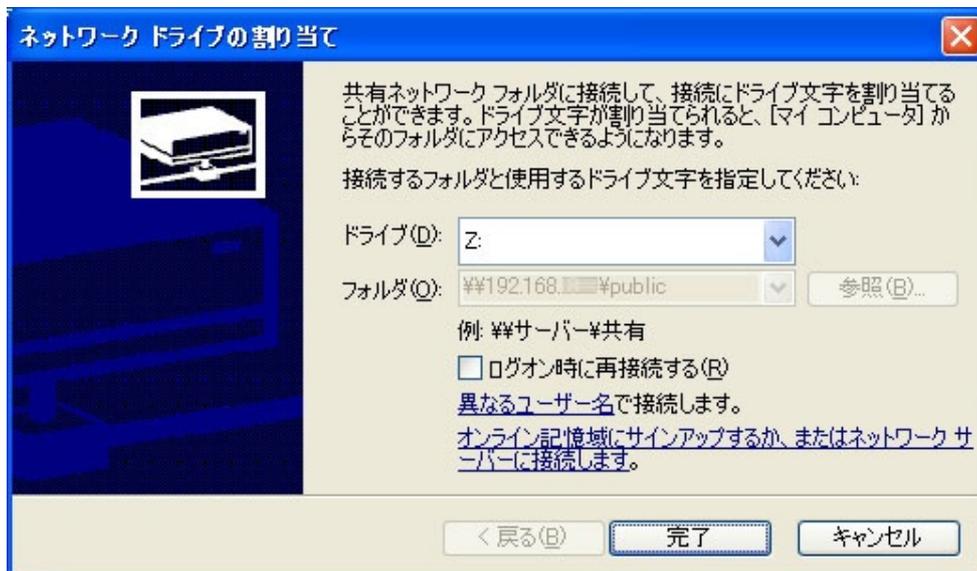
2. 接続する PNS40TS を選択し、[ネットワークドライブの指定]をクリックします。



3. PNS40TS へ接続するためのユーザ名、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



4. ドライブ番号の指定や複数ユーザでのご利用をされない場合は、設定を変更せず、[完了]をクリックしてください。



5. PNS40TS へ接続すると、WindowsOS からネットワークドライブとして使用できます。

C-2.4 更新

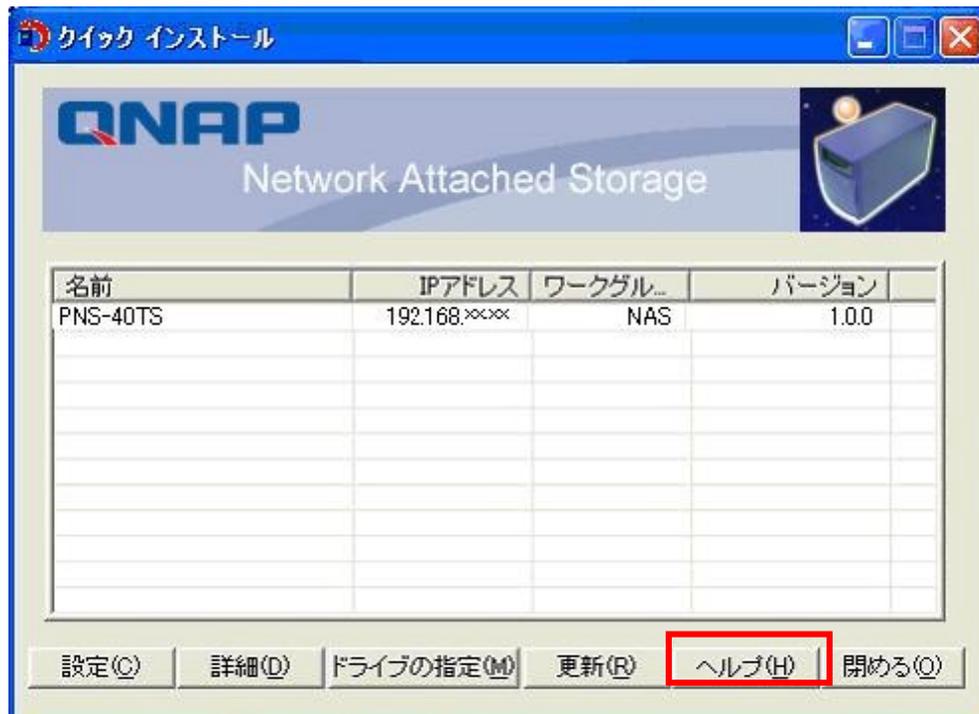
同じネットワーク内の使用可能なプリンストン NAS 製品を再度検索します。

検索結果を更新するには、[更新]をクリックします。



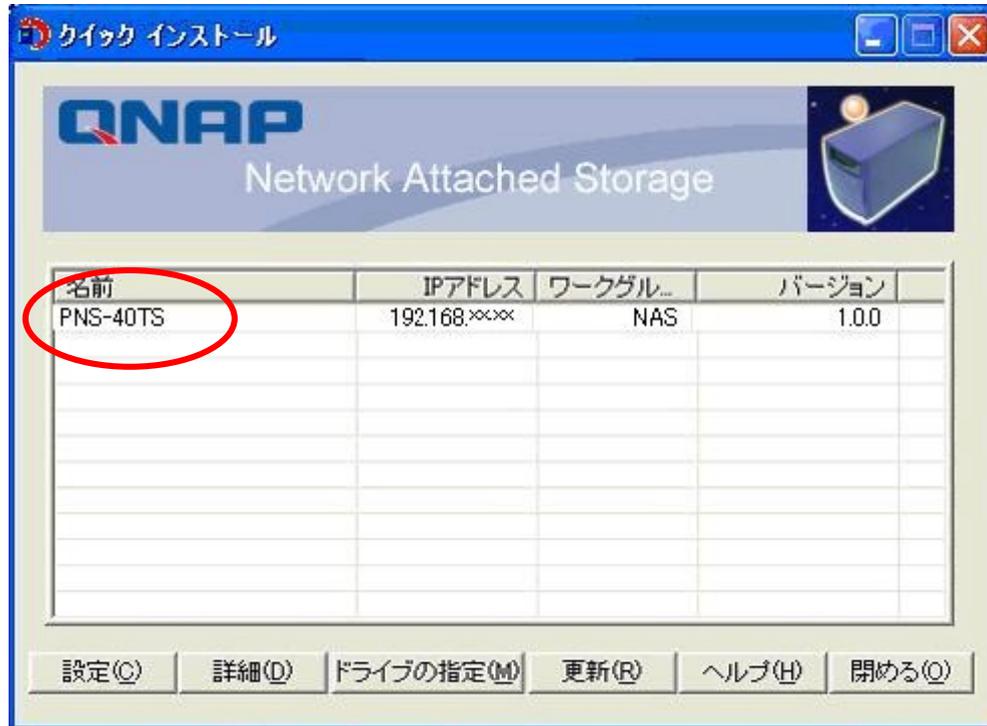
C-2.5 ヘルプ

[ヘルプ]をクリックして、クイックインストールウィザードの使用説明を表示します。

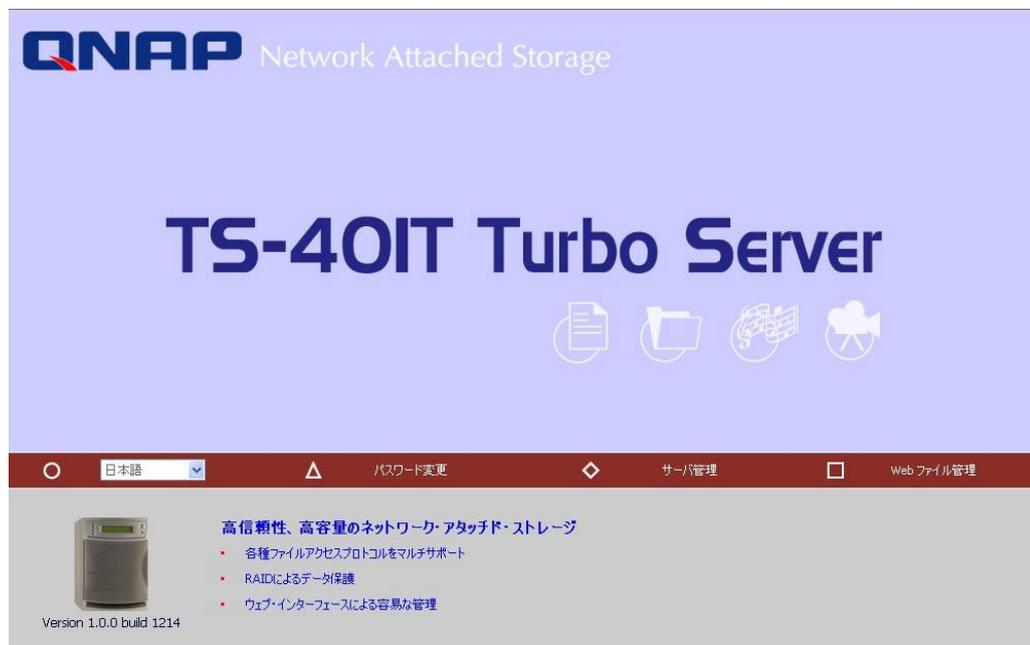


C-2.6 ホームページの表示

1. 本製品のホームページを開きます。本製品の名前をダブルクリックします。



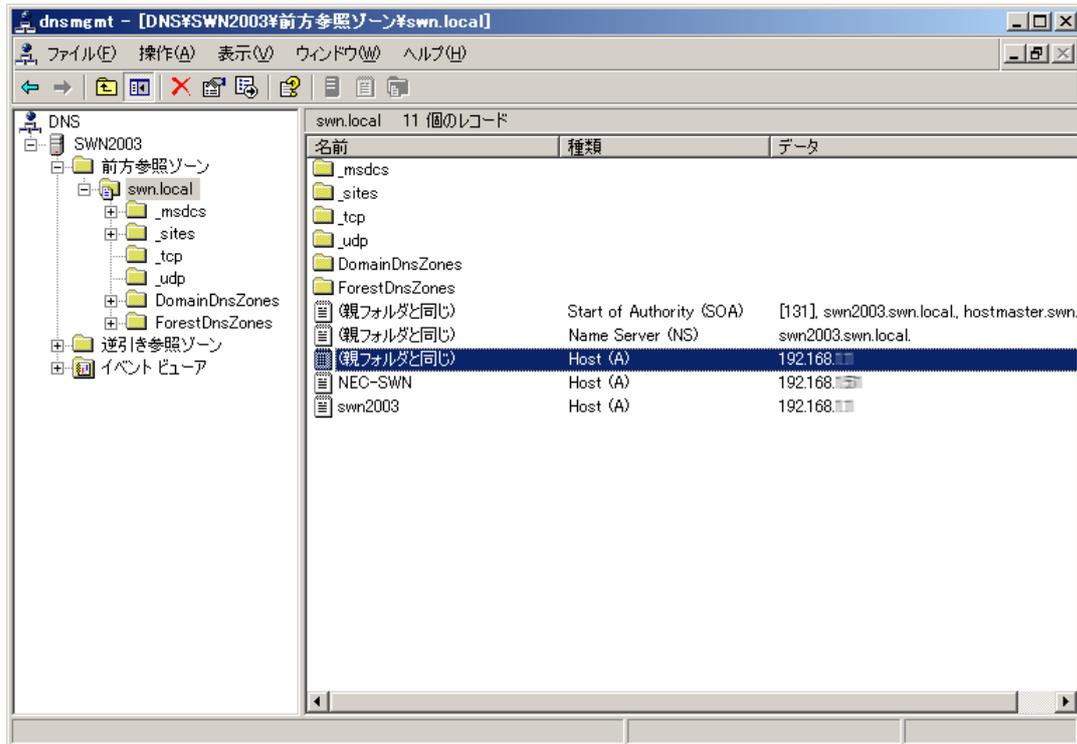
2. ブラウザにて PNS40TS の Web 管理ホームページが表示されます。



付録 D AD 認証の設定

「swn2003.swn.local」という AD (Active Directory) 環境の設定を例とします。

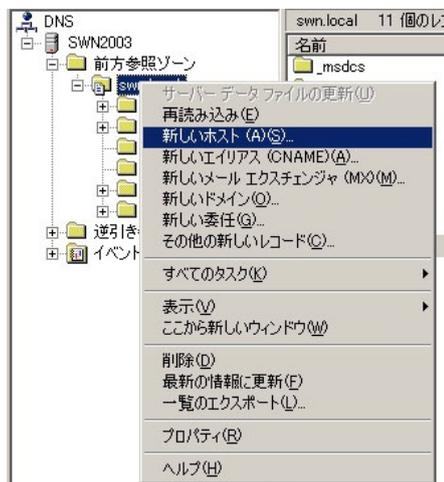
AD サーバの DNS の設定を行います。また DNS 設定は 2 個以上の設定が必要となります。



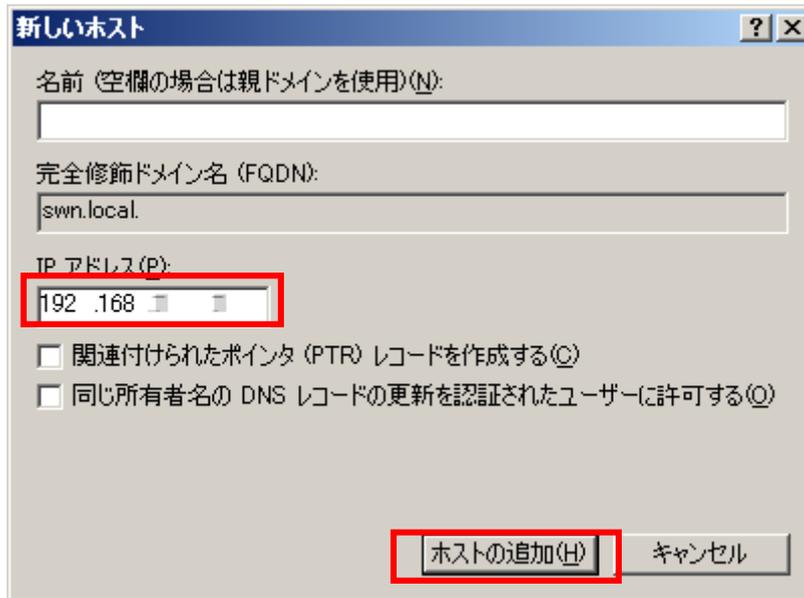
AD サーバ用に 1 つ (swn2003 Host(A)) と、ドメイン用に 1 つ (親フォルダの複製 Host(A)) の計 2 つ新しいホストを作成します。

D-1 DNS 設定、A レコード追加作成方法

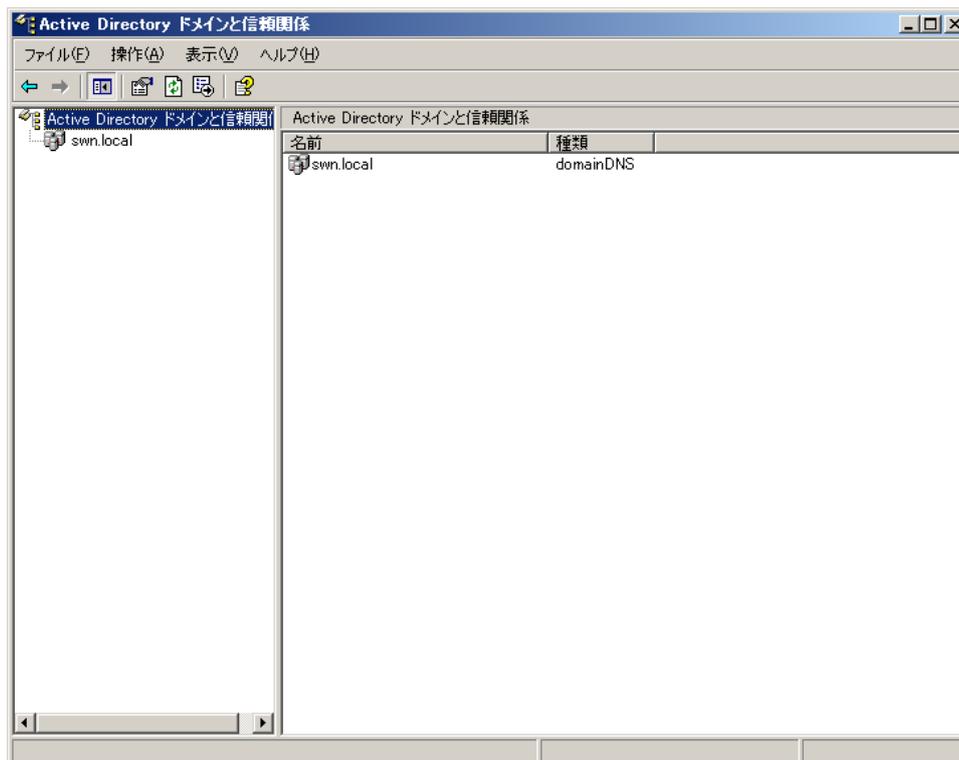
1. 「swn.local」の右クリックメニューより、[新しいホスト]をクリックしてください。



- AD サーバの IP アドレスを入力し、[ホストの追加]をクリックしてください。



- 'swn.local' が有効になっていることを確認してください。



- クライアント PC の DNS 設定を AD サーバの IP アドレスに設定してください。

D-2 NAS の Windows サーバ 2003 Active Directory ドメインへの追加

1. [ネットワーク設定]-[TCP/IP 設定]を開きます。
2. IP アドレスを手動設定に変更し、任意の IP アドレスおよびネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力して、[適用]をクリックします。この DNS サーバを通じて AD ドメインを問い合わせることができます。

* 下記の設定例では AD サーバ IP アドレスは 192.168.1.1 としています。

ネットワーク設定

- TCP/IP設定
- Microsoftネットワーク
- Appleネットワーク
- Linux(NFS)サービス
- Webサービス
- FTPサービス
- プリンタサーバ
- 設定を全て表示

TCP/IP設定

接続方式 フェイルオーバ ロードバランシング スタンドアロン

ネットワークスピード auto-negotiation

フェイルオーバ

IPアドレスをDHCPによる自動取得

手動設定の使用

指定のIPアドレス 192 . 168 . 1 . 52

ネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ 192 . 168 . 1 . 254

プライマリDNSサーバ 192 . 168 . 1 . 1

セカンダリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

DHCPサーバを有効にする

開始IPアドレス 192 . 168 . 0 . 100

終了IPアドレス 192 . 168 . 0 . 200

リース期間 1 日 0 時

プライマリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

セカンダリDNSサーバ 0 . 0 . 0 . 0

適用

3. [ネットワーク設定]の[Microsoft ネットワーク]を開きます。
4. [AD ドメインメンバー]を有効にして、このドメインへの管理者アクセス権のあるドメイン名とドメインユーザ名を入力し、[適用]をクリックします。

ネットワーク設定

- TCP/IP設定
- Microsoftネットワーク
- Appleネットワーク
- Linux(NFS)サービス
- Webサービス
- FTPサービス
- プリンタサーバ
- 設定を全て表示

Microsoftネットワーク

Microsoftネットワークを有効にする

スタンドアロンサーバ

NetWareサーバ

ADドメインメンバー

サーバについての説明

ワークグループ名

ADサーバ名

ドメイン名

WINSサーバを有効にする

指定のWINSサーバの使用

WINS IPアドレス

. . .

ドメインマスタ

NAS Server

NAS

swntest

swnlocal

ドメインユーザー名 administrator

パスワード

適用



注: ネットワーク管理者に、指定したドメインへの管理者アクセス権のあるユーザ名であることを確認してください。

5. [ネットワーク設定]-[設定を全て表示]を開き、[ネットワーク設定]タブから、ドメインに参加していることを確認してください。

ネットワーク設定

- TCP/IP設定
- Microsoftネットワーク
- Appleネットワーク
- Unix/Linux NFS
- NetWareサービス
- Webサービス
- FTPサービス
- プリンタサーバ
- 設定を全て表示

設定を全て表示

ネットワーク ネットワーク設定 その他

Microsoftネットワーク

有効にする	YES
サーバタイプ	ADドメインメンバー
ドメイン名	swnlocal
WINSサーバを有効にする	NO
ドメインマスタを有効にする	NO

Appleネットワーク

有効にする	YES
ゾーン名	*

Unix/Linux NFS

有効にする	YES
-------	-----

Webファイル管理

有効にする	YES
-------	-----

FTP

有効にする	YES
ポート番号	21
最大制限	30

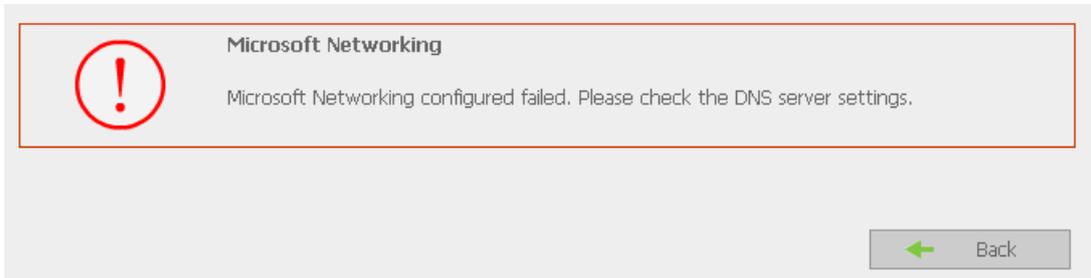
NetWareサービス

有効にする	YES
-------	-----

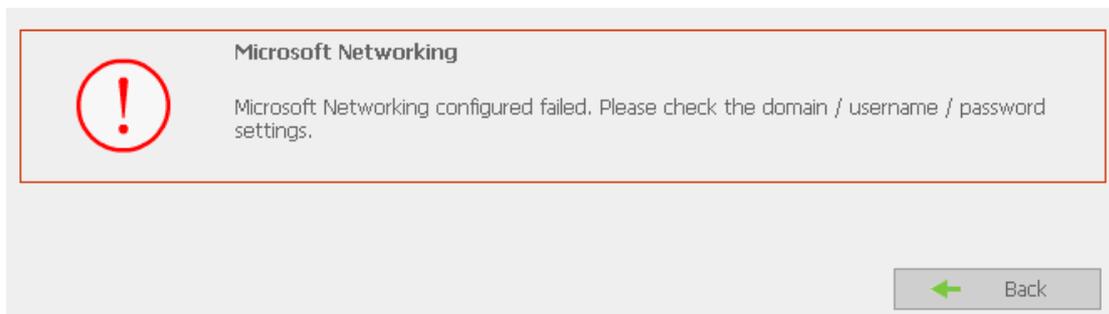
閉じる

- エラーメッセージ

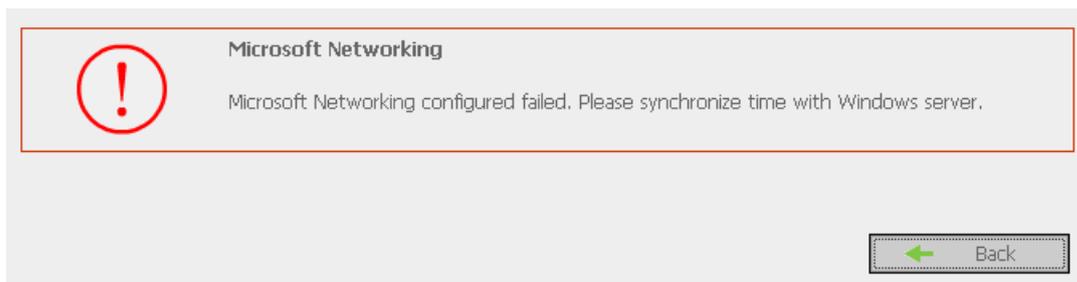
- 手順 2 の設定を適用後、次のメッセージが表示されたら、DNS IP をチェックしてください。



- 手順 2 の設定を適用後、次のメッセージが表示されたら、ドメイン名、ドメインユーザ名およびパスワードをチェックしてください。



- 手順 2 の設定を適用後、次のメッセージが表示されたら、時間帯設定をチェックしてください。追加する NAS の時間と AD サーバの時間の差が 5 分以内であることを確認します。時間の差が 5 分以上の場合は、ドメインメンバに追加できません。

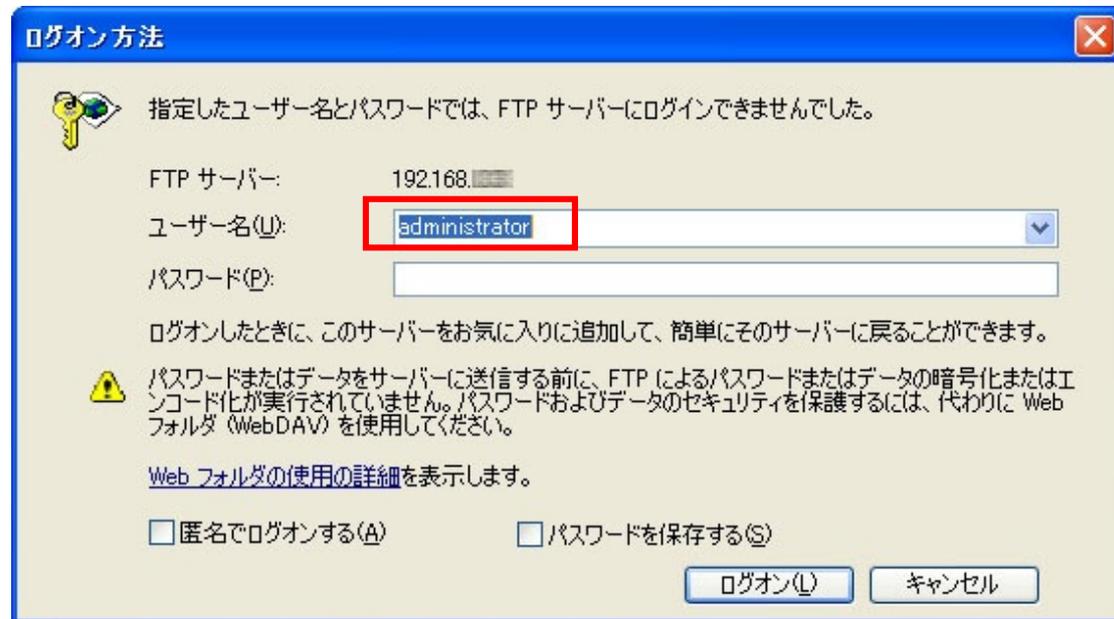


6. NAS をドメインメンバに加えたら、[ユーザ管理]ページにドメインユーザとローカルユーザの一覧が表示されます。

7. [ネットワーク共有]-[アクセス設定]画面を開き、AD ユーザに対して利用可能なすべてのネットワーク共有へのアクセス制御権を設定します。

D-3 AD ユーザとしてサービスにアクセス

FTP、Network Neighborhood、Apple Talk などのサービスに、AD ユーザのアカウントでアクセスする場合は、ログインするときにユーザ名の前に”ドメイン名\"を付加します。



ログイン方法

指定したユーザ名とパスワードでは、FTP サーバーにログインできませんでした。

FTP サーバー: 192.168.███

ユーザ名(U): administrator

パスワード(P):

ログインしたときに、このサーバーをお気に入りに追加して、簡単にそのサーバーに戻ることができます。

! パスワードまたはデータをサーバーに送信する前に、FTP によるパスワードまたはデータの暗号化またはエンコード化が実行されていません。パスワードおよびデータのセキュリティを保護するには、代わりに Web フォルダ (WebDAV) を使用してください。

[Web フォルダの使用の詳細を表示します。](#)

匿名でログインする(A) パスワードを保存する(S)

ログイン(L) キャンセル



注: 再度、AD ドメインに追加するには、[ネットワーク設定]-[Microsoft ネットワーク]で、NAS をスタンドアロンサーバとして設定する必要があります。NAS を AD ドメインに追加する前に、[ユーザ管理]のすべてのドメインユーザが削除されていることを確認してください。

付録 F Windows Vista でご使用の際のご注意

Windows Vista の文字フォントは JIS2004 (JIS X 0213:2004) 対応となりました。それに比べ従来の WindowsOS では JIS90 (JIS X 0208) が採用されております。

JIS90 に対して、JIS2004 で字体が変更された文字と追加された文字 (環境依存文字) があり、それが原因で文字化けが発生することがございます。

この点から、弊社 NAS 製品を Windows Vista と従来 WindowsOS 混在環境にて使用される際に、以下の対策が必要となります。

Windows XP との混在環境

WindowsXP では JIS90 を採用していることから、WindowsXP を JIS2004 に対応させるか、Windows Vista を JIS90 に対応させるか、いずれかの対策が必要になります。

Windows XP を JIS2004 に対応させる場合

Microsoft 社より Windows XP 向けの JIS2004 対応パッケージがリリースされておりますので、こちらをインストールしてください。

Windows XP および Windows Server 2003 向け JIS2004 対応 MS ゴシック & MS 明朝
フォントパッケージについて

http://www.microsoft.com/japan/Windows/products/WindowsVista/jp_font/jis04/default.msp

ただし、JIS90 に対して JIS2004 で追加された環境依存文字については、このフォントパッケージをインストールしても、WindowsXP から正常に表示できない場合がございますので、これらの文字はご使用をお控えください。

JIS2004 で追加された環境依存文字

俱 剝 叱 吞 噓 妍 屏 并 瘦 繫

Windows Vista を JIS90 に対応させる場合

Microsoft 社より Windows Vista 向けの JIS90 対応パッケージがリリースされておりますので、こちらをインストールしてください。

Windows Vista 向け JIS90 互換 MS ゴシック・明朝フォントパッケージについて

http://www.microsoft.com/japan/Windows/products/WindowsVista/jp_font/jis90/default.msp

Windows 98SE / Me / 2000 との混在環境

Windows 98SE/Me/2000 も WindowsXP 同様 JIS90 を採用しております。しかしながら、Windows 98SE/Me/2000 向け JIS2004 パッケージがリリースされていないことから、Windows Vista を JIS90 に対応させる必要があります。

Windows Vista 向け JIS90 互換 MS ゴシック・明朝フォントパッケージについて

http://www.microsoft.com/japan/Windows/products/WindowsVista/jp_font/jis90/default.msp

付録 G メッセージ一覧

イベントログ

ここに記載されたものは、システムが動作した際にイベントログに記録されるメッセージとその解説になります。

カテゴリ	種類	メッセージ	説明
Daemon 管理	情報	Stop process ****.	プロセスを停止しました。 (「****」はプロセス名)
	警告	Re-launch process [****].	何らかの要因でプロセスの動作が停止、もしくは不安定になったため、30 秒ごとにプロセスを再起動しています。 (「****」はプロセス名)
コンフィグチェック	情報	The administrator's password and network configuration were reset to the factory default.	パスワードリセットスイッチを押したことにより、管理者パスワードが初期化されました。
電源関係	情報	Upper power supply is OK.	上側の電源は正常に動作しました。
	情報	Lower power supply is OK.	下側の電源は正常に動作しました。
	エラー	Upper power supply failed or removed.	上側の電源の状態が OK から Fail、または取り外されました。
	エラー	Lower power supply failed or removed.	下側の電源の状態が OK から Fail、または取り外されました。
ネットワーク接続	エラー	Network connection lost.	ネットワークの接続が切れました。
	情報	Network connected.	ネットワークが正常に接続しました。
	情報	All network interfaces are connected.	全てのネットワークインターフェース (LAN ポート) が接続されました。
プリンタ	エラー	printing error.	印刷中にプリンタに障害 (紙詰まりなど) が発生しました。
起動・終了	警告	The system was not shutdown properly last time	前回、システムは正常に終了されませんでした。
	情報	System started.	システムが起動しました。
	警告	System was shut down on ****	システムは****にシャットダウンしました。 (「****」は日付、時間)
コンフィグチェック	エラー	System check passwd file fail, use default passwd file	内部のパスワード情報が破損している為、デフォルトのパスワードで再設定しました。
	エラー	System check group file fail, use default group file	内部のグループ情報が破損している為、デフォルトのグループで再設定しました。
	エラー	System check config file fail, use default config file	内部のシステム設定ファイルの読み出しができなかった為、デフォルトの設定ファイルで再設定しました。
Active Directry	エラー	Microsoft Networking configured failed. Please check the DNS server and AD server name settings.	Microsoft ネットワークの構成に失敗しました。DNS サーバや AD サーバのネーム設定を確認してください。
	エラー	Microsoft Networking configured failed. Please synchronize time with Windows server.	Microsoft ネットワークの構成に失敗しました。Windows サーバとの同期を確認してください。
	情報	Microsoft Networking configured successfully.	Microsoft ネットワーク構成に成功しました。

カテゴリ	種類	メッセージ	説明
HDD 関連	エラー	Failed to perform quotacheck on disk volume %d.	ボリューム作成時に"ユーザ容量制限"に関するエラーが発生しました。
	エラー	Disk drive **** failed or was unplugged. Please use a new hard disk to relace the old one.	ディスクドライブ****が破損しているか、取り外された、または接続されてません。(「****」は Disk 番号)
	情報	Disk drive **** plugged in.	ディスクドライブ****が接続されました。(「****」は Disk 番号)
	エラー	Volume: ****: Disk space is almost full (99%), please check and remove unused files.	ディスクの空き容量が 99%を越えました。不要なファイルを確認し削除してください。(「****」は Disk 番号)
UPS 関連	警告	UPS: The AC power is down!	(SNMP 接続時)UPS への電源が切れたことを検知しました。
	警告	UPS: The AC power is back!	(SNMP 接続時)UPS への電源が復帰したことを検知しました。
	警告	UPS: The Bettyery power is low!	(SNMP 接続時)UPS のバッテリー残量が少なくなっています。
	警告	UPS: Possible bad cable!	(SNMP 接続時)UPS との通信が失敗したことを検知しました。
	警告	UPS: Unknown error!	(SNMP 接続時)UPS との接続で原因不明のエラーが発生しました。
	警告	USB UPS auto detect failed!	USB UPS を検知できません。
	警告	USB UPS detected!	USB UPS を検知しました。
	警告	Communications lost with UPS.	(USB 接続時)UPS との通信が失われました。
	警告	UPS running on batteries. Shutdown system in **** minutes.	(USB 接続時)UPS への電源供給に問題が発生しました。UPS はバッテリーで駆動します。****分後にシャットダウンします。
	警告	Power loss detected on UPS. Shutdown system in **** minutes.	(USB 接続時)UPS への電源が失われました。システムを****分後にシャットダウンします。
	警告	Power has returned on UPS. Canceling shutdown.	(USB 接続時)UPS に電源が回復しました。自動シャットダウンをキャンセルしています。
	情報	Emergency Shutdown. Possible battery failure on UPS.	UPS のバッテリーにエラーが起きた可能性がありますので緊急終了します。
リモートレプリケーション	エラー	Remote Backup schedule **** fail, because remote server was not found.	リモートレプリケーション先のサーバが見つかりません。(「****」はタスク名)
	エラー	Remote badkup schedule **** fail, because remote server error.	リモートレプリケーション先のサーバが NAS ではありません。(「****」はタスク名)
	エラー	Remote backup schedule **** fail, because remote server autherication fail	リモートレプリケーション先のフォルダの認証ができません。(「****」はタスク名)
	エラー	Remote backup schedule **** fail, because copy file fail.	リモートレプリケーション実行時、ファイルコピーに失敗しました。(「****」はタスク名)
	エラー	Remote backup schedule **** fail, because compress file fail.	リモートレプリケーション実行時、ファイル圧縮に失敗しました。(「****」はタスク名)
	エラー	Remote backup schedule **** fail, because local directory %s was not existed.	リモートレプリケーションの転送元のフォルダが存在しません。(「****」はタスク名)
	エラー	Remote backup schedule **** fail, because remote directory **** was not extisted.	リモートレプリケーションの転送先のフォルダが存在しません。(「****」はタスク名とフォルダ名)

カテゴリ	種類	メッセージ	説明
リモートレプリケーション	情報	Remote backup schedule **** starting.	リモートレプリケーションのタスクを開始しました。 (「****」はタスク名)
	情報	Remote backup schedule **** finish successfully.	リモートレプリケーションのタスクを完了しました。 (「****」はタスク名)
システムモニタ	エラー	System temperature is over the limit.	システム温度が 70 を超えました
	情報	System temperature is return to normal.	システム温度が 70 以下に戻りました。
	エラー	System Fan failed	システムファンが停止したか回転を検出できません。
	情報	System Fan resumes	システムファンが復帰しました。
	エラー	CPU temperature is over the limit.	CPU 温度が 80 を超えました。
	情報	CPU temperature is return to normal.	CPU 温度が 80 以下に戻りました。
	エラー	CPU Fan failed	CPU ファンが停止したか、回転を検出できません。
	情報	CPU Fan resumes	CPU ファンが復帰しました。
CD/DVD バックアップ関連	エラー	Selected data size over media size	選択データの合計サイズがメディアサイズを超えています。
	エラー	Burned media has closed	メディアはクローズされています。未使用のメディアに交換してください。
	エラー	Backup directory does not exist.	選択したフォルダは存在しません。再度選択してください。
	エラー	CD Burning fail.	CD/DVD 書き込みに失敗しました。
	情報	Load data from CD/DVD media finish successfully.	CD/DVD メディアからデータの読み込みに成功しました。
	情報	Start to load data from CD/DVD media.	CD/DVD メディアからデータの読み込みを開始します。(CD から NAS へ)
	情報	User stops writing.	ユーザはデータ書き込みをキャンセルしました。
	情報	User stop loading.	ユーザはデータの読み込みをキャンセルしました。
	情報	Start to write data to CD/DVD media.	CD/DVD メディアへデータ書き込みを開始しました。
	エラー	Blank CD-RW error	CD-RW の消去でエラーが発生しました。
	エラー	Write image to CD error	データを書き込むのにメディアデバイスを開けられません。
	情報	Write data to CD/DVD media finish successfully.	CD/DVD メディアへのデータ書き込みが正常に完了しました。
	情報	Start to Write data to CD/DVD.	CD/DVD へのデータ書き込みを開始しました。
	情報	Write data to CD/DVD media finish successfully.	CD/DVD メディアへの書き込みを完了しました。

LCD ディスプレイ・アラームブザー

システム起動時、終了時の LCD メッセージ

メッセージ	説明
System Starting Please Wait...	システム開始
System Booting Loading Driver	ドライバをロードし、システム起動中
LAN Request DHCP IP	DHCP サーバから IP アドレス取得中
CHECKING DISKS...	HDD チェック中
STARTING SERVICES...	サービス開始中
SYSTEM rebooting	システム再起動中
SHUTTINGDOWN PLEASE WAIT...	シャットダウン中
NETWORK ONLY ONE CONNECTED	ネットワークが 1 系統のみ接続されました。(されています)

障害発生時のメッセージ

メッセージ	説明	ブザー
NETWORK CONNECTION LOST	ネットワークが切断されました。	
NETWORK CONNECTION RESUMED	ネットワーク接続が復帰しました。	
DISK DRIVE xxx DISK DRIVE xxx FAIL OR UNPLUGGED	xxx 番目のディスクでエラーが発生したか、正しく装着されていません。	
DISK DRIVE xxx DISK DRIVE xxx PLUGGED	xxx 番目のディスクが装着されました。	
DISK SPACE FULL DISK SPACE IS ALMOST FULL (99%), PLEASE CHECK AND REMOVE UNUSED FILES	ディスク使用量が 99%を超えました。	
POWER (FIRST / SECOND) POWER FAILED OR REMOVED	電源ユニットが故障したか、取り外されました。	
POWER (FIRST / SECOND) POWER OK	上段または下段の電源ユニットが装着されました。	
(自動的に CPU 温度表示、CPU ファン回転数表示に切り替わる)	CPU 温度が 80℃を超えたか、CPU ファンの回転数が 0 または検出できません。	
(自動的にシステム温度表示、システムファン回転数表示に切り替わる)	システム温度が 70℃を超えたか、システムファンの回転数が 0 または検出できません。	
PRINTING ERROR	印刷中にプリンタに障害(紙詰まりなど)が発生しました。	

印のものは、LCD メッセージが表示されるとともにアラームブザーが鳴ります。(ブザーを有効にしている場合)

その他メッセージ

メッセージ	説明	ブザー
CONFIG RESET SWITCH DEPRESSED	リセットボタンが押されました。(IP アドレスとWEB 管理画面のパスワードが初期化されました)	
BUZZER STATE CHANGED	ブザー機能を有効または無効に変更されました。	
PRINTING FINISHED	印刷を終了しました。(プリンタへのジョブ送信を完了しました。)	
PRINTING STARTED	印刷を開始しました。(プリンタへのジョブ送信を開始しました。)	

印のものは、LCD メッセージが表示されるとともにアラームブザーが鳴ります。(ブザーを有効にしている場合)

付録 H トラブルシューティング

製品をご利用いただく上で、トラブルが発生した場合はこちらをお読みください。

H-1 フォルダ/ファイルにアクセスできない

Q	Mac と Windows でファイル共有ができない、文字が化ける。 異なる Windows バージョンでファイル共有ができない、文字が化ける。
A	各 OS における制約文字を使用した場合、ファイル/フォルダが正常に表示されません。掲載文字以外の OS に依存される文字を使用した場合も同様です。詳細は 付録 E をご参照ください。

Q	LCD パネルに、Network Connection Lost と表示される。
A	ネットワークケーブルが外れている、もしくは、接続しているネットワーク機器の故障が考えられます。LAN ケーブル、ネットワーク機器を交換して、エラーが発生しなくなれば、本製品は正常です。

Q	ディスクへのアクセス速度が低下した。
A	ひとつのフォルダに、大量のファイルが存在していないか確認してください。もしくは、多数のユーザが同時にアクセスしていないか確認してください。フォルダに数千以上のファイルが存在していると、フォルダへのアクセス速度が低下します。用途別に別フォルダを作成するなど、ファイル管理を再検討してください。この他、接続しているネットワーク機器の故障により、転送速度が著しく低下することがあります。また、本体を再起動することで状況が改善される場合もあります。

Q	ディスクを認識しなくなった。
A	LCD パネル横のスイッチを押して、内蔵されている台数のハードディスクドライブを認識しているか確認してください。次に管理画面でログを確認してください。エラーが記録された場合は、ディスク上のデータをすべてバックアップし、ディスクのフォーマットを実行してください。ディスクの設定、フォーマットができない場合、「ディスクボリュームの削除」を実行してください。その後、フォーマットやディスクの設定を行ってください。その後もエラーが記録された場合は、ディスクの故障です。

Q	LCD パネルのバックライトが点滅し、ブザーが鳴っている。
A	何らかのエラーもしくは故障が発生しています。付録にある LCD メッセージの内容にしたがって対処してください。

H-2 設定、動作に関するトラブル

Q	LCD パネルの機能は何ですか？
A	LCD パネルは IP アドレス、ファームウェアバージョンなどを表示します。リアルタイム管理のため、トラブル発生時には使用者に通知するためのメッセージを LCD パネルに表示します。
Q	HDD の空き容量が無くなった場合、ユーザに通知する機能はありますか。
A	ディスクの使用率が 99%を超えた場合、警告メールを送ります。予め、アラートメールの設定が必要です。
Q	RAID1/5 で構築している HDD のうち、1 つの HDD が使用不能になった場合、新しい HDD を交換した後にオリジナルのファイルを自動的にリカバリさせることは可能でしょうか？ またリカバリ中に通常使用してもいいですか？
A	ディスクのリカバリについては、予め RAID1/5 設定されたディスクならば自動回復させることができます。もちろん回復中にファイルのアップロード/ダウンロードができます。RAID0 設定されたディスクの場合、ディスクのリカバリはできません。
Q	製品に搭載されているファイル共有機能は、一般的なドキュメントのファイル共有だけしか使えないのでしょうか？
A	ドキュメントファイルだけではなく、コンピュータで利用可能なファイル形式ならば、すべてのものが利用できます。動画やサウンドファイルを保存し共有すれば、マルチメディアストレージとして DVR、VOD(ビデオ・オン・デマンド)などのアプリケーションにも活用できます。 ただし、ファイルの属性(読み取り専用など)は保存することはできません。ファイルへのセキュリティは共有フォルダのアクセス制限で行ってください。
Q	NT サーバ(PDC)で PDC のユーザ数が増えた場合、その情報は自動的に反映されるのでしょうか？
A	都度、管理画面の PDC 認証で「同期」ボタンを押して情報を取得します。
Q	認証サーバがダウンしてしまった時は、NAS の認証が行えますか？
A	PDC 側での認証ができませんが、ユーザが NAS に接続した際にユーザとパスワードの入力画面が出てきて、NAS にログイン可能となります。
Q	APC 社製の UPS をネットワーク接続で利用したいのですが、別途専用のソフトをインストールする必要がありますか？
A	ネットワーク経由で UPS と連動する場合、特別なソフトウェアは必要ありません。以下の物をご用意ください。 ・UPS 本体 ・Network Management Card なお、使用するに際し、UPS(Network Management Card)に固定 IP アドレスを割り当て、停電時の信号送信先である NAS の IP アドレスを設定します。この場合、UPS のネットワークカードと PC をシリアルケーブルで接続して行います。UPS の設定完了後、NAS の管理画面で UPS に設定されている IP アドレスを設定します。詳しくは、UPS のマニュアルをご参照ください。

Q	設定している時刻がずれてしまう。
A	1 ヶ月あたりのずれが、数十秒程度であれば正常です。これ以上の誤差が生じる場合、内部時計用電池の交換、もしくは NTP サーバへの接続設定を確認してください。NTP サーバの時刻と 3 分以上の誤差が生じている場合は、手動で現時刻を合わせた後に NTP の設定を行ってください。
Q	数台の LAN 環境で使用していますが、夜間は使用していません。その場合、電源は OFF にするべきでしょうか。それとも、24 時間稼働させておくべきでしょうか。
A	ハードディスクは、電源のオンオフ時の内部的な衝撃が、ディスクユニットに一番ダメージを与えます。その為、常時通電させる方が製品に与える影響は少ないものと考えられます。しかし、定期的に製品の起動/再起動、清掃等によるシャットダウンは行ってください。
Q	RAID はハードウェア RAID でしょうか。
A	ソフトウェア RAID です。
Q	各フォルダに対して、ユーザ毎に容量制限を設定することは可能でしょうか。
A	できません。ディスクボリューム全体に対するユーザ毎の容量制限のみとなります。
Q	プリンタサーバ機能は、どのプリンタでも使用できるのでしょうか？
A	動作確認済みプリンタについては、「 ネットワークプリンタの設定方法 」をご参照ください。
Q	ハード障害が発生した際は、どのような対応となりますか。
A	標準で3年間の製品保証と3年間のオンサイト保守が付いています。詳しくはご購入先にお問い合わせください。

H-3 PNS40TS のバックアップに関するトラブル

Q	リモートレプリケーションのタスクに制限はありますか。
A	作成するタスクの数に制限はありませんが、20～50 程度のタスク数でご利用されることを推奨します。また、実行の開始時刻は、すべてのタスクを同一にするのではなく、タスクごとにずらして作成させてください。同時に複数のタスクを実行すると、完了するまでに個別実行の場合よりも時間がかかります。
Q	リモートレプリケーションを実行するとエラーが出る。
A	ファイル名に制限文字を使用した場合、バックアップ先にファイルをコピーできません。この場合、イベントログに「警告」が記録されます。転送できなかったファイルのファイル名を修正し、再度実行してください。 NAS の言語設定が誤っていると、エラーが発生する場合があります。「日本語」になっていることを確認してください。設定変更後は、必ず NAS を再起動してください。
Q	リモートレプリケーションを実行すると認証エラーが出る。
A	リモートレプリケーションのタスク編集画面で、接続先のユーザ ID とパスワードを入力し、[テスト] ボタンをクリックすると、接続の検証を行います。この際、入力されているパスワードがクリアされます。また、タスクの編集を行う為に設定を開いても、パスワードはクリアされます。これは、セキュリティの為の仕様です。設定を変更したり、[テスト] ボタンを押したりした後は、[OK] ボタンを押す前に、必ずパスワードを再入力してください。

PNS40TS 機能詳細

文字数と文字種

項目		仕様	注意事項
システム設定			
サーバ名		半角英数 14 バイトまで	記号不可
ネットワーク設定			
Microsoft ネットワーク	サーバについての説明	日本語、英数字 48 バイトまで	特殊記号、機種依存/禁止文字はサポート対象外
	ワークグループ名	半角英数 15 バイトまで	記号不可
	ドメイン名	半角英数 127 バイトまで	記号不可
	ドメインユーザ名	半角英数 127 バイトまで	記号不可
	パスワード	半角英数 127 バイトまで	記号不可
Apple ネットワーク	ゾーン名	半角英数 15 バイトまで	
プリンタサーバ	ネットワークプリンタ名	半角英数 14 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字はサポート対象外
	コメント	半角英数 48 バイトまで	記号はサポート対象外
ユーザ管理			
ユーザ	ユーザ名	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	・記号、機種依存/禁止文字はサポート対象外
	パスワード	半角英数、16 バイトまで	・記号、機種依存/禁止文字はサポート対象外
マルチユーザ	マルチユーザ名接頭辞	日本語・英数字のみ、ユーザ番号含めた 32 バイトまで	・記号、機種依存/禁止文字はサポート対象外
	ユーザ名スタート番号	半角数字のみ	
	ユーザ数	半角数字のみ	
	パスワード	半角英数、16 バイトまで	スペース、記号は入力不可
専用 ネットワーク共有	ネットワーク共有名	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外 MacOS 9: 11 バイトまで MacOS X: 27 バイトまで
	パス	手動設定した場合のパスは、256 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
	コメント	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
グループ	グループ名	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
ネットワーク共有			
作成	ネットワーク共有名	日本語、英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外 MacOS 9: 11 バイトまで MacOS X: 27 バイトまで
	パス	手動設定した場合のパスは、256 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
	コメント	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外

プロパティ	コメント	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
システムツール			
SNMP	SNMP サーバの有効	半角英数 31 バイトまで	特殊記号は不可
	SNMP トラップホスト	半角英数 31 バイトまで	記号不可
リモートレプリケーション	タスク名	日本語、英数字のみ、31 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
	リモート先のパス	日本語、英数字のみ、256 バイトまで	パス指定以外の記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
	ユーザ名	日本語・英数字のみ、32 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
	パスワード	半角英数のみ、16 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外
	ソースパス	日本語・英数字のみ、256 バイトまで	記号、機種依存/禁止文字の使用はサポート対象外

ネットワーク

1) ネットワークの 2 重化について

• フェイルオーバー / ロードバランシング

フェイルオーバー、ロードバランシングをご使用される場合は、ポートランキング機能に対応したスイッチングハブをご使用いただき、ポートランキング機能を有効にした 2 ポートに接続してください。スイッチングハブがポートランキング機能に対応していない場合、本来のパフォーマンスを発揮することができません。

• マルチ IP (スタンドアロン設定)

マルチ IP をご使用される場合は、2 つのイーサネットポートの IP 設定は、異なるサブネットにする必要があります。同一のサブネットで使用した場合、ループ障害を引き起こす場合があります。

2) ファイルプロトコルについて

• NFS マウントの制限

NFS によるマウント時、UID を指定することはできません。

3) Active Directory の使用制限について

• 共有フォルダへのアクセス許可、およびアクセス権の変更

NAS の共有フォルダへのアクセス許可ユーザを追加、アクセス権の変更(許可・拒否など)は NAS 側で設定します。Windows サーバから設定することができません。

- 第2階層以降のアクセス権について

第1階層のアクセス権を引継ぐ形となり、第1階層とは異なるアクセス権を設定することはできません。

バックアップ管理

1) リモートレプリケーションについて

【オプション機能説明】

	WEB 管理画面表記	説明
通常	(オプション指定無し)	即時実行します。
スケジュール	(スケジュールの指定)	レプリケーション実行時間や頻度を指定します。
削除	リモート先の余分なファイルを削除する。	バックアップ先と指定したフォルダに、バックアップ元 にないデータが保存されている場合、それらのデー タを削除します。
接続制限	Web ファイル管理サービスを停止する。	レプリケーション動作中、全てのフォルダアクセスを できなくします。
圧縮	ファイル圧縮を有効にする。	レプリケーション動作時、全てのデータを圧縮して 転送します。圧縮ファイルは、転送先にて自動的 に解凍されます。
差分	新しいファイルだけレプリケーションする。	フォルダ内にあるデータのうち、更新されたものだけ をバックアップします。 (転送元にあるデータの作成日時、更新日時が、 転送先にあるデータより古い場合でも、データは 上書きされます。)

【制限事項説明】

*1	アクセス許可されたユーザ以外でも、レプリケーションが実行される。
*2	ファイル単位で圧縮/転送される。

【リモートレプリケーション対応表】

転送元	転送先	通常	スケジュール	削除	接続制限	圧縮	差分
PNS40TS	PNS40TS						
	PNS30						
	PNS25	x	x	x	x	x	x
	PNS01S						
	PNB20S	非対応					
	NAS4010					*2	
	NAS4020	非対応					
	NAS4030						
NAS4120					*2		
PNS30	PNS40TS	*1	*1	*1	*1	*1	*1
PNS25				x		x	x
PNS01S							
PNB20S		非対応					
NAS4010						*2	
NAS4020		非対応					
NAS4030		*1	*1	*1	*1	*1	*1
NAS4120						*2	

【動作確認ファームウェアバージョン】

製品名	ファームウェア	製品名	ファームウェア
PNS40TS	1.1.0 (build 0518)	NAS4010	4.3.0 (build 0117)
PNS30	4.3.0 (build 1216)	NAS4030	4.3.0 (build 0117)
PNS25	2.29.2 (build 1111)	NAS4120	4.3.0 (build 0117)
PNS01S	1.2.0 (build 1016P)		

【リモートレプリケーションの制限】

VPN 等でルーティングされていない、実 IP でセッションできないセグメント越えのレプリケーションは、サポート対象外となります。(実 IP とは、機器に設定した IP アドレスそのものであることを指します)

2) CD/DVD バックアップについて

- フォルダ/ファイル単位のバックアップになります。
- バックアップ済みメディアへの追記はできません。
- 1 ファイル 4GB 以上のサイズのファイルは、バックアップできません。
- 複数メディアへの分割バックアップはできません。

<動作対応確認済み機種>

Princeton	PDV-PB16DU
Plextor	PX-750UF
IODATA	DVR-UM16G

データ保存における制限事項

• Macintosh

シャロック機能はご利用いただけません。

MacOS9 を使用している場合、2GB 以上のデータの保存、読み取りを行うことはできません。

Windows との混在環境では SMB による接続を推奨いたします。

機種依存文字や禁止文字を使用した場合は、データが破損し、正常に保存できない場合があります。

Mac OS の仕様により、扱えるフォルダ名、ファイル名の文字数に制限があります。

Mac OS X: 255 バイト

Mac OS 9: 31 バイト

なお、ファイルの種類により、上記文字数未満になる場合があります。

• Windows

機種依存文字や禁止文字を使用した場合は、データが破損し、正常に保存できない場合があります。

ファイル保存の制約として、フルパスは 256byte までとなります。

- **全般**

NAS 上にアプリケーションをインストールすることはできません。

NAS の残容量が 10%を切った場合、LCD ディスプレイ、アラートブザー、イベントログにて警告されます。

ファイルに属性をつけている場合、正常に保存・読み出しができない場合があります。

接続クライアント数制限

- **登録可能数**

ユーザ数	administrator を除く 511 ユーザ
グループ数	administrators / everyone を除く 30 グループ

* administrator ユーザ、administrators グループ、everyone グループは、既成のユーザ・グループの為、削除することはできません。

- **推奨接続クライアント数**

取扱うデータが多い場合の推奨数 *1	20 クライアント
アクセス制限をした共有フォルダに接続する場合 *2	20 クライアント
上記以外の使用	30 クライアント
同時アクセス推奨数 *3	15 クライアント

*1: バックアップやリストアをするデータが 1000 ファイルを越える場合、または、取扱うデータサイズの合計が 1GB を越える場合の推奨ログイン数

*2: 特定ユーザに「読み込みのみ」や「アクセス拒否」を設定した共有フォルダにアクセスするクライアントが、10 クライアント以上ある場合の推奨ログイン数

*3: 同時にデータアクセスを行う場合の推奨アクセス数

カスタマーサポートについて

お問い合わせ先

プリンストンテクノロジー株式会社 カスタマーサポート

電話受付

電話番号： 03-6670-6848
受付時間： 9：00～12：00， 13：00～17：00
(但し、土・日・祝日、および年末年始の指定日を除く)

FAX 受付

FAX番号： 03-3865-5025
翌営業日のお取り扱いとなります。お客様より頂きましたお問合せへのご回答は平日とさせていただきますので、予めご了承ください。

Eメール受付

フォーム： <https://regist.princeton.co.jp/contactus/supportmail/nas.html>
お客様より頂きましたお問合せへのご回答は平日とさせていただきますので、予めご了承ください。

お問い合わせ時のお願い

お問い合わせの際には、下記の項目を予めご準備いただき、カスタマーサポート担当者にお伝えいただきますようお願い致します。

- | | |
|------------|------------------------|
| ・製品のモデル名 | ・ファームウェアのバージョン |
| ・製品のシリアル番号 | ・クライアントPCのOSの種類 |
| ・ご購入日 | ・故障や不具合の発生日 |
| ・ご購入先 | ・故障や不具合の内容 |
| ・お客様のご連絡先 | ・その他アプリケーションの種類やバージョン等 |

プリンストンテクノロジー株式会社